

四日市市 子どもの生活実態調査  
結果報告書

令和4年3月

四日市市

## 目 次

### I アンケート調査

1. 実施概要 .....	1
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査方法 .....	1
(3) 調査対象者 .....	1
(4) 回収結果 .....	1
(5) 調査結果の見方 .....	1
2. 経済状況に基づく世帯区分について .....	2
(1) 所得に基づく分類 .....	2
(2) 本調査結果における留意点 .....	2
3. 調査結果 .....	3
(1) 子ども対象調査 .....	3
(2) 保護者対象調査 .....	43
(3) 家庭の生活困難の状況 .....	82

### II ヒアリング調査

1. 実施概要 .....	85
(1) 調査の目的 .....	85
(2) 調査方法 .....	85
(3) 調査対象者 .....	85
(4) 調査結果の留意点 .....	85
2. 調査結果 .....	86
(1) 生活困難な世帯の状況について .....	86
(2) 生活に困難を抱えることによる子どもへの影響について .....	87
(3) 支援を行う際の課題等について .....	88

### III 調査結果からの考察

四日市市の子どもの貧困問題の現状 .....	91
------------------------	----



# I アンケート調査

## 1. 実施概要

### (1) 調査の目的

子どもの貧困が社会問題として注目される中、子どもと保護者をめぐる生活の状況や支援ニーズについて、当事者自身に直接尋ねることで実態を把握します。

### (2) 調査方法

令和3年10月～11月にかけて、市立小・中学校に通う子どもとその保護者を対象としたアンケート調査を、学校を通じた配付・回収により実施しました。

※調査票は5言語（日本語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語）で作成しました。

### (3) 調査対象者

市立小学校の5年生全員とその保護者 及び 市立中学校の2年生全員とその保護者

### (4) 回収結果

#### ■ アンケート回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
小学5年生	5,356件	5,184件 (子ども：2,596件 保護者：2,588件)	96.8%
中学2年生	5,080件	4,802件 (子ども：2,425件 保護者：2,377件)	94.5%

### (5) 調査結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問は簡略化している場合があります。

## 2. 経済状況に基づく世帯区分について

実態調査の主な目的は、家庭の経済状況が子どもや家族の生活にどのような影響を及ぼしているかを示し、効果的な支援を行う上での課題を明らかにすることです。そこで、報告書全体を通じ、回答者を世帯の経済状況に基づいて次のように区分し、それぞれの回答結果を示すことで、世帯の経済状況別に見た回答状況を把握することを基本とします。

### (1) 所得に基づく分類

#### 「等価世帯収入」に基づく所得段階区分について

国の「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」では、年間収入に関する回答の中央値（50～100万円⇒75万円、1,000万円以上⇒1,050万円）をその世帯の収入とし、同居家族の人数で調整した値を「等価世帯収入」と定義しています。本調査において、この定義に基づき、回答者全体の等価世帯収入の、中央値以上、中央値の2分の1以上で中央値未満、中央値の2分の1未満の3つに区分して、所得区分Ⅰ（中央値以上）／所得区分Ⅱ（中央値未満、中央値の2分の1以上）／所得区分Ⅲ（中央値の2分の1未満）で比較分析を行います。なお、本調査においては中央値が325万円、中央値の2分の1が162.5万円となりました。この数値に基づいて所得段階を区分した結果は下表のようになります。

学年	件数 %	所得区分Ⅰ (中央値以上)	所得区分Ⅱ (中央値未満、 中央値の2分の 1以上)	所得区分Ⅲ (中央値の2分 の1未満)	判定不能
小学5年生	件数	1,029	822	206	277
	%	44.1	35.2	8.8	11.9
中学2年生	件数	1,028	775	224	306
	%	44.1	33.2	9.6	13.1
全 体	件数	2,057	1,597	430	583
	%	44.1	34.2	9.2	12.5

※中央値は325万円、中央値の2分の1は162.5万円。

### (2) 本調査結果における留意点

本報告書においては、「等価世帯収入」に基づく所得段階区分による分類を設定し、小学5年生と中学2年生の学年別に結果を示しています。その際、子どものみ、保護者のみの回収であった場合や、回答が不明・無回答であることにより区分ができなかった世帯については、所得段階区分の区分からは除外し、全体結果（「市全体」）のみに含めて結果を示しています。

### 3. 調査結果

#### (1) 子ども対象調査

##### 問1 あなたはだれと一緒に住んでいますか。(すべてに○)

小・中学生ともに所得区分が低いほど「父親」が低く、「祖父母」が高くなっています。所得区分Ⅲでは、小・中学生ともに「父親」が5割を下回っています。

		母親	父親	きょうだい	祖父母	おじ・おば・いとこなどの親せき	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,596)	96.7	86.4	82.8	12.9	2.9	3.0	1.2
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	97.2	92.7	83.4	8.4	1.6	2.5	1.4
	所得区分Ⅱ (n=822)	97.3	89.3	84.3	16.7	3.9	3.0	0.9
	所得区分Ⅲ (n=206)	95.1	48.1	81.1	22.8	5.3	4.4	1.5
中学2年生	市全体 (n=2,425)	95.4	84.7	82.6	15.0	1.8	1.6	1.9
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	96.4	92.6	85.7	10.2	1.3	1.4	1.5
	所得区分Ⅱ (n=775)	95.1	87.0	84.5	18.7	1.4	1.5	1.8
	所得区分Ⅲ (n=224)	95.5	44.2	73.7	23.2	4.5	2.2	3.1

問2 あなたは放課後（平日の授業終了後）は何をして過ごしていますか。週1回以上している過ごし方を選んでください。（すべてに○）

小・中学生ともに「塾や習い事に通っている」が所得区分Ⅰ・Ⅱでは5～7割台、所得区分Ⅲでは4割台となっています。また、中学生の所得区分Ⅲでは「学校の部活動に参加している」「家族（大人）と過ごしている」「自宅できょうだいと過ごしている」が低くなっています。

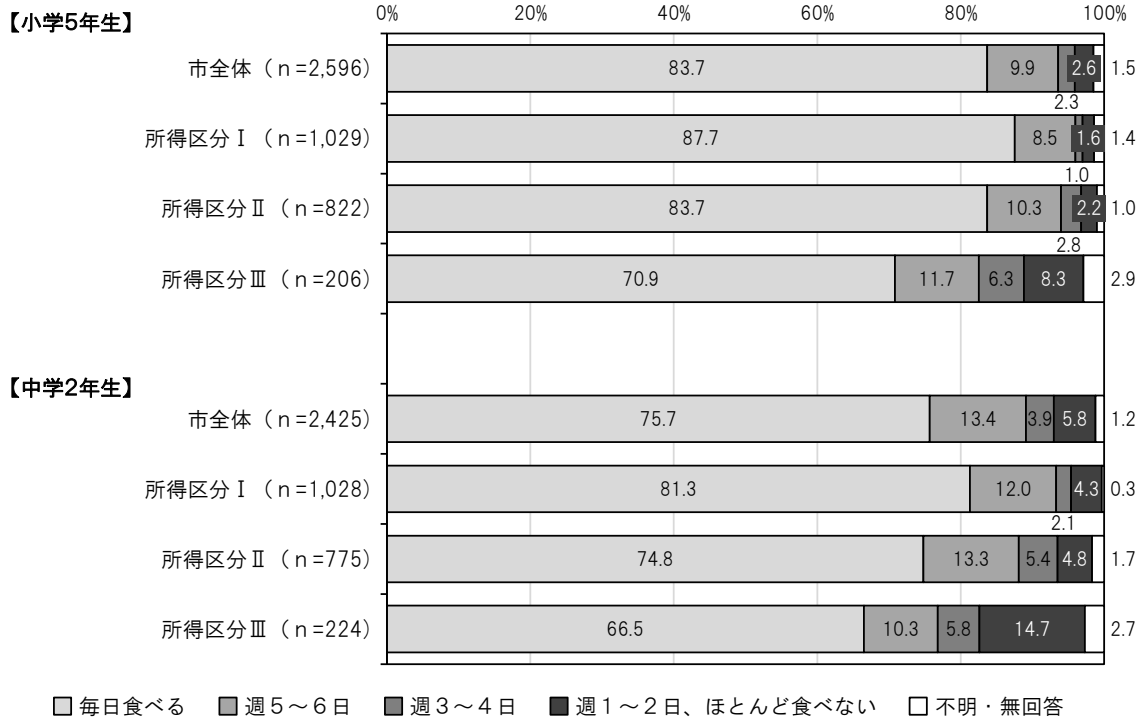
		塾や習い事に通っている	学童保育を利用している	地域のスポーツクラブやスポーツ少年団に参加している	学校の部活動に参加している	児童館・こども子育て交流プラザで過ごしている	家族（大人）と過ごしている	自宅できょうだいと過ごしている
小学5年生	市全体（n=2,596）	65.4	5.5	22.5	1.9	0.9	71.8	57.0
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	75.9	5.2	26.3	2.5	0.9	73.6	56.8
	所得区分Ⅱ（n=822）	60.7	5.0	21.5	1.3	0.7	72.9	58.8
	所得区分Ⅲ（n=206）	41.3	8.7	15.5	3.4	2.9	63.6	51.9
中学2年生	市全体（n=2,425）	61.9	0.2	12.1	83.1	0.5	78.0	65.6
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	71.4	0.1	14.3	86.0	1.1	80.6	68.4
	所得区分Ⅱ（n=775）	59.1	0.3	12.6	82.3	0.0	81.2	68.5
	所得区分Ⅲ（n=224）	40.2	0.4	4.9	76.3	0.0	68.8	55.8

		自宅で友だちと過ごしている	自宅で一人で過ごしている	公園などの屋外で過ごしている	友だちの家で過ごしている	商業施設（ショッピングセンターなど）で過ごしている	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体（n=2,596）	13.3	22.9	16.4	14.4	2.5	6.4	1.1
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	14.3	24.9	17.4	15.3	2.6	5.6	0.8
	所得区分Ⅱ（n=822）	10.7	20.4	13.7	14.5	2.1	6.9	0.7
	所得区分Ⅲ（n=206）	13.6	23.8	17.0	10.2	1.5	9.7	1.9
中学2年生	市全体（n=2,425）	8.0	38.6	12.6	8.4	6.9	2.6	1.6
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	10.2	40.6	15.0	9.6	6.5	2.5	0.8
	所得区分Ⅱ（n=775）	7.5	37.0	12.0	8.0	7.5	2.1	2.1
	所得区分Ⅲ（n=224）	7.6	37.9	10.3	8.9	8.9	4.5	2.2

### 問3 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(1つに○)

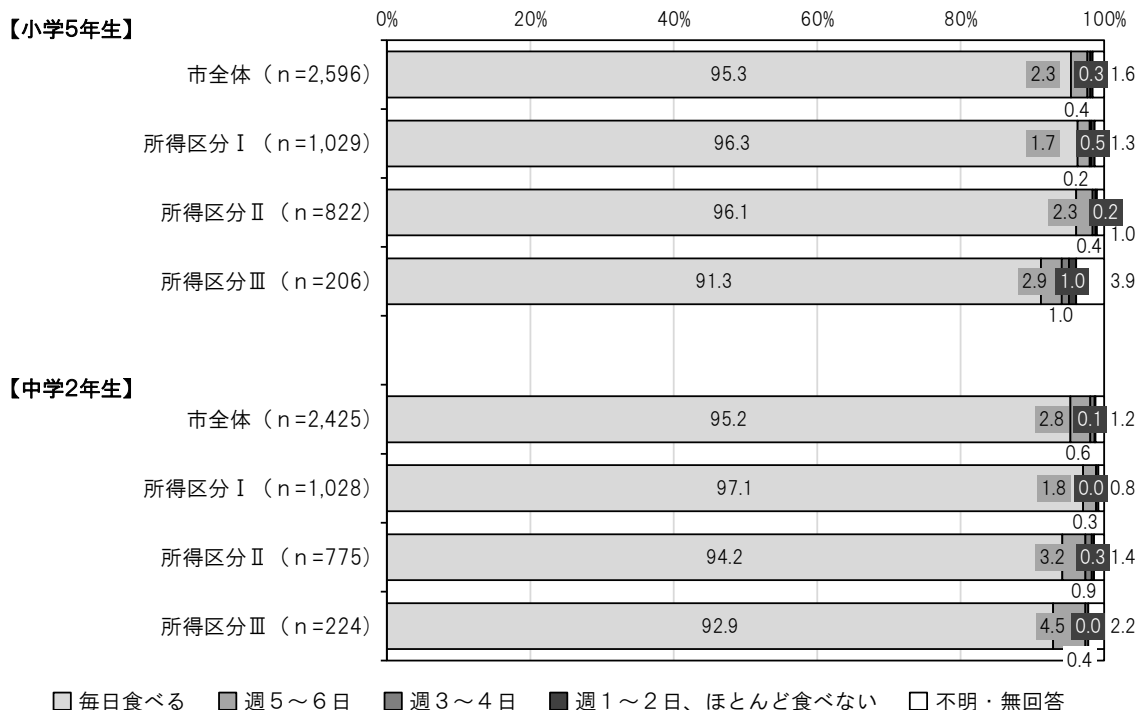
#### 【朝食】

小・中学生ともに所得区分が低いほど「毎日食べる」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。また、中学生の所得区分Ⅲでは「週1～2日、ほとんど食べない」が1割を超えています。



#### 【夕食】

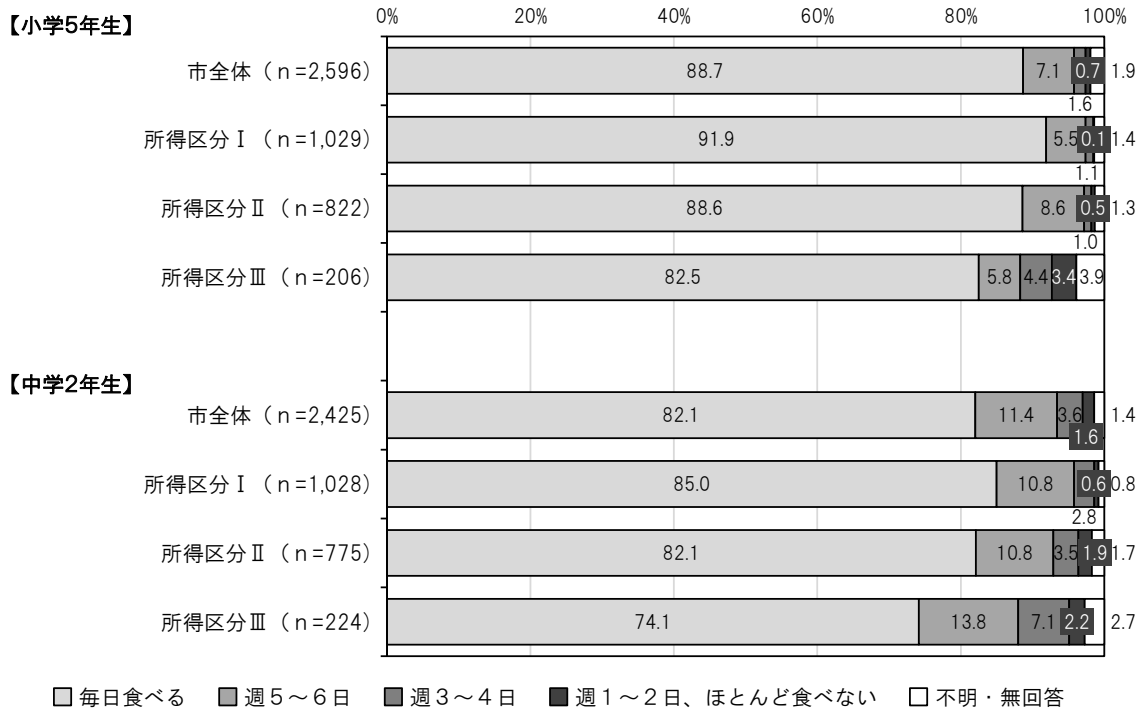
小・中学生ともに所得区分が低いほど「毎日食べる」が低くなっていますが、【朝食】に比べて顕著な差はみられません。





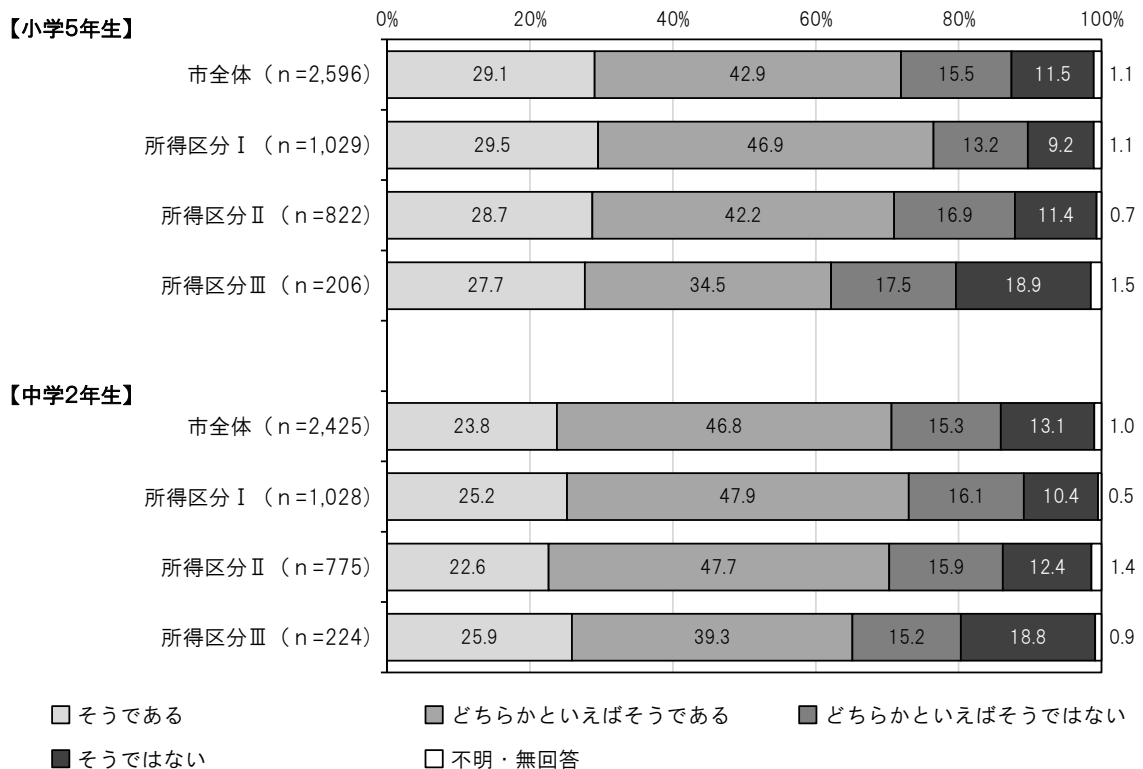
【夏休みや冬休みなどの期間の昼食】

小・中学生ともに所得区分が低いほど「毎日食べる」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



問4 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）ほぼ決まった時刻に寝ていますか。（1つに○）

「そうではない」と「どちらかといえばそうではない」の合計について、小・中学生ともに所得区分Ⅰ・Ⅱでは2割台、所得区分Ⅲでは3割台となっています。



問5 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）だいたい何時ごろに寝ていますか。（1つに○）

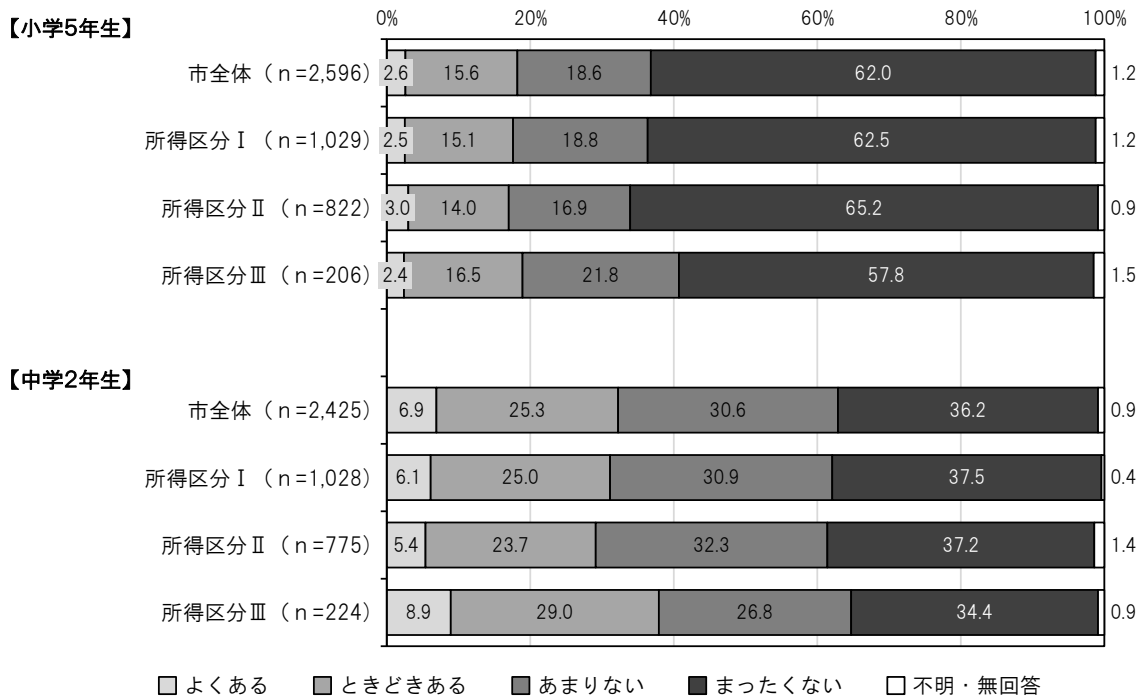
小学生では「午後9時30分～9時59分」、中学生では「午後10時30分～10時59分」が最も高くなっており、それぞれの区分において就寝時間に大きな差はみられません。

		午後9時 より前	午後9時 ～9時29 分	午後9時 30分～9 時59分	午後10時 ～10時29 分	午後10時 30分～10 時59分	午後11時 ～11時29 分
小学 5 年生	市全体（n=2,596）	7.1	18.6	27.9	19.4	12.9	6.3
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	5.7	18.8	26.9	23.9	12.1	6.4
	所得区分Ⅱ（n=822）	8.2	19.8	29.9	15.7	14.1	6.8
	所得区分Ⅲ（n=206）	9.7	14.1	25.2	17.0	12.1	6.8
中学 2 年生	市全体（n=2,425）	1.2	2.6	6.2	12.8	19.3	19.1
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	0.9	2.3	6.2	13.8	20.2	21.0
	所得区分Ⅱ（n=775）	1.5	2.3	6.7	11.9	20.1	17.2
	所得区分Ⅲ（n=224）	1.8	1.8	5.4	12.1	18.3	16.5

		午後11時 30分～11 時59分	午前0時 ～0時29 分	午前0時 30分～0 時59分	午前1時 以降	不明・ 無回答
小学 5 年生	市全体（n=2,596）	4.0	1.2	0.8	0.6	1.1
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	3.5	0.9	0.5	0.2	1.1
	所得区分Ⅱ（n=822）	3.0	0.9	0.4	0.5	0.7
	所得区分Ⅲ（n=206）	6.8	3.4	1.0	2.9	1.0
中学 2 年生	市全体（n=2,425）	14.4	11.9	5.3	6.2	1.1
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	14.0	11.6	4.5	5.0	0.5
	所得区分Ⅱ（n=775）	14.2	12.0	6.2	6.3	1.5
	所得区分Ⅲ（n=224）	18.3	12.5	4.0	8.0	1.3

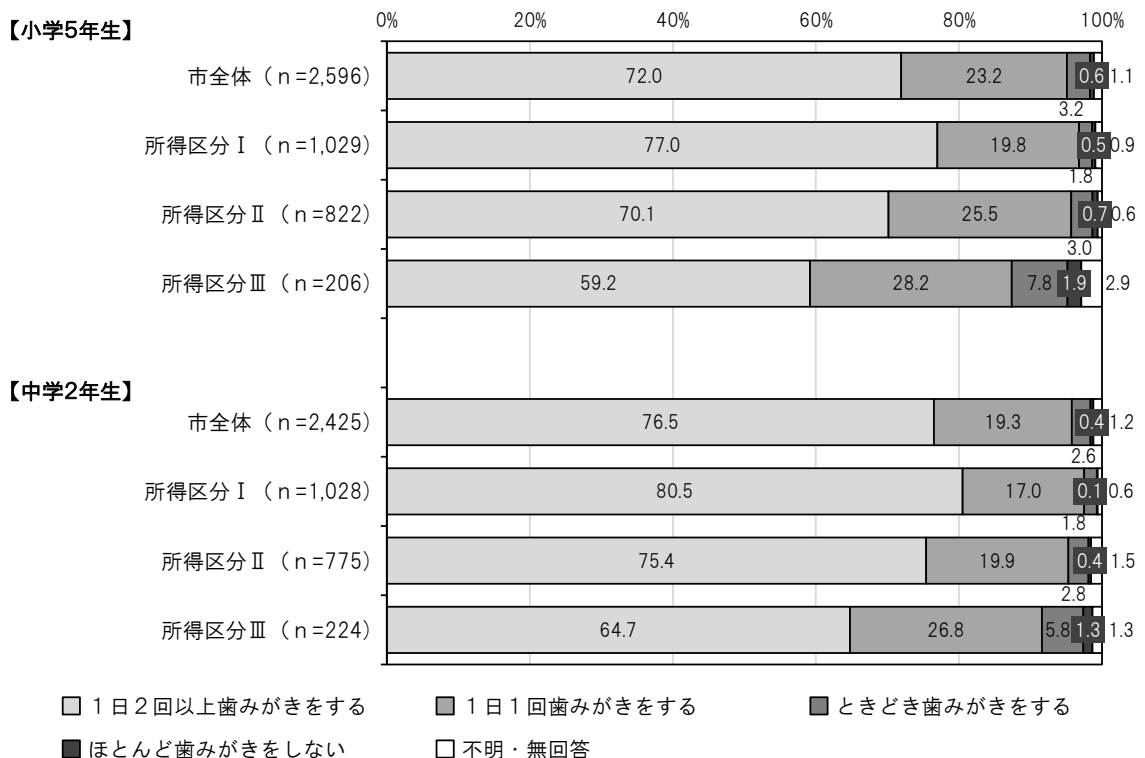
**問6 あなたは、子どもだけで夕食を食べることがありますか。(1つに○)**

「よくある」と「ときどきある」の合計について、小学生では大きな差はみられませんが、中学生では所得区分Ⅲで3割台後半となっています。



**問7 あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。(1つに○)**

小・中学生ともに所得区分が低いほど「1日2回以上歯みがきをする」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



問8 あなたが困っていることや悩んでいること、だれかに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。(すべてに○)

小・中学生ともに「特にない」が最も高くなっていますが、中学生では、「進学・進路のこと」や「学校の勉強のこと」などの回答も多くみられます。

		家族のこと	家での生活のこと	学校の生活のこと	学校の勉強のこと	進学・進路のこと	塾や習い事のこと
小学5年生	市全体 (n=2,596)	5.6	2.1	7.5	5.2	3.4	3.8
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	4.5	1.8	8.0	4.1	4.4	4.5
	所得区分Ⅱ (n=822)	5.5	2.1	6.0	5.8	2.6	3.0
	所得区分Ⅲ (n=206)	8.3	2.9	7.3	5.8	1.9	2.9
中学2年生	市全体 (n=2,425)	5.9	3.8	7.9	15.8	21.4	4.6
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	5.3	3.6	6.8	15.1	21.1	4.7
	所得区分Ⅱ (n=775)	5.7	3.7	8.5	17.3	22.7	5.2
	所得区分Ⅲ (n=224)	7.6	4.9	7.6	16.5	20.5	2.7

		部活動のこと	友人関係のこと	その他のこと	特にない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,596)	0.5	9.9	2.4	69.0	5.7
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	0.5	9.8	1.7	70.3	5.9
	所得区分Ⅱ (n=822)	0.5	9.6	3.0	70.4	5.4
	所得区分Ⅲ (n=206)	0.5	11.2	3.9	68.4	4.4
中学2年生	市全体 (n=2,425)	10.4	11.1	1.6	53.1	10.5
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	9.8	10.0	1.3	54.7	10.4
	所得区分Ⅱ (n=775)	11.2	11.7	2.1	52.1	9.7
	所得区分Ⅲ (n=224)	7.6	10.3	0.9	56.3	8.5

問9 困っていることや悩んでいることがあるとき、あなたはだれに相談しようと思いますか。  
(すべてに○)

小・中学生ともに「親」や「学校の友だち」が高くなっています。

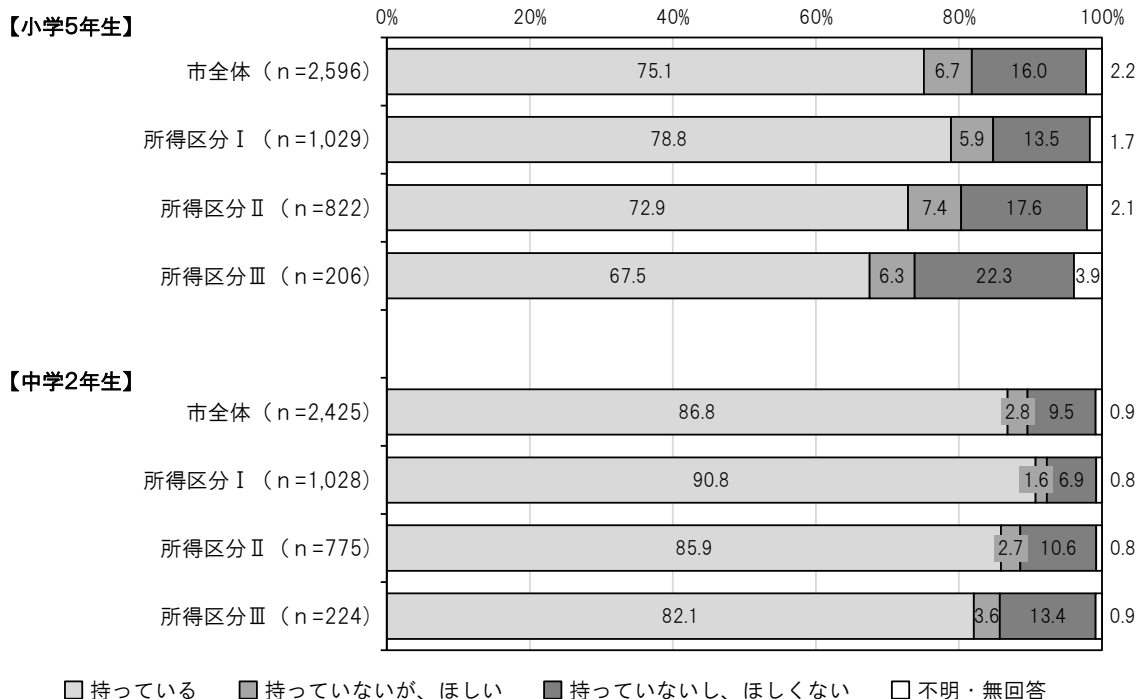
		親	きょうだい	祖父母や親せき	学校の先生	学校の友だち	学校外の友だち
小学5年生	市全体 (n=2,596)	72.2	23.1	14.5	37.1	51.7	13.0
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	74.1	23.5	15.8	38.4	53.3	13.9
	所得区分Ⅱ (n=822)	73.0	23.2	14.2	37.1	52.9	12.3
	所得区分Ⅲ (n=206)	68.4	23.8	11.2	35.9	52.9	10.7
中学2年生	市全体 (n=2,425)	59.7	16.1	9.1	33.0	61.8	14.6
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	62.2	17.1	8.8	34.2	64.3	15.2
	所得区分Ⅱ (n=775)	60.6	16.8	10.7	34.6	62.1	13.9
	所得区分Ⅲ (n=224)	61.6	12.9	7.1	33.5	58.5	12.9

		スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人	ネットで知り合った人	その他	だれにも相談できない、相談したくない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,596)	7.2	5.2	2.5	1.7	8.9	1.8
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	7.7	5.7	1.6	1.7	7.6	1.7
	所得区分Ⅱ (n=822)	8.0	4.9	3.2	1.9	7.3	1.8
	所得区分Ⅲ (n=206)	5.3	4.9	3.9	1.5	7.3	2.4
中学2年生	市全体 (n=2,425)	6.1	5.6	6.5	0.6	10.8	1.2
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	6.2	5.7	5.0	0.7	9.6	0.7
	所得区分Ⅱ (n=775)	5.9	5.9	7.9	0.4	9.9	1.0
	所得区分Ⅲ (n=224)	6.3	3.1	7.1	0.9	10.3	0.4

問 10 あなたは以下のものを持っていますか。持っていなければ、ほしいと思いますか。(1つに○)

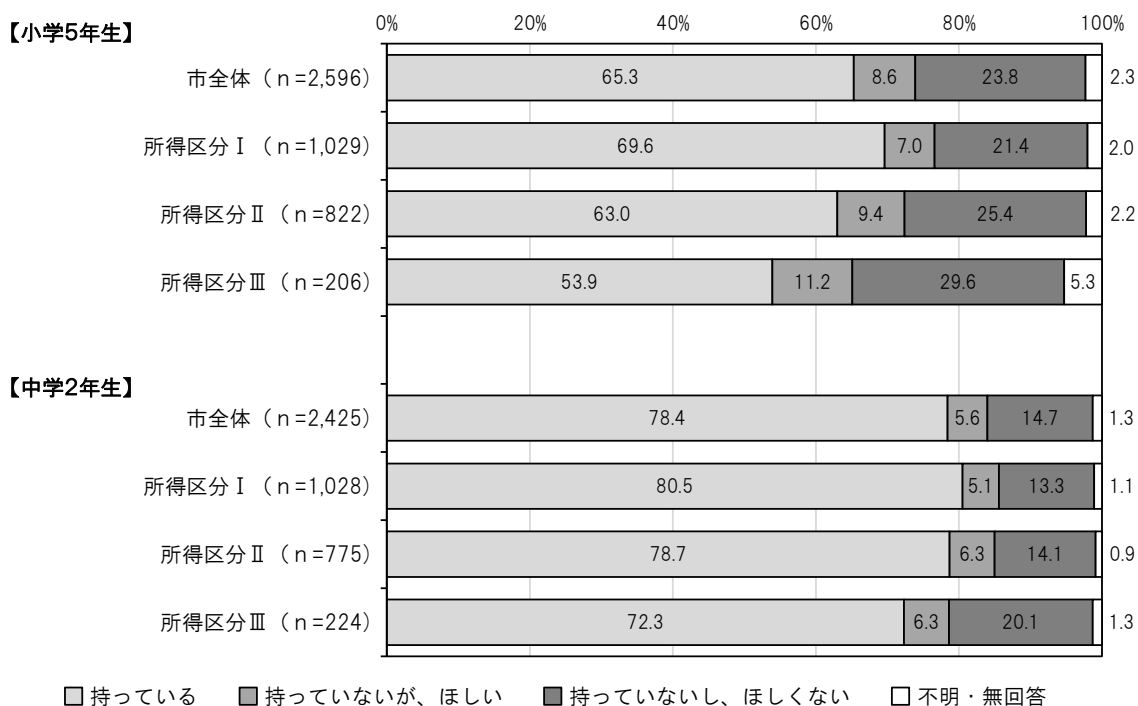
【自分だけの本（教科書・マンガ以外）】

小・中学生ともに所得区分が低いほど「持っている」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



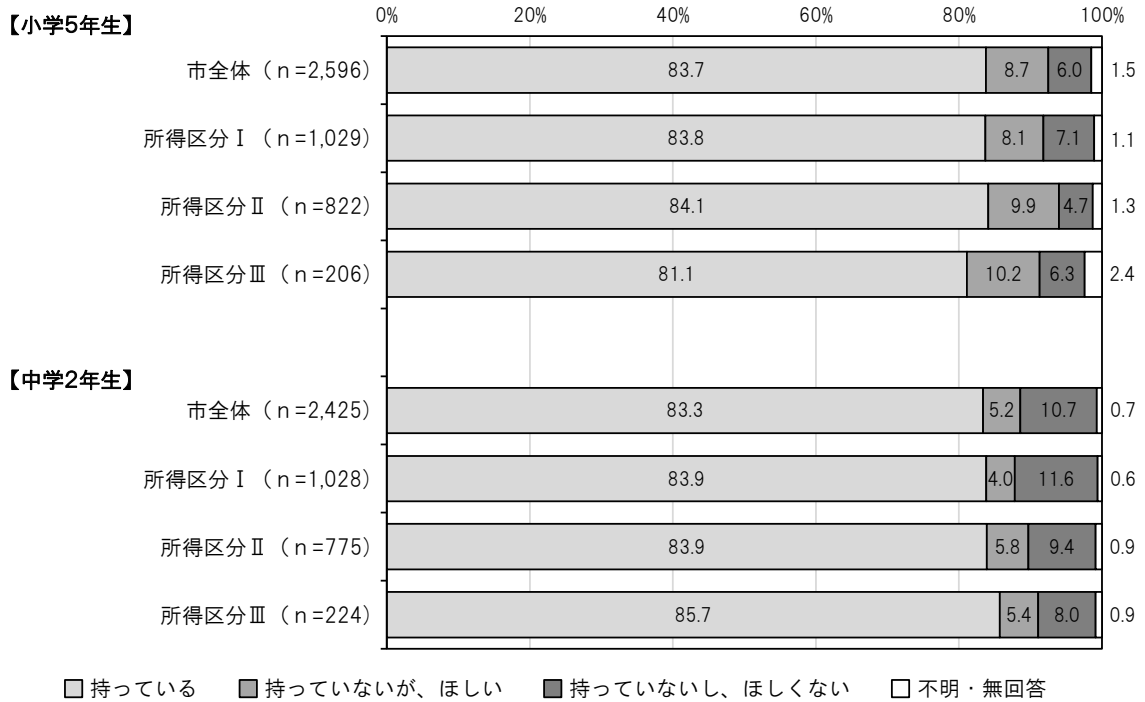
【自分だけのマンガや雑誌】

小・中学生ともに所得区分が低いほど「持っている」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



【ゲーム機】

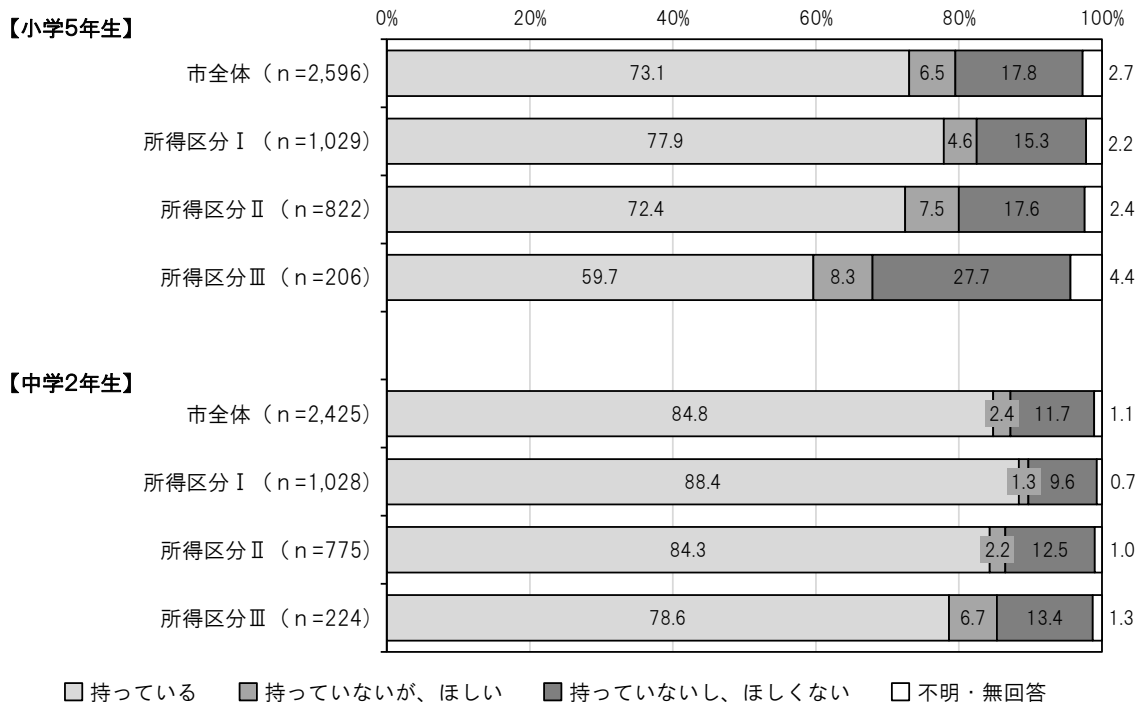
小・中学生ともにそれぞれの区分において大きな差はみられず、「持っている」は8割台となっています。



□ 持っている   ■ 持っていないが、ほしい   ■ 持っていないし、ほしくない   □ 不明・無回答

【スポーツ用品（ボール、スポーツ用シューズなど）】

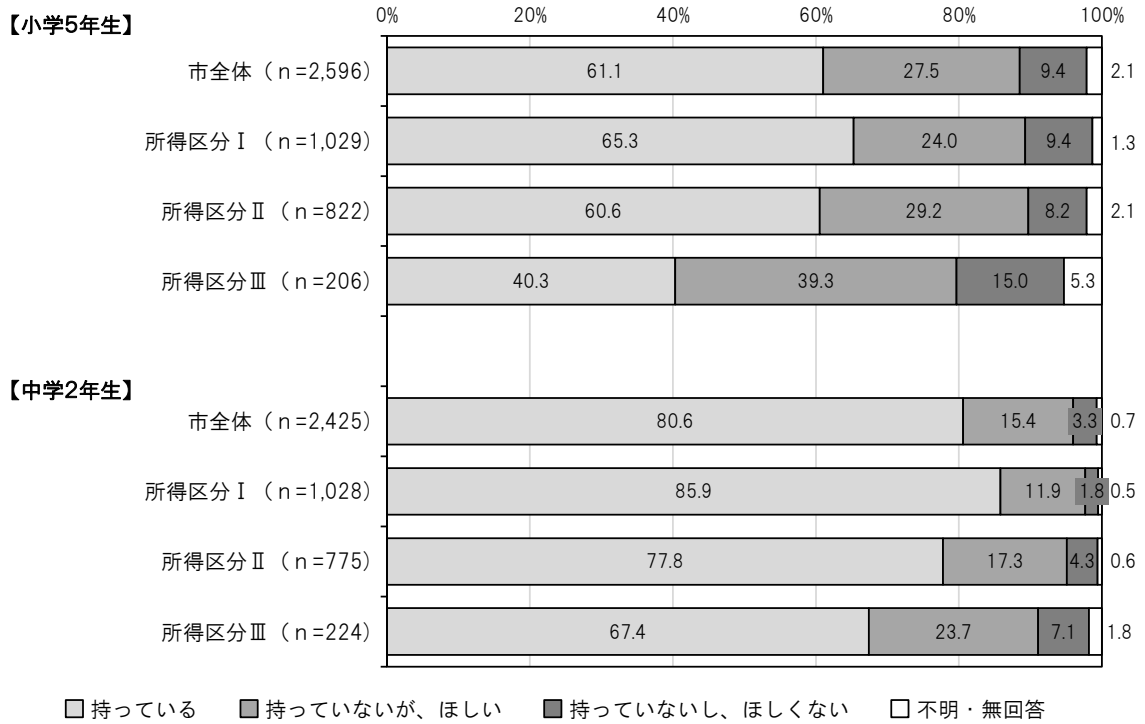
小・中学生ともに所得区分が低いほど「持っている」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。また、小学生では、「持っていないし、ほしくない」が所得区分Ⅲで高くなっています。



□ 持っている   ■ 持っていないが、ほしい   ■ 持っていないし、ほしくない   □ 不明・無回答

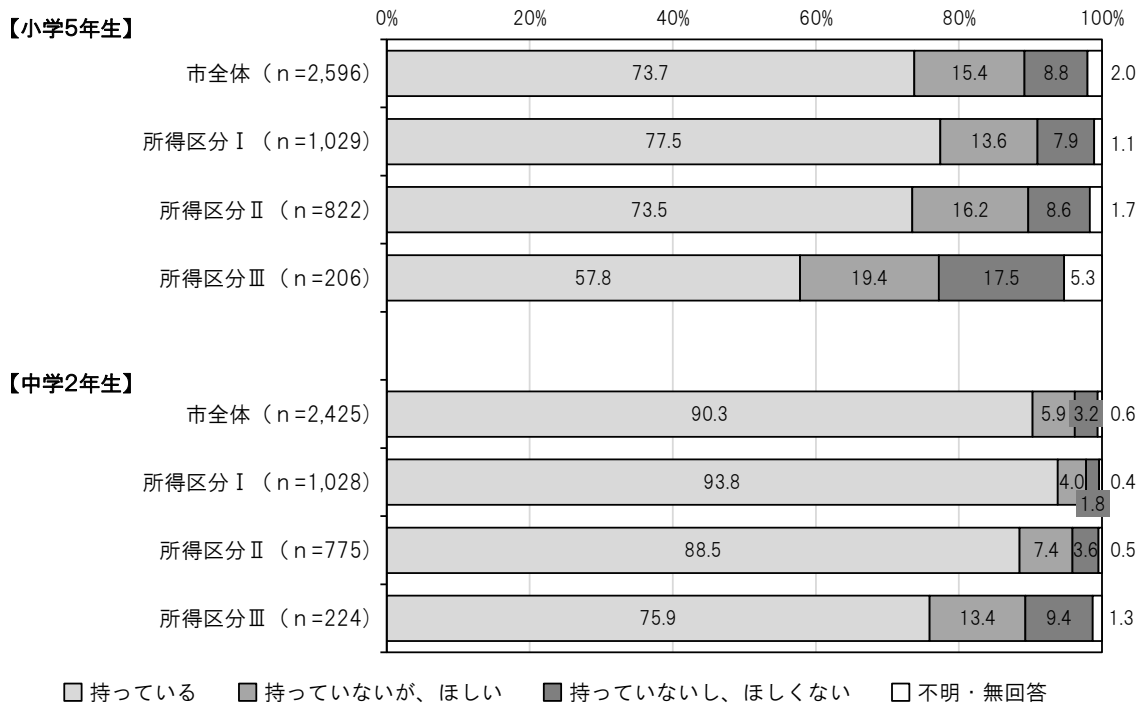
【自分専用の部屋】

小・中学生ともに所得区分が低いほど「持っている」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。また、「持っていないが、ほしい」が所得区分Ⅲで高くなっています。



【自分専用の勉強机】

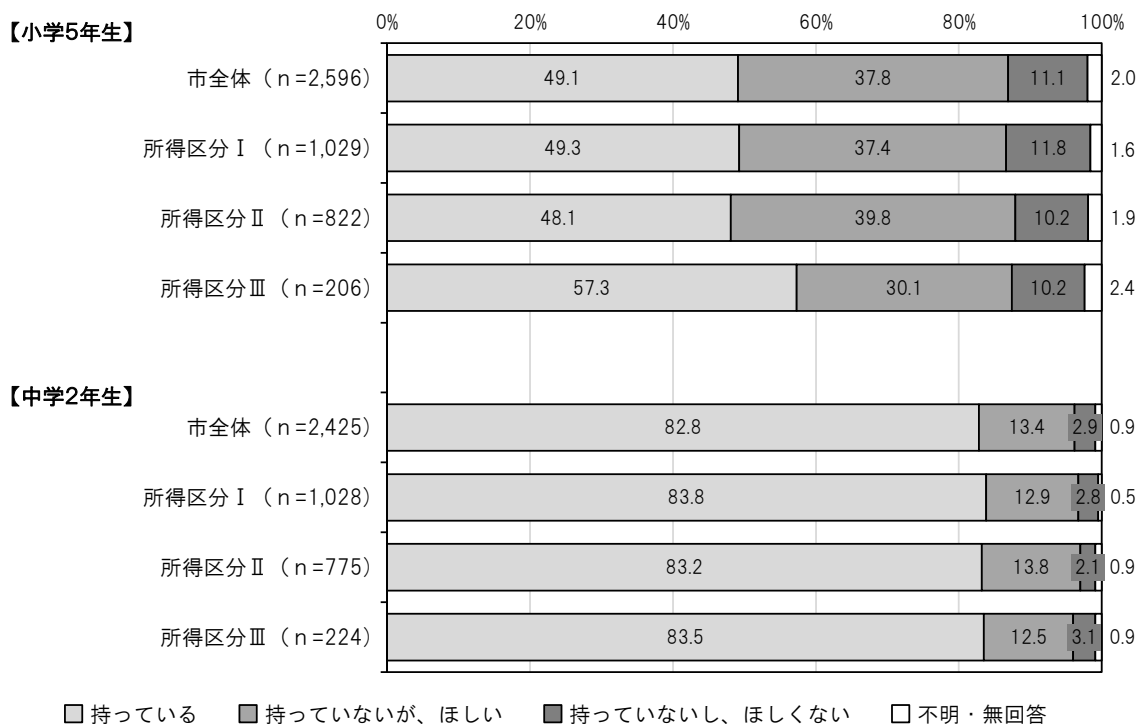
小・中学生ともに所得区分が低いほど「持っている」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。





【自分専用の携帯電話・スマートフォン】

小学生では「持っている」が所得区分Ⅰ・Ⅱでは4割台、所得区分Ⅲでは5割台となっています。  
中学生ではそれぞれの区分において大きな差はみられません。



問 11 あなたは、おうちの人と下を書いてあるようなことをすること（したこと）がありますか。  
 (すべてに○)

小・中学生ともに所得区分が低いほど家庭における文化的経験・活動の機会が少なくなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。

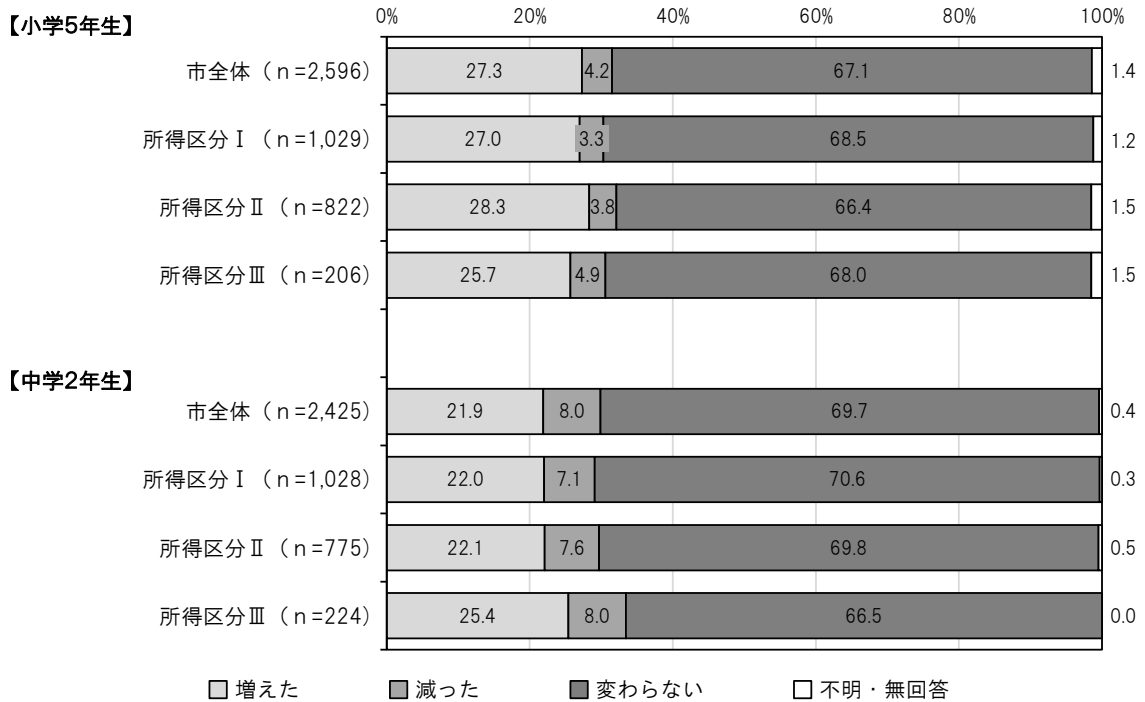
		小さいころに本や絵本を読んでもらった	手作りのおやつを作る	図書館に行く	動物園・水族館に行く	博物館・美術館に行く	コンサート・音楽会に行く
小学5年生	市全体 (n=2,596)	76.9	70.1	63.8	85.2	49.2	30.3
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	80.1	73.8	71.1	88.6	56.0	36.3
	所得区分Ⅱ (n=822)	78.0	70.4	59.2	83.3	44.9	25.1
	所得区分Ⅲ (n=206)	66.0	56.3	45.1	75.7	33.0	19.9
中学2年生	市全体 (n=2,425)	80.2	71.1	64.9	87.7	53.4	40.8
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	84.4	74.6	68.8	89.8	60.1	45.5
	所得区分Ⅱ (n=775)	79.5	71.4	65.5	89.3	51.2	40.3
	所得区分Ⅲ (n=224)	69.6	63.8	50.4	83.5	37.5	28.6

		新聞やニュースについて話をする	パソコンを使ってしらべものをする	地域の行事に参加する	泊まりがけで家族旅行に行く	あてはまるものはない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,596)	44.9	47.0	56.5	80.2	2.3	1.1
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	48.9	52.6	61.8	86.8	1.5	0.9
	所得区分Ⅱ (n=822)	42.7	43.7	54.3	77.4	2.4	0.7
	所得区分Ⅲ (n=206)	29.1	32.5	45.1	59.2	5.8	1.5
中学2年生	市全体 (n=2,425)	61.2	51.3	70.1	85.9	1.5	0.9
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	65.5	57.1	74.3	91.0	0.8	0.8
	所得区分Ⅱ (n=775)	59.7	48.8	69.7	85.4	1.3	0.6
	所得区分Ⅲ (n=224)	53.1	42.0	60.7	73.7	3.1	1.3

問 12 新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べて、下のことについて変化がありましたか。(1つに○)

【家族との会話】

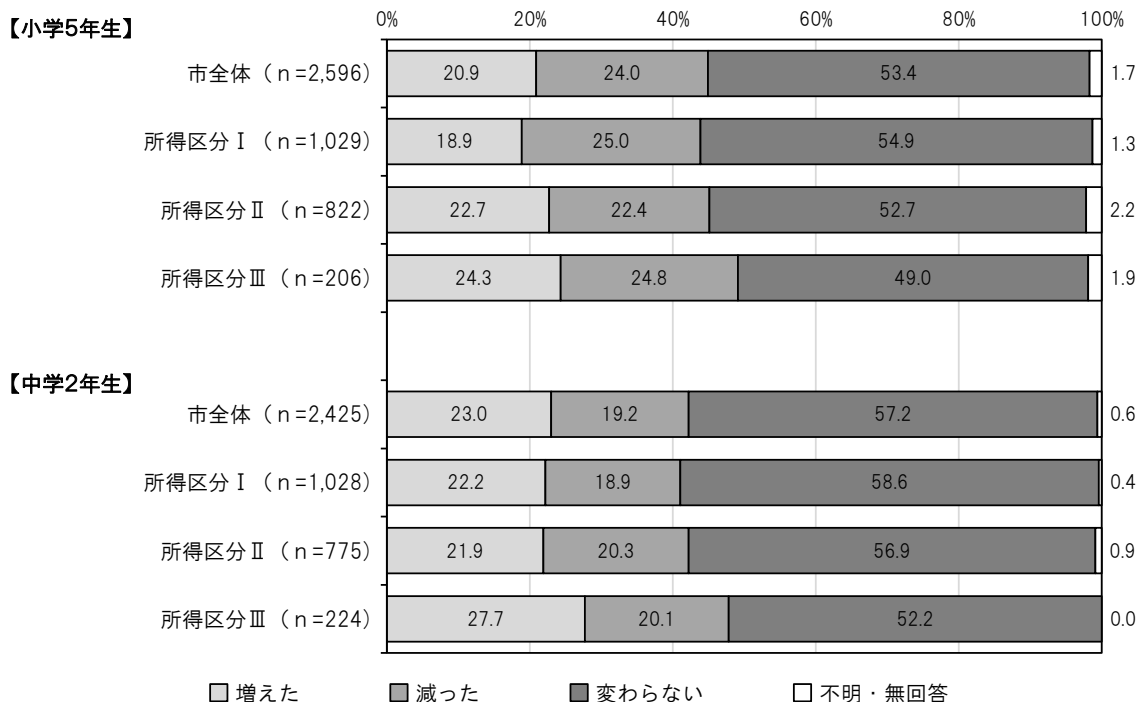
小・中学生ともに「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



【友だちとの会話】

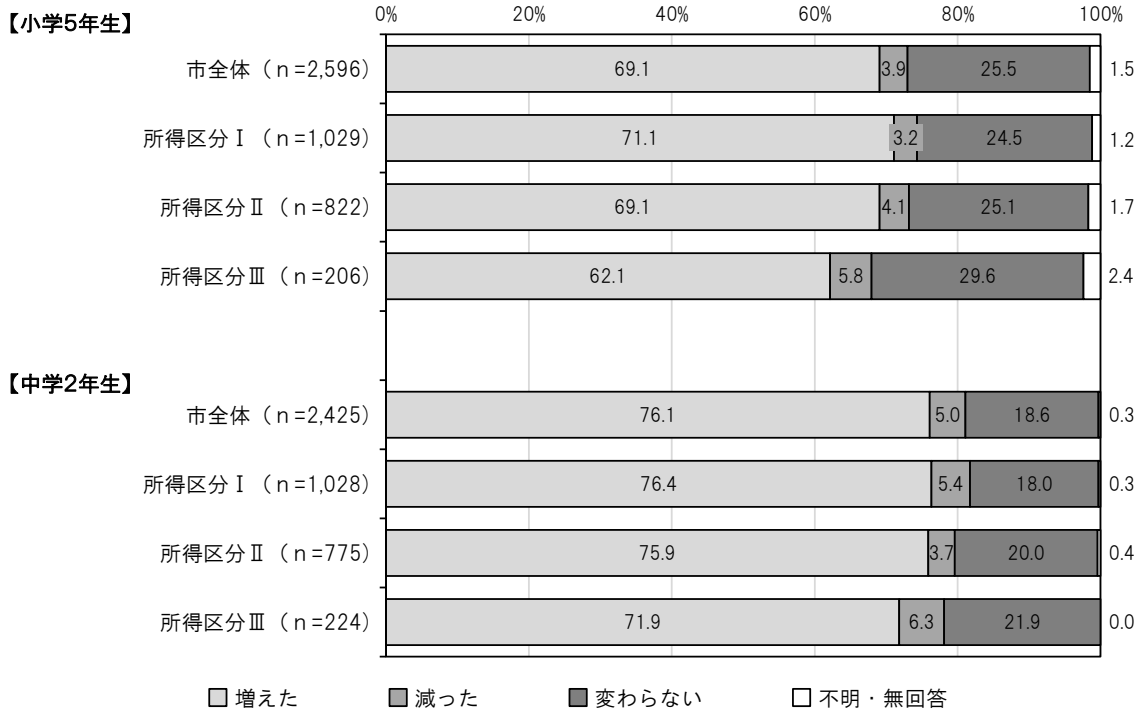
小学生では「変わらない」が最も高く、次いで「減った」となっています。

中学生では「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



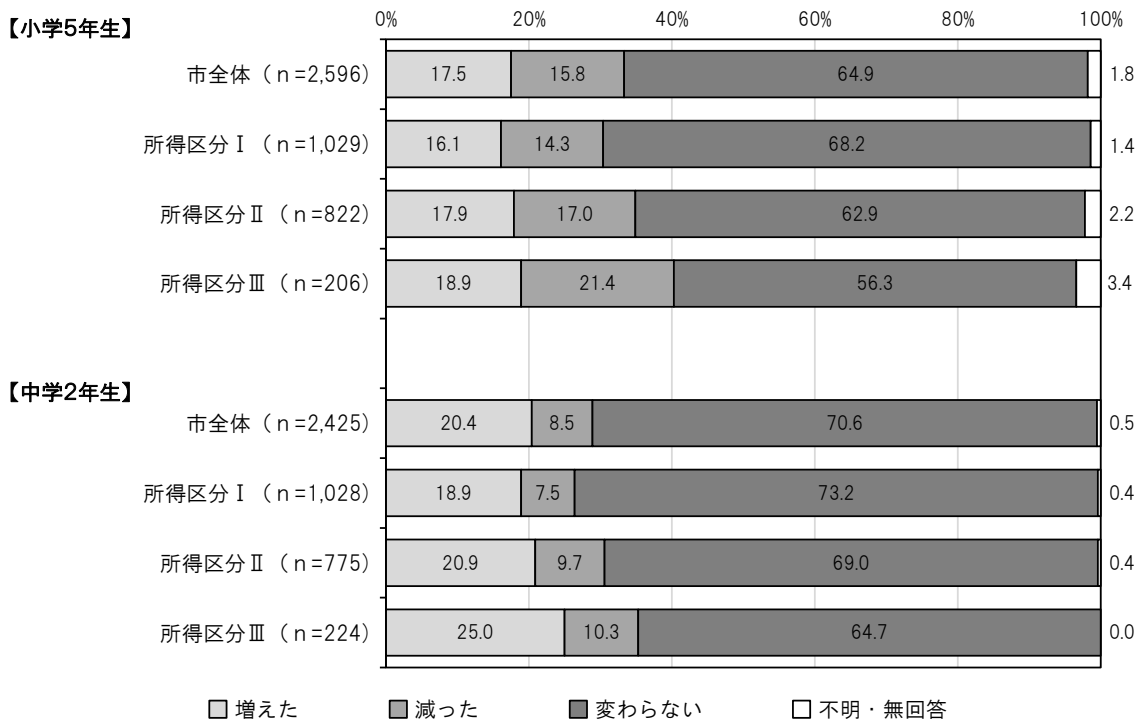
【自宅で過ごす時間】

小・中学生ともに「増えた」が最も高く、次いで「変わらない」となっています。



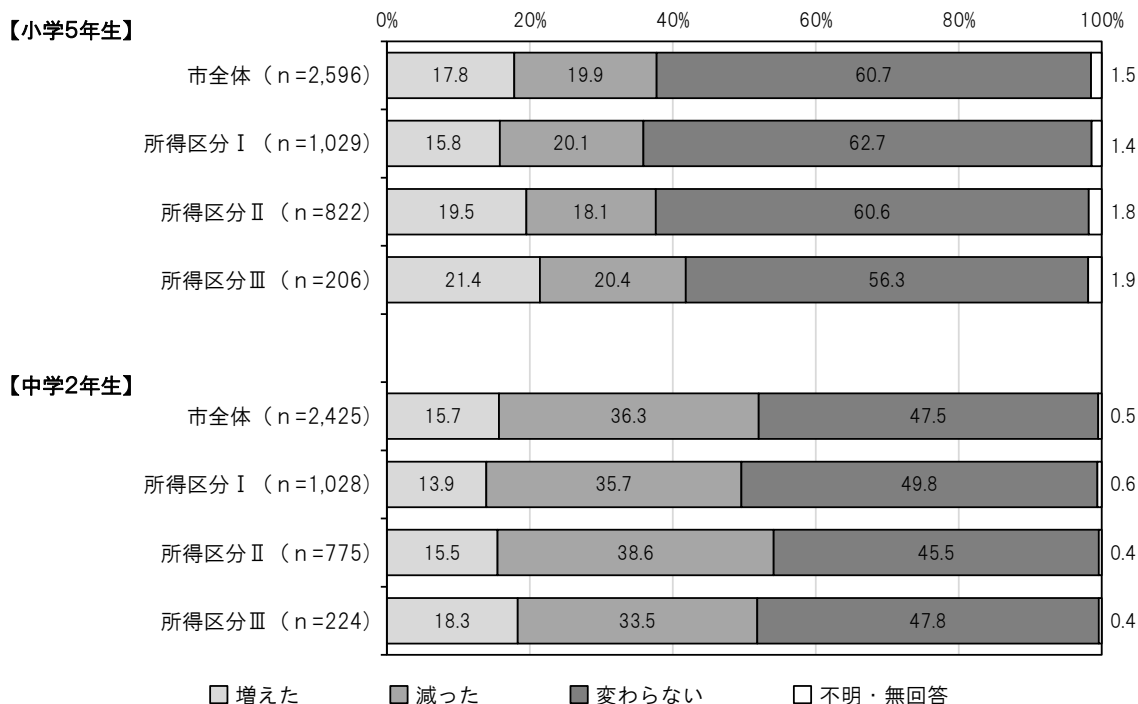
【朝ねぼうの回数】

小・中学生ともに「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



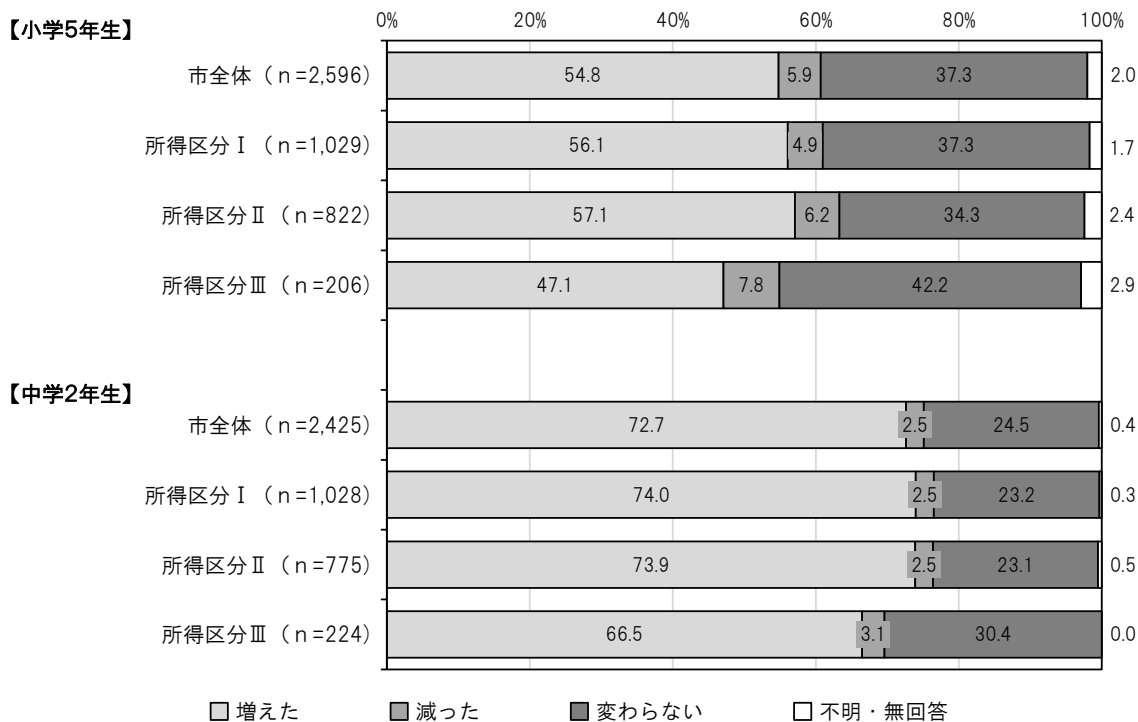
【睡眠時間】

小・中学生ともに「変わらない」が最も高く、次いで「減った」となっています。



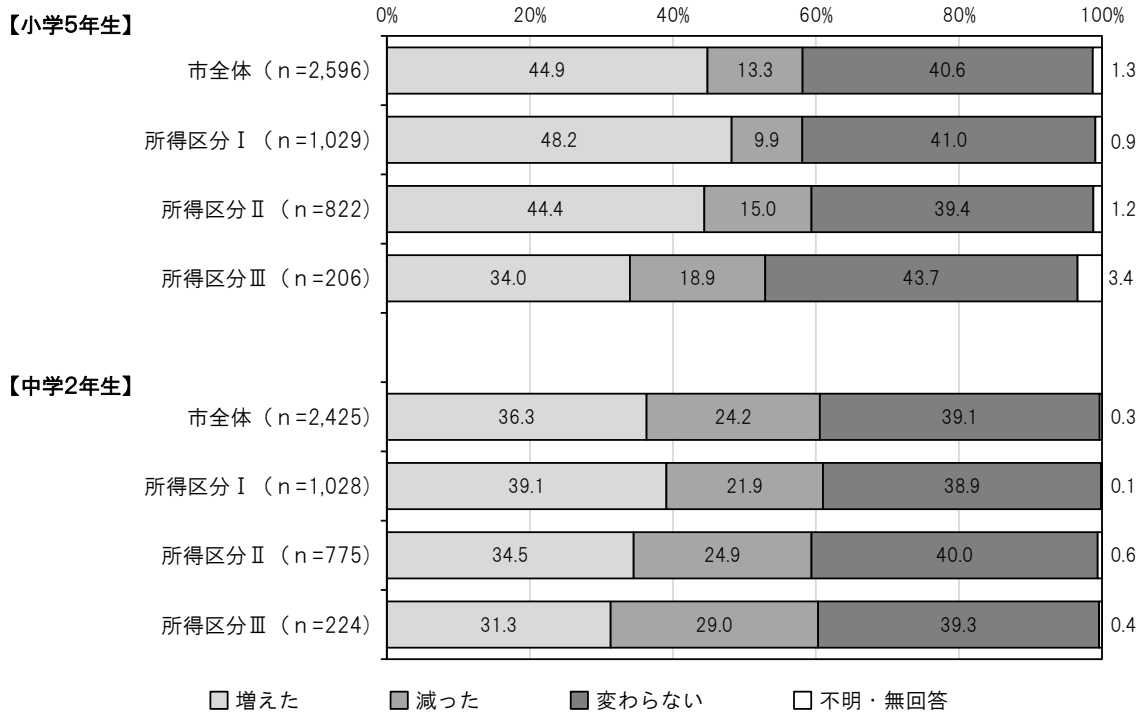
【インターネットの利用（動画配信サービスをふくむ）】

小・中学生ともに「増えた」が最も高く、次いで「変わらない」となっています。



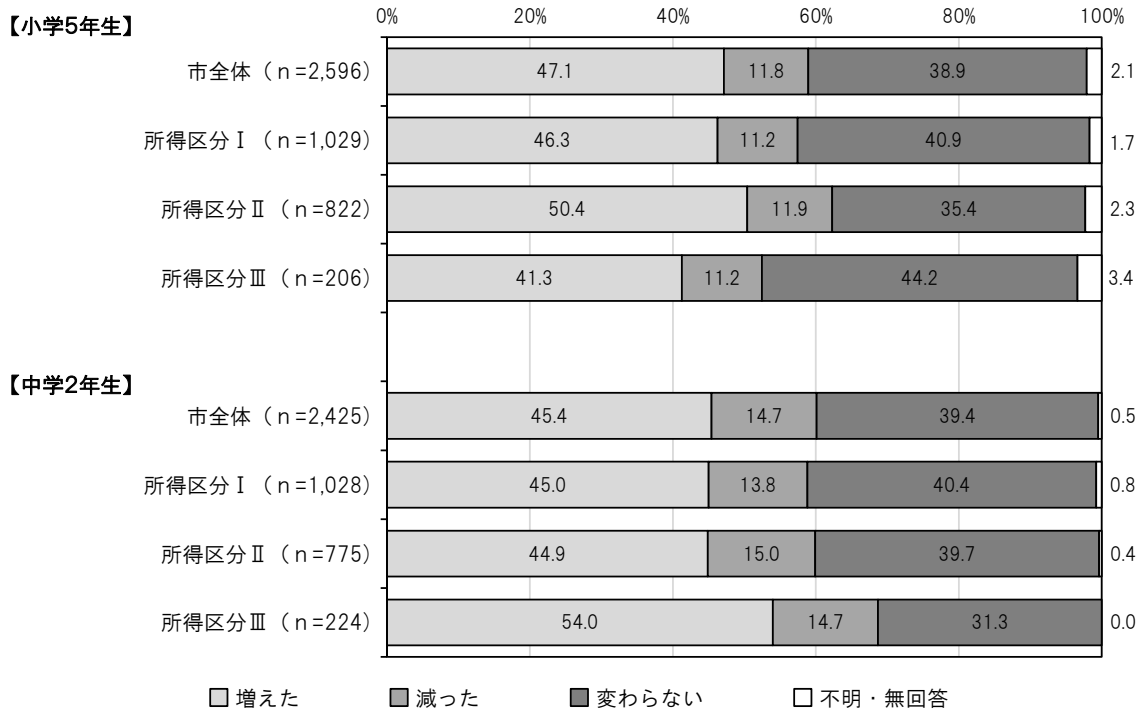
【テレビをみる時間】

小学生では「増えた」が最も高く、次いで「変わらない」となっています。  
 中学生では「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



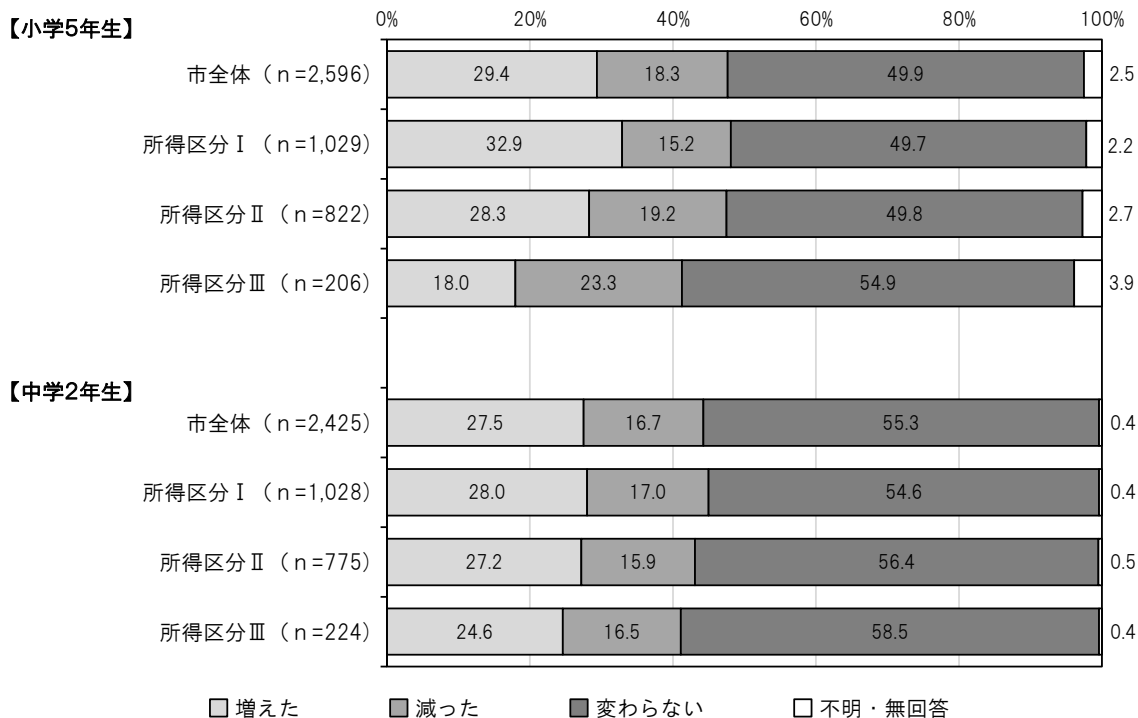
【ゲームをする時間】

小・中学生ともに「増えた」が最も高く、次いで「変わらない」となっています。



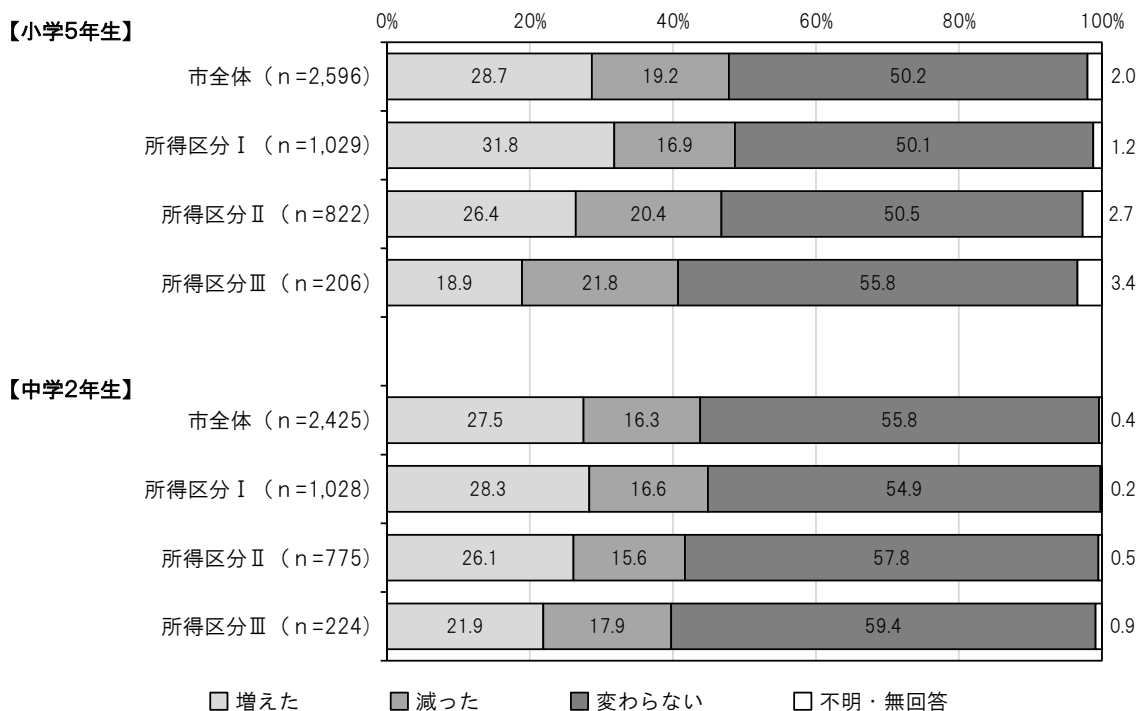
【マンガを読む時間】

小・中学生ともに「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



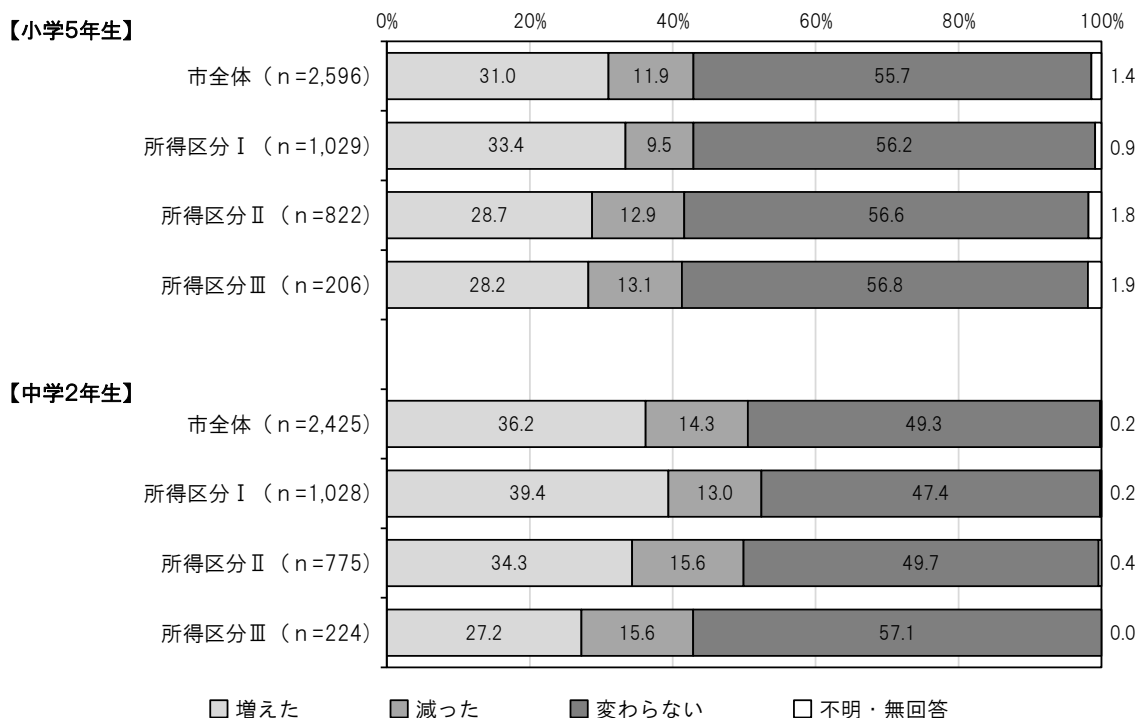
【読書をする時間（マンガ以外）】

小・中学生ともに「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



【勉強をする時間】

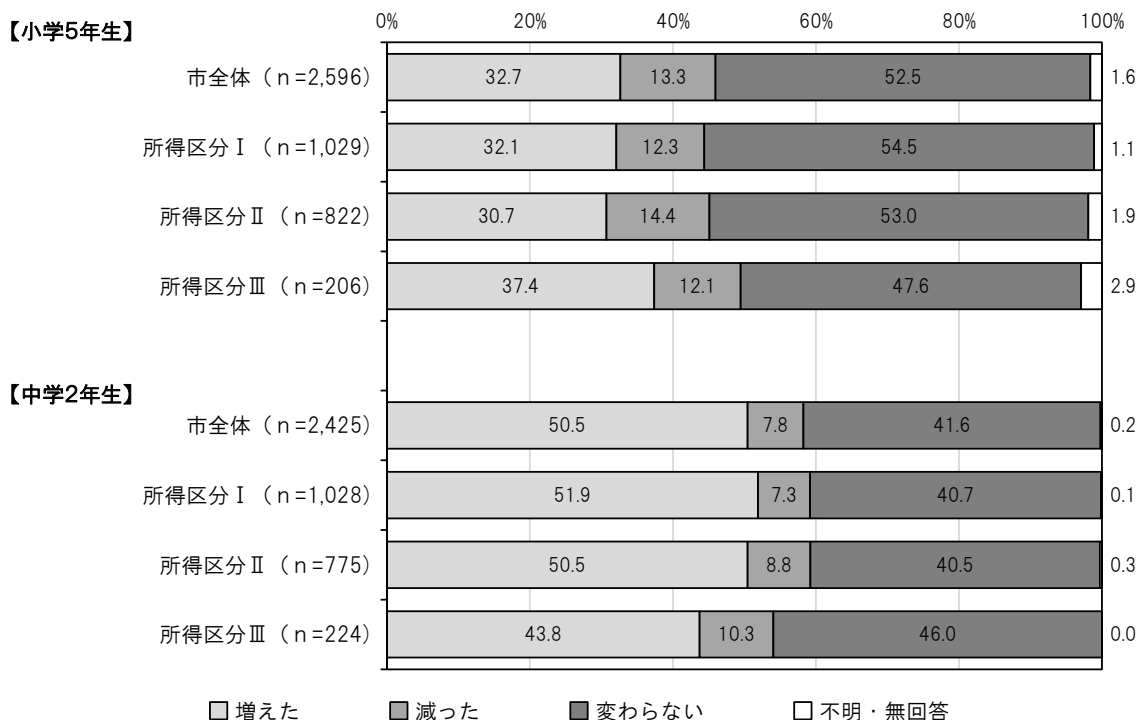
小・中学生ともに「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



【一人だけで過ごす時間】

小学生では「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。

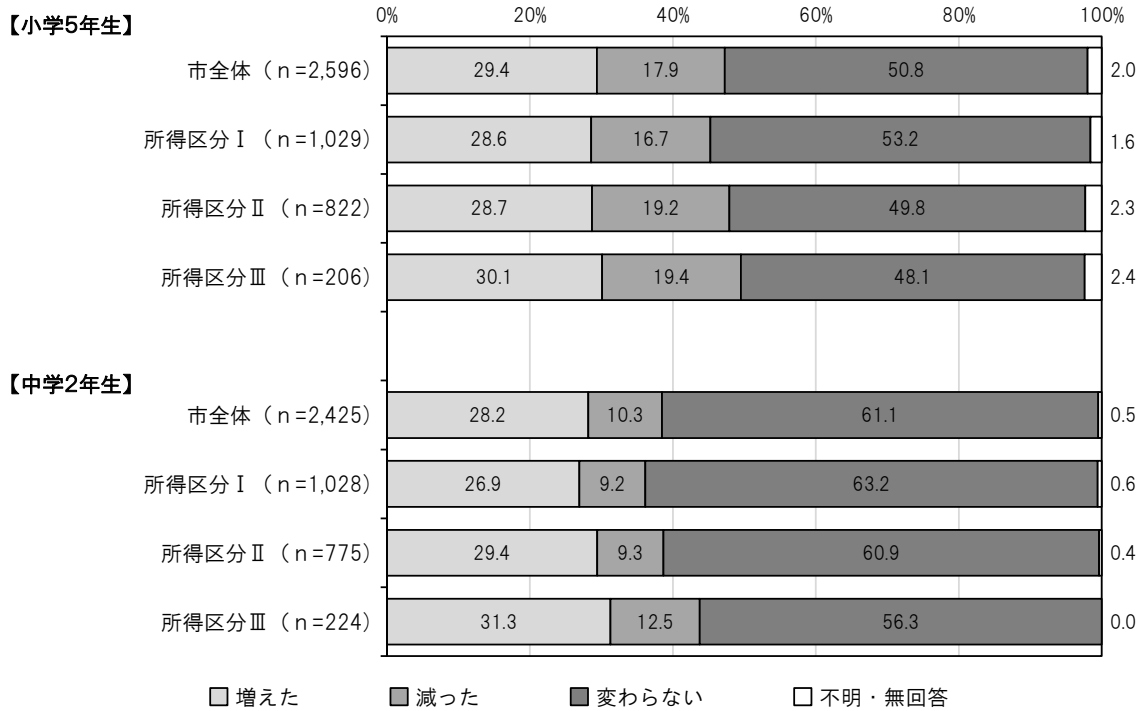
中学生では「増えた」が最も高く、次いで「変わらない」となっています。





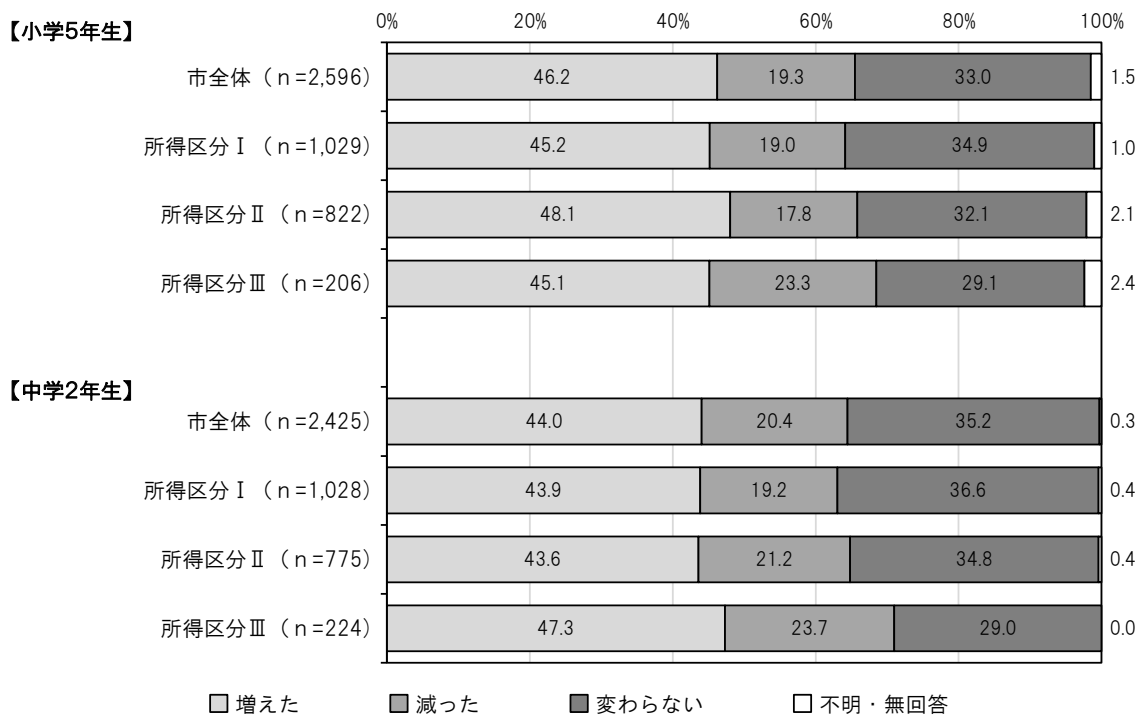
【なんとなく不安を感じること】

小・中学生ともに「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



【楽しいと感じる時間】

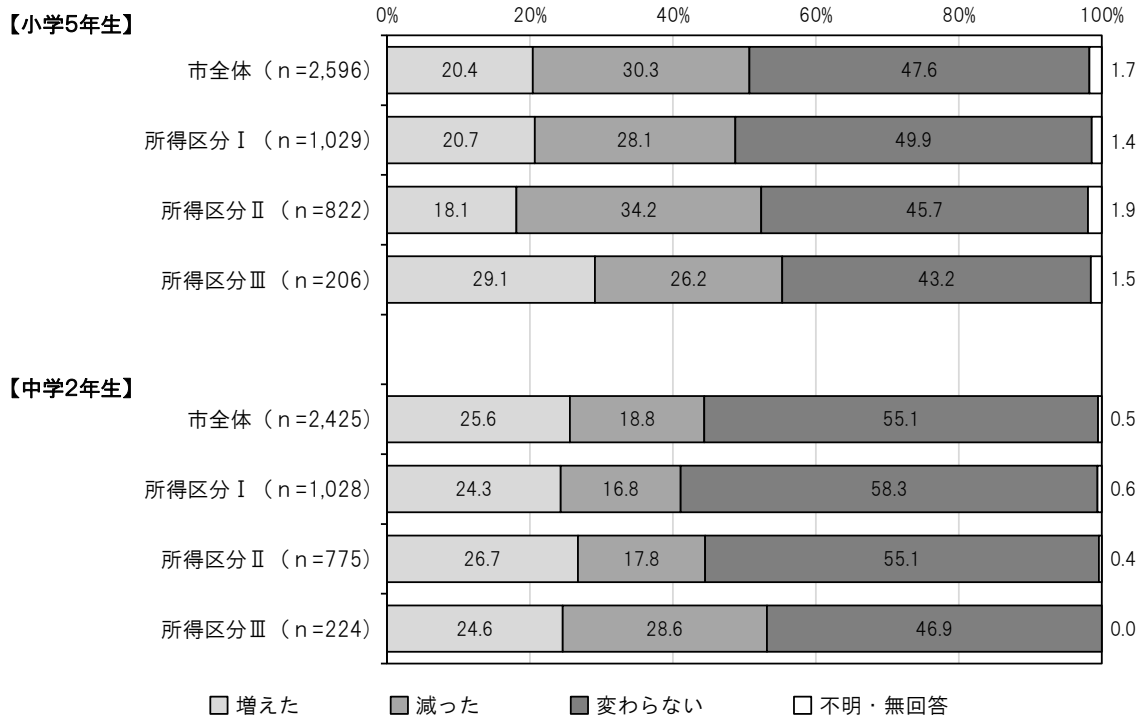
小・中学生ともに「増えた」が最も高く、次いで「変わらない」となっています。



【楽しめない時間】

小学生では「変わらない」が最も高く、次いで「減った」となっています。

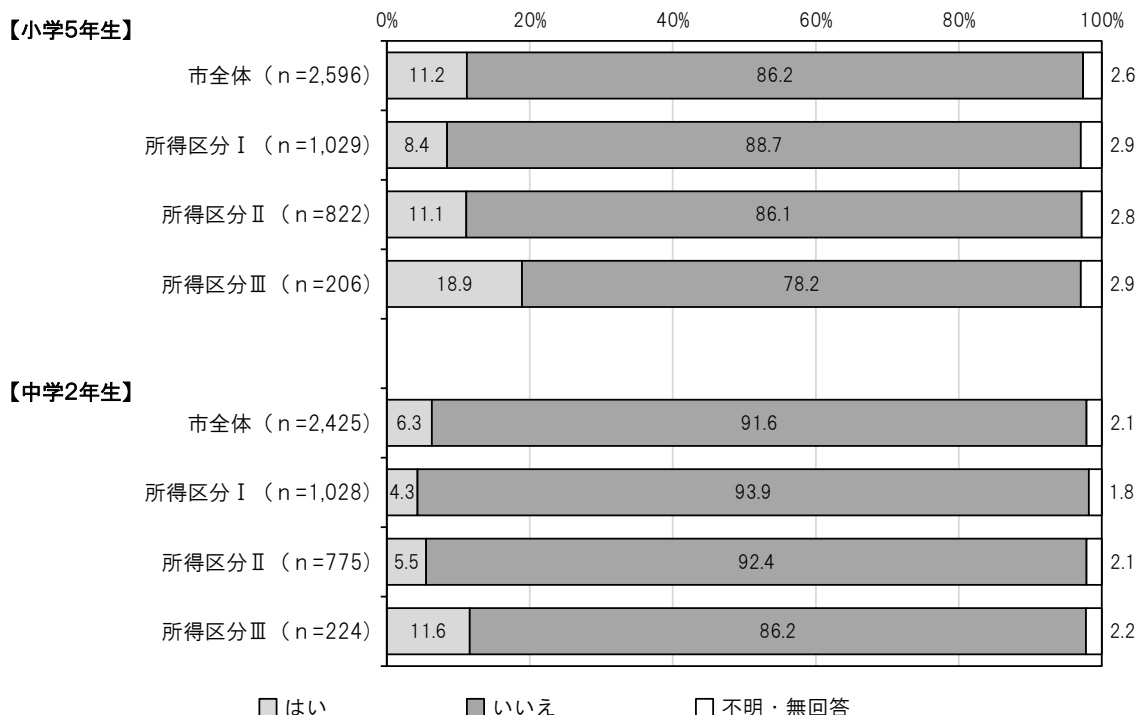
中学生では「変わらない」が最も高く、次いで「増えた」となっています。



問 13 あなたは、家族や親せきに関わったり、仕事を手伝ったりすることで、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならないことがありますか。(1つに○)

小学生では「はい」が所得区分II・IIIで1割を超えており、特に所得区分IIIで高くなっています。

中学生では「はい」が所得区分IIIで1割を超えています。



問 13 で「はい」を選んだ方におうかがいします。

問 14 あなたは、次のようなことを、ふだんどれくらいしていますか。(1つに○)

【お年寄りや障害のある家族や親せきの介護】

小学生では「ほとんど(まったく)しない」が最も高く、次いで「1時間より少ない」となっています。

中学生では「ほとんど(まったく)しない」が最も高く、次いで「1か月に1～3日」となっています。

		ほぼ毎日			1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	1か月に 1～3日	ほとんど (まったく) しない	不明・ 無回答
		1時間よ り少ない	1時間以 上、2時 間より少 ない	2時間以 上						
小学 5年 生	市全体 (n=290)	5.9	1.7	2.1	0.0	1.0	2.4	5.5	71.7	9.7
	所得区分Ⅰ (n=86)	3.5	4.7	1.2	0.0	1.2	0.0	4.7	76.7	8.1
	所得区分Ⅱ (n=91)	7.7	0.0	3.3	0.0	0.0	1.1	5.5	74.7	7.7
	所得区分Ⅲ (n=39)	7.7	0.0	2.6	0.0	0.0	5.1	5.1	56.4	23.1
中学 2年 生	市全体 (n=152)	2.6	3.3	2.0	0.0	0.7	1.3	5.9	71.7	12.5
	所得区分Ⅰ (n=44)	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	4.5	11.4	65.9	15.9
	所得区分Ⅱ (n=43)	7.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	81.4	4.7
	所得区分Ⅲ (n=26)	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6	3.8

【小さい妹、弟の身の回りのお世話】

小学生では「ほとんど(まったく)しない」が最も高く、次いで「1時間より少ない」となっています。

中学生では「ほとんど(まったく)しない」が最も高く、次いで「1時間より少ない」「2時間以上」となっています。

		ほぼ毎日			1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	1か月に 1～3日	ほとんど (まったく) しない	不明・ 無回答
		1時間よ り少ない	1時間以 上、2時 間より少 ない	2時間以 上						
小学 5年 生	市全体 (n=290)	11.0	5.2	7.6	4.8	3.1	2.1	5.9	53.1	7.2
	所得区分Ⅰ (n=86)	14.0	5.8	4.7	4.7	5.8	1.2	7.0	51.2	5.8
	所得区分Ⅱ (n=91)	8.8	6.6	9.9	4.4	3.3	0.0	6.6	51.6	8.8
	所得区分Ⅲ (n=39)	12.8	7.7	5.1	5.1	0.0	5.1	5.1	43.6	15.4
中学 2年 生	市全体 (n=152)	9.2	7.9	9.2	2.0	4.6	2.6	4.6	50.7	9.2
	所得区分Ⅰ (n=44)	6.8	2.3	11.4	0.0	2.3	0.0	4.5	61.4	11.4
	所得区分Ⅱ (n=43)	16.3	4.7	7.0	4.7	7.0	7.0	4.7	46.5	2.3
	所得区分Ⅲ (n=26)	11.5	15.4	11.5	3.8	0.0	3.8	3.8	50.0	0.0

【買い物、食事の準備と片付け、掃除、洗濯などの家事】

小学生では「1時間より少ない」が最も高く、次いで「ほとんど（まったく）しない」となっています。

中学生では「1時間より少ない」が最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」となっています。

		ほぼ毎日			1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	1か月に 1～3日	ほとんど (まったく) しない	不明・ 無回答
		1時間より 少ない	1時間以上、2時間より 少ない	2時間以上						
小学5年生	市全体 (n=290)	23.8	7.9	3.8	7.2	10.7	5.9	13.8	20.7	6.2
	所得区分Ⅰ (n=86)	26.7	8.1	2.3	7.0	11.6	7.0	11.6	23.3	2.3
	所得区分Ⅱ (n=91)	22.0	8.8	5.5	5.5	9.9	4.4	17.6	19.8	6.6
	所得区分Ⅲ (n=39)	30.8	2.6	2.6	7.7	7.7	7.7	7.7	20.5	12.8
中学2年生	市全体 (n=152)	20.4	17.1	11.8	7.2	13.2	4.6	9.2	12.5	3.9
	所得区分Ⅰ (n=44)	22.7	22.7	4.5	9.1	11.4	6.8	4.5	13.6	4.5
	所得区分Ⅱ (n=43)	14.0	18.6	9.3	7.0	20.9	7.0	7.0	14.0	2.3
	所得区分Ⅲ (n=26)	15.4	19.2	19.2	0.0	7.7	3.8	7.7	26.9	0.0

【日本語が十分話せない家族の通訳】

小・中学生ともに「ほとんど（まったく）しない」が最も高く、次いで「1時間より少ない」となっています。

		ほぼ毎日			1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	1か月に 1～3日	ほとんど (まったく) しない	不明・ 無回答
		1時間より 少ない	1時間以上、2時間より 少ない	2時間以上						
小学5年生	市全体 (n=290)	3.8	2.1	3.1	1.4	0.0	0.3	0.7	76.9	11.7
	所得区分Ⅰ (n=86)	2.3	3.5	1.2	2.3	0.0	0.0	1.2	80.2	9.3
	所得区分Ⅱ (n=91)	6.6	1.1	4.4	1.1	0.0	1.1	1.1	74.7	9.9
	所得区分Ⅲ (n=39)	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	25.6
中学2年生	市全体 (n=152)	3.3	0.7	1.3	0.0	0.7	0.0	0.0	82.2	11.8
	所得区分Ⅰ (n=44)	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	79.5	15.9
	所得区分Ⅱ (n=43)	4.7	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	88.4	4.7
	所得区分Ⅲ (n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.2	3.8

【家族の仕事の手伝い】

小・中学生ともに「ほとんど（まったく）しない」が最も高く、次いで「1時間より少ない」となっています。

		ほぼ毎日			1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	1か月に 1～3日	ほとんど (まったく) しない	不明・ 無回答
		1時間よ り少ない	1時間以 上、2時 間より少 ない	2時間以 上						
小学 5 年生	市全体 (n=290)	22.1	5.2	6.2	9.3	6.2	5.9	10.3	26.6	8.3
	所得区分Ⅰ (n=86)	30.2	3.5	5.8	10.5	5.8	2.3	12.8	22.1	7.0
	所得区分Ⅱ (n=91)	16.5	7.7	6.6	4.4	4.4	7.7	13.2	30.8	8.8
	所得区分Ⅲ (n=39)	28.2	5.1	5.1	12.8	5.1	2.6	7.7	20.5	12.8
中学 2 年生	市全体 (n=152)	10.5	7.9	4.6	2.6	5.9	5.9	7.9	46.7	7.9
	所得区分Ⅰ (n=44)	11.4	4.5	4.5	2.3	2.3	4.5	13.6	40.9	15.9
	所得区分Ⅱ (n=43)	11.6	9.3	7.0	2.3	7.0	4.7	4.7	53.5	0.0
	所得区分Ⅲ (n=26)	7.7	11.5	3.8	3.8	3.8	7.7	7.7	53.8	0.0

【それ以外のお世話や手伝い】

小・中学生ともに「ほとんど（まったく）しない」が最も高く、次いで「1時間より少ない」となっています。

		ほぼ毎日			1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	1か月に 1～3日	ほとんど (まったく) しない	不明・ 無回答
		1時間よ り少ない	1時間以 上、2時 間より少 ない	2時間以 上						
小学 5 年生	市全体 (n=290)	13.4	4.8	5.9	4.5	1.4	2.8	4.5	51.0	11.7
	所得区分Ⅰ (n=86)	22.1	4.7	2.3	4.7	1.2	2.3	2.3	51.2	9.3
	所得区分Ⅱ (n=91)	12.1	5.5	4.4	2.2	2.2	3.3	7.7	51.6	11.0
	所得区分Ⅲ (n=39)	7.7	5.1	5.1	0.0	0.0	2.6	0.0	56.4	23.1
中学 2 年生	市全体 (n=152)	11.8	4.6	2.0	3.3	4.6	3.9	8.6	52.0	9.2
	所得区分Ⅰ (n=44)	11.4	4.5	4.5	2.3	6.8	9.1	2.3	50.0	9.1
	所得区分Ⅱ (n=43)	11.6	4.7	2.3	4.7	2.3	0.0	9.3	60.5	4.7
	所得区分Ⅲ (n=26)	7.7	11.5	0.0	0.0	7.7	0.0	3.8	65.4	3.8

**問 15 あなたが問 14 で答えたようなことを他の人が代わりにしてくれらしたら、その時間でやりたいことはありますか。(すべてに○)**

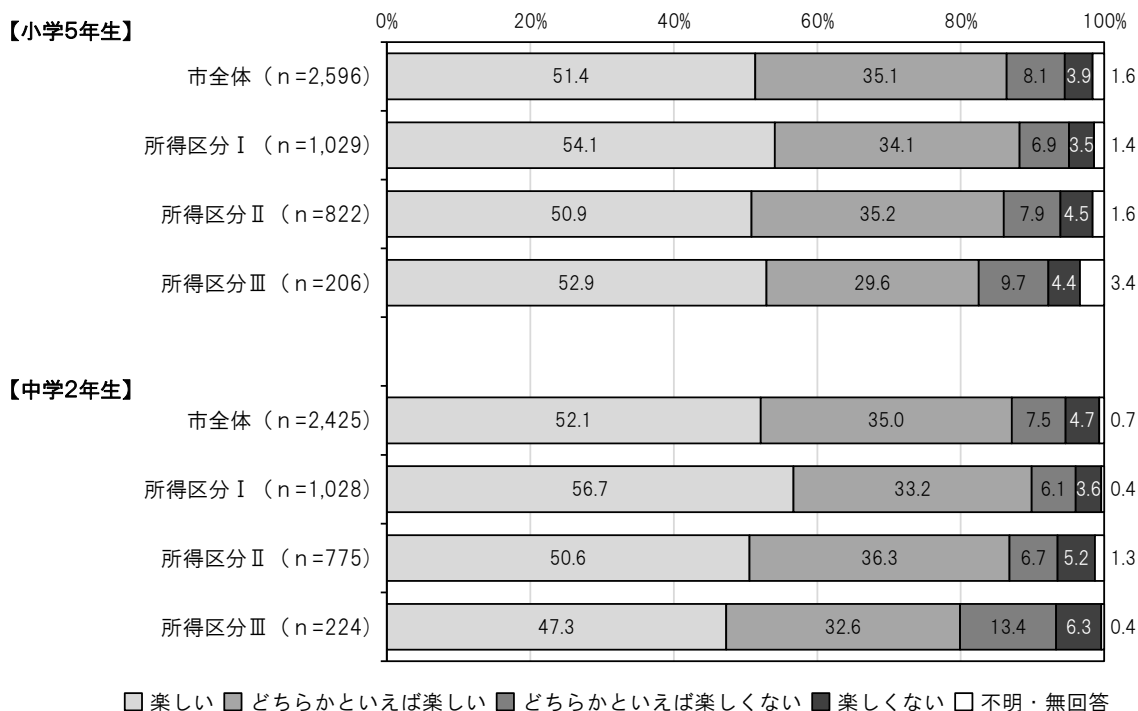
小学生では「友だちと遊ぶ」、中学生では「睡眠をとる」が最も高くなっています。

また、小学生では「睡眠をとる」「学校に毎日行く」「宿題や勉強をする」、中学生では「友だちと遊ぶ」「宿題や勉強をする」も高くなっています。

		学校に毎日行く	学校に遅刻・早退せずに行く	宿題や勉強をする	睡眠をとる	友だちと遊ぶ	部活や習い事をする	その他	特にない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=290)	26.9	18.3	27.6	38.3	52.4	17.6	17.9	16.2	6.9
	所得区分Ⅰ (n=86)	19.8	14.0	26.7	45.3	50.0	18.6	18.6	17.4	7.0
	所得区分Ⅱ (n=91)	30.8	16.5	26.4	29.7	45.1	14.3	22.0	13.2	7.7
	所得区分Ⅲ (n=39)	30.8	28.2	25.6	46.2	61.5	20.5	5.1	20.5	5.1
中学2年生	市全体 (n=152)	13.2	7.9	31.6	55.3	53.3	23.7	10.5	12.5	1.3
	所得区分Ⅰ (n=44)	9.1	6.8	36.4	47.7	59.1	22.7	11.4	9.1	0.0
	所得区分Ⅱ (n=43)	14.0	11.6	34.9	60.5	53.5	25.6	16.3	11.6	2.3
	所得区分Ⅲ (n=26)	19.2	7.7	19.2	38.5	42.3	15.4	3.8	23.1	0.0

**問 16 あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)**

「楽しい」と「どちらかといえば楽しい」の合計について、小・中学生ともに8割を超えています。所得区分Ⅰ～Ⅲにおいても概ね8割台となっていますが、所得区分が低いほど、合計が低くなる傾向にあります。



問 17 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(すべてに○)

小学生では所得区分が低いほど「自分で勉強する」「塾で勉強する」「家の人に教えてもらう」「友達と勉強する」が低くなっています。

中学生では所得区分が低いほど「塾で勉強する」「家の人に教えてもらう」が低くなっています。また、「塾で勉強する」は特に所得区分Ⅲで低くなっています。

		自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	学童保育で勉強する	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
小学5年生	市全体 (n=2,596)	77.9	28.6	2.7	1.4	4.8	0.8
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	82.7	34.9	2.6	1.7	4.8	0.9
	所得区分Ⅱ (n=822)	74.6	23.8	2.9	0.9	4.4	1.1
	所得区分Ⅲ (n=206)	66.5	15.0	1.9	1.5	6.8	1.5
中学2年生	市全体 (n=2,425)	83.1	53.9	3.7	3.6	0.2	1.1
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	84.1	62.7	3.6	3.8	0.1	1.2
	所得区分Ⅱ (n=775)	84.5	50.7	4.0	4.3	0.0	1.3
	所得区分Ⅲ (n=224)	77.2	38.8	4.9	0.4	0.9	0.4

		家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,596)	58.3	25.3	7.2	4.6	0.9
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	63.5	28.1	8.0	2.7	0.7
	所得区分Ⅱ (n=822)	57.5	25.8	7.7	5.5	1.1
	所得区分Ⅲ (n=206)	48.5	18.9	2.9	11.7	2.4
中学2年生	市全体 (n=2,425)	36.9	28.0	2.4	3.6	0.6
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	39.5	28.7	2.0	2.4	0.3
	所得区分Ⅱ (n=775)	35.4	28.8	2.2	4.1	0.8
	所得区分Ⅲ (n=224)	34.4	27.2	3.6	7.6	0.4

問 18 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
(1つに○)

【学校がある日（月～金曜日）】

小・中学生ともに所得区分が低いほど勉強時間が少なくなっており、所得区分Ⅲでは「まったくしない」「30分より少ない」の合計が3割台となっています。

		まったく しない	30分よ り少ない	30分以 上、1時 間より少 ない	1時間以 上、2時 間より少 ない	2時間以 上、3時 間より少 ない	3時間以 上	不明・ 無回答
小学 5 年生	市全体（n=2,596）	5.0	16.9	36.4	28.4	7.6	4.4	1.1
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	3.0	15.7	36.3	30.1	8.4	5.4	1.0
	所得区分Ⅱ（n=822）	5.8	17.0	39.2	26.6	6.4	3.8	1.1
	所得区分Ⅲ（n=206）	11.7	27.2	29.6	24.8	2.9	1.5	2.4
中学 2 年生	市全体（n=2,425）	7.4	17.3	26.9	31.1	11.8	4.8	0.7
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	5.6	15.6	26.4	32.8	13.2	5.8	0.6
	所得区分Ⅱ（n=775）	7.7	18.3	28.3	31.4	10.8	2.8	0.6
	所得区分Ⅲ（n=224）	13.4	22.3	25.9	24.6	8.0	4.5	1.3

【学校がない日（土・日曜日・祝日）】

小・中学生ともに所得区分が低いほど勉強時間が少なくなっており、所得区分Ⅲでは「まったくしない」「30分より少ない」の合計が小学生で5割台、中学生で4割台となっています。

		まったく しない	30分よ り少ない	30分以 上、1時 間より少 ない	1時間以 上、2時 間より少 ない	2時間以 上、3時 間より少 ない	3時間以 上	不明・ 無回答
小学 5 年生	市全体（n=2,596）	18.3	23.8	25.4	16.0	5.7	5.3	5.6
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	12.7	23.2	26.5	18.7	7.8	6.5	4.6
	所得区分Ⅱ（n=822）	21.9	25.8	23.6	14.6	3.3	4.0	6.8
	所得区分Ⅲ（n=206）	27.7	24.3	23.3	11.2	4.4	3.4	5.8
中学 2 年生	市全体（n=2,425）	15.5	18.9	21.5	21.0	11.4	8.5	3.2
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	13.0	17.7	22.9	22.6	11.1	9.8	2.9
	所得区分Ⅱ（n=775）	16.4	20.1	21.0	20.3	12.6	6.5	3.1
	所得区分Ⅲ（n=224）	25.4	23.7	19.2	12.1	10.7	6.3	2.7



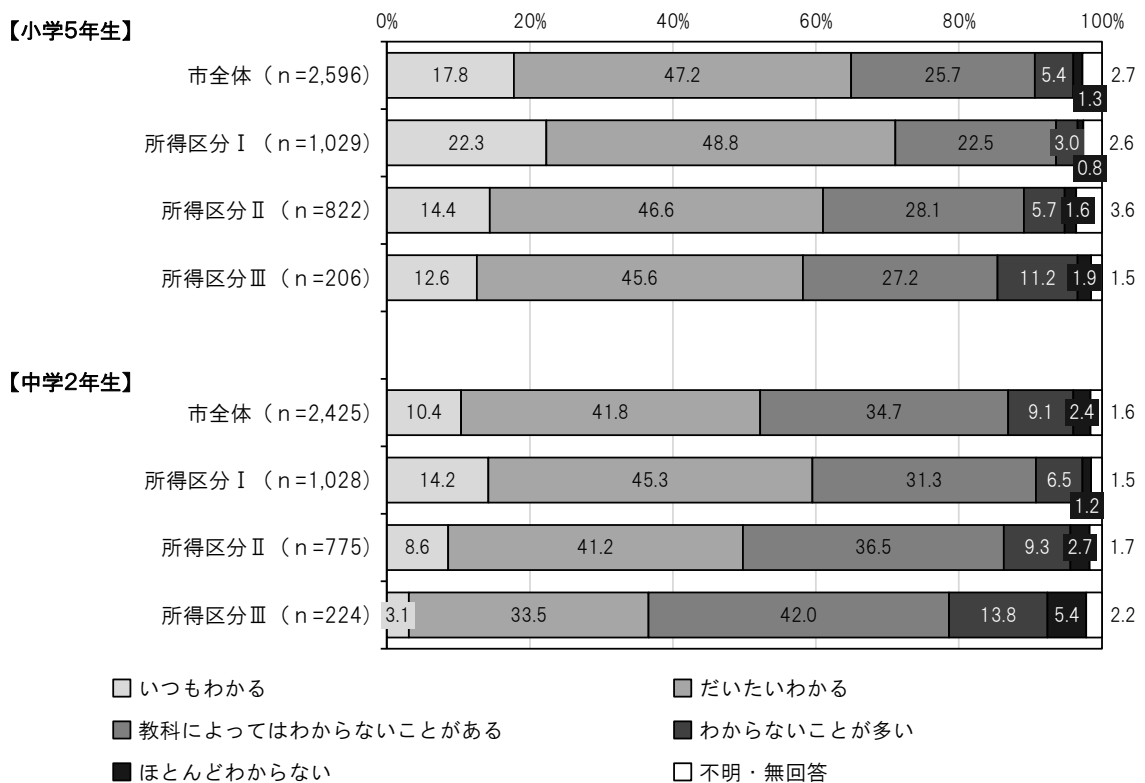
問 19 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(1つに○)

小学生ではそれぞれの区分において大きな差はみられませんが、中学生では所得区分が低いほど「下のほう」が高くなっており、所得区分Ⅲでは4割台となっています。

		上のほう	やや上のほう	まん中あたり	やや下のほう	下のほう	わからない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,596)	8.7	15.1	28.9	11.2	14.0	20.6	1.6
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	11.8	16.8	31.8	9.6	10.5	18.1	1.5
	所得区分Ⅱ (n=822)	6.2	14.2	27.7	12.7	15.7	21.5	1.9
	所得区分Ⅲ (n=206)	4.9	13.6	24.3	15.0	18.0	23.3	1.0
中学2年生	市全体 (n=2,425)	7.8	16.1	26.7	14.1	26.4	8.2	0.8
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	10.8	19.7	28.3	12.0	20.3	8.0	0.9
	所得区分Ⅱ (n=775)	5.9	13.9	27.2	15.9	28.5	7.9	0.6
	所得区分Ⅲ (n=224)	2.7	6.7	19.6	16.1	41.5	12.5	0.9

問 20 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)

小・中学生ともに所得区分が低いほど「わからないことが多い」「ほとんどわからない」の合計は高くなっており、小学生より中学生の方がその差は大きくなっています。



問 20 で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」を選んだ方におうかがいします。

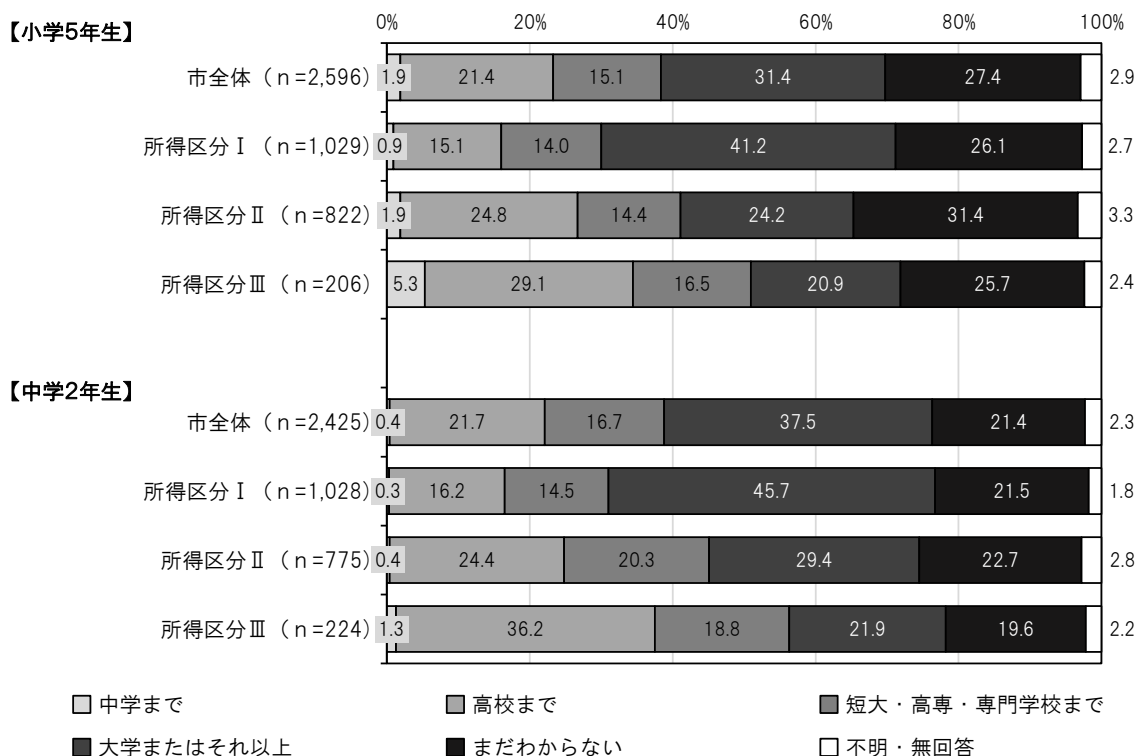
問 20-1 授業がわからないと感じるようになったのはいつごろからですか。(1つに○)

小学生では「小学5年生になってから」が最も高く、次いで「小学3・4年生のころ」となっています。  
中学生では「中学1年生のころ」が最も高く、次いで「中学2年生になってから」となっています。

		小学1・2年生のころ	小学3・4年生のころ	小学5年生になってから(小学5・6年生のころ)	中学1年生のころ	中学2年生になってから	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=839)	9.2	41.1	48.3			1.4
	所得区分Ⅰ (n=271)	8.1	35.8	55.0			1.1
	所得区分Ⅱ (n=291)	8.2	45.7	44.3			1.7
	所得区分Ⅲ (n=83)	10.8	43.4	44.6			1.2
中学2年生	市全体 (n=1,120)	3.9	6.4	17.8	48.8	21.8	1.3
	所得区分Ⅰ (n=401)	3.2	5.0	14.7	51.6	23.9	1.5
	所得区分Ⅱ (n=376)	4.0	7.7	17.3	49.7	19.7	1.6
	所得区分Ⅲ (n=137)	5.1	7.3	21.2	46.7	19.0	0.7

問 21 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(1つに○)

小・中学生ともに所得区分が低いほど「高校まで」が高く、「大学またはそれ以上」が低くなっています。



問 21 で「まだわからない」以外を選んだ方におうかがいします。

問 21-1 その理由を教えてください。(すべてに○)

小・中学生ともに「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっていますが、所得区分が低くなるほどその割合は低くなっています。

		希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	親せきがそうしているから	まわりの先輩や友だちがそうしているから
小学5年生	市全体 (n=1,810)	49.8	16.9	13.0	5.4	1.8	2.0
	所得区分Ⅰ (n=732)	56.1	18.7	12.8	5.3	2.3	1.5
	所得区分Ⅱ (n=537)	46.9	15.1	11.9	5.6	1.7	3.0
	所得区分Ⅲ (n=148)	37.2	19.6	14.2	7.4	2.0	0.7
中学2年生	市全体 (n=1,849)	58.1	19.7	24.1	9.8	3.2	6.1
	所得区分Ⅰ (n=789)	61.1	22.1	27.0	11.4	3.7	5.4
	所得区分Ⅱ (n=577)	58.9	19.4	20.8	9.0	3.3	5.2
	所得区分Ⅲ (n=175)	50.3	17.7	19.4	6.9	2.3	7.4

		家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=1,810)	3.5	4.1	10.2	20.5	2.0
	所得区分Ⅰ (n=732)	2.0	2.6	10.5	17.8	1.8
	所得区分Ⅱ (n=537)	3.4	4.1	11.0	21.2	2.4
	所得区分Ⅲ (n=148)	8.8	9.5	6.8	22.3	4.1
中学2年生	市全体 (n=1,849)	3.1	4.1	6.4	14.2	1.9
	所得区分Ⅰ (n=789)	0.9	3.2	6.5	12.5	1.4
	所得区分Ⅱ (n=577)	5.0	3.1	5.2	14.9	1.7
	所得区分Ⅲ (n=175)	8.0	8.6	6.3	17.1	2.9

問 21×問 21- 1

小学生では、中学までは「自分の成績から考えて」、高校までは「特に理由はない」、それ以降は「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっています。

中学生では、中学までは「自分の成績から考えて」、高校以降は「希望する学校や職業があるから」が最も高くなっています。

また、中学まででは「自分の成績から考えて」「家にお金がないと思うから」「早く働く必要があるから」が他の項目に比べて高くなっています。

		希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	親せきがそうしているから	まわりの先輩や友だちがそうしているから
小学5年生	市全体 (n=1,810)	49.8	16.9	13.0	5.4	1.8	2.0
	中学まで (n=49)	24.5	30.6	6.1	4.1	2.0	2.0
	高校まで (n=555)	25.0	20.9	13.2	7.7	0.9	3.8
	短大・高専・専門学校まで (n=391)	72.1	12.8	7.2	1.8	1.5	1.0
	大学またはそれ以上 (n=815)	57.4	15.3	16.2	5.6	2.6	1.2
中学2年生	市全体 (n=1,849)	58.1	19.7	24.1	9.8	3.2	6.1
	中学まで (n=9)	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	高校まで (n=526)	38.2	30.2	24.9	11.8	2.9	7.0
	短大・高専・専門学校まで (n=405)	81.0	11.1	12.3	8.1	1.2	3.2
	大学またはそれ以上 (n=909)	59.8	17.4	29.2	9.5	4.4	6.9

		家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	特に理由はない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=1,810)	3.5	4.1	10.2	20.5	2.0
	中学まで (n=49)	14.3	14.3	12.2	16.3	4.1
	高校まで (n=555)	4.7	7.7	8.5	31.4	2.3
	短大・高専・専門学校まで (n=391)	2.8	3.1	9.5	13.6	1.0
	大学またはそれ以上 (n=815)	2.3	1.6	11.7	16.7	2.1
中学2年生	市全体 (n=1,849)	3.1	4.1	6.4	14.2	1.9
	中学まで (n=9)	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1
	高校まで (n=526)	6.7	8.4	4.9	18.3	2.7
	短大・高専・専門学校まで (n=405)	2.7	4.2	2.5	8.1	0.7
	大学またはそれ以上 (n=909)	1.2	1.5	8.9	14.4	1.9

## 問 22 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(1つに○)

小学生では「十分満足している」が最も高く、次いで「ある程度満足している」となっており、所得区分Ⅲで「十分満足している」が低くなっています。

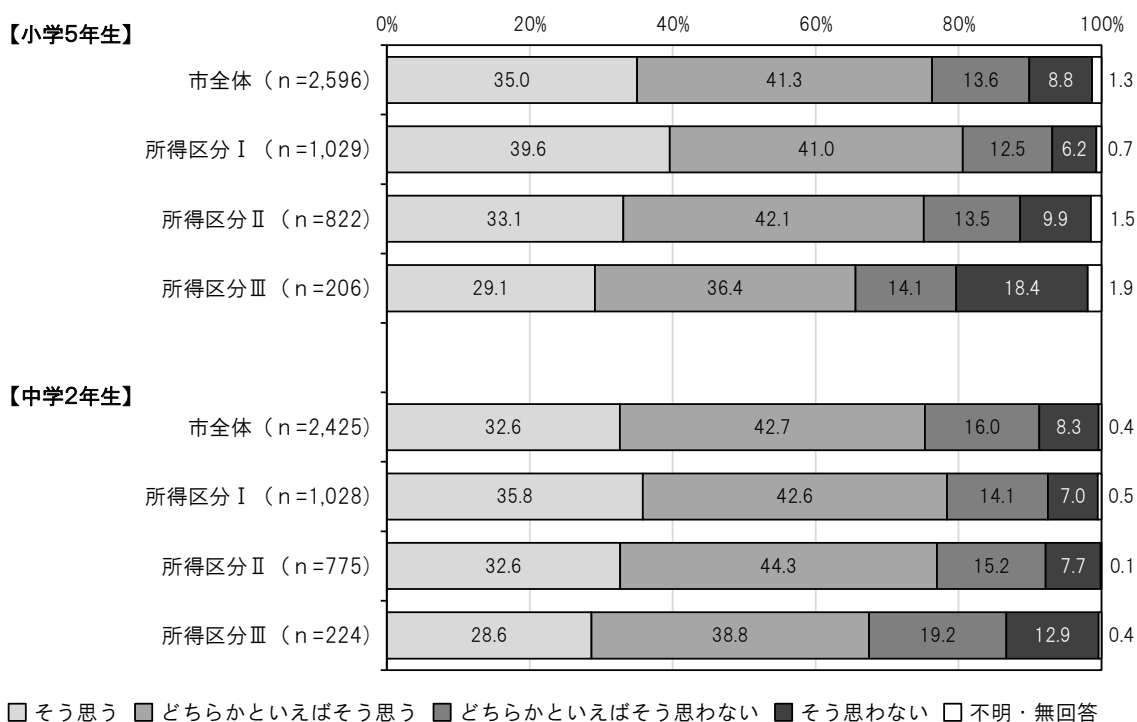
中学生では「ある程度満足している」が最も高く、次いで「十分満足している」となっています。

		十分満足している	ある程度満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	あまり満足していない	まったく満足していない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,596)	43.2	28.2	14.8	5.8	3.7	1.5	2.8
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	45.4	29.0	13.7	5.4	3.0	1.1	2.4
	所得区分Ⅱ (n=822)	45.3	25.9	15.9	5.1	3.3	2.1	2.4
	所得区分Ⅲ (n=206)	34.5	33.5	13.6	7.3	4.9	2.4	3.9
中学2年生	市全体 (n=2,425)	31.6	35.9	17.3	7.3	3.9	2.1	1.9
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	34.2	35.0	17.4	6.4	2.4	2.2	2.2
	所得区分Ⅱ (n=775)	31.2	37.5	16.1	7.5	4.3	1.7	1.7
	所得区分Ⅲ (n=224)	33.5	33.0	19.2	4.5	6.7	2.7	0.4

## 問 23 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものはどれですか。(1つに○)

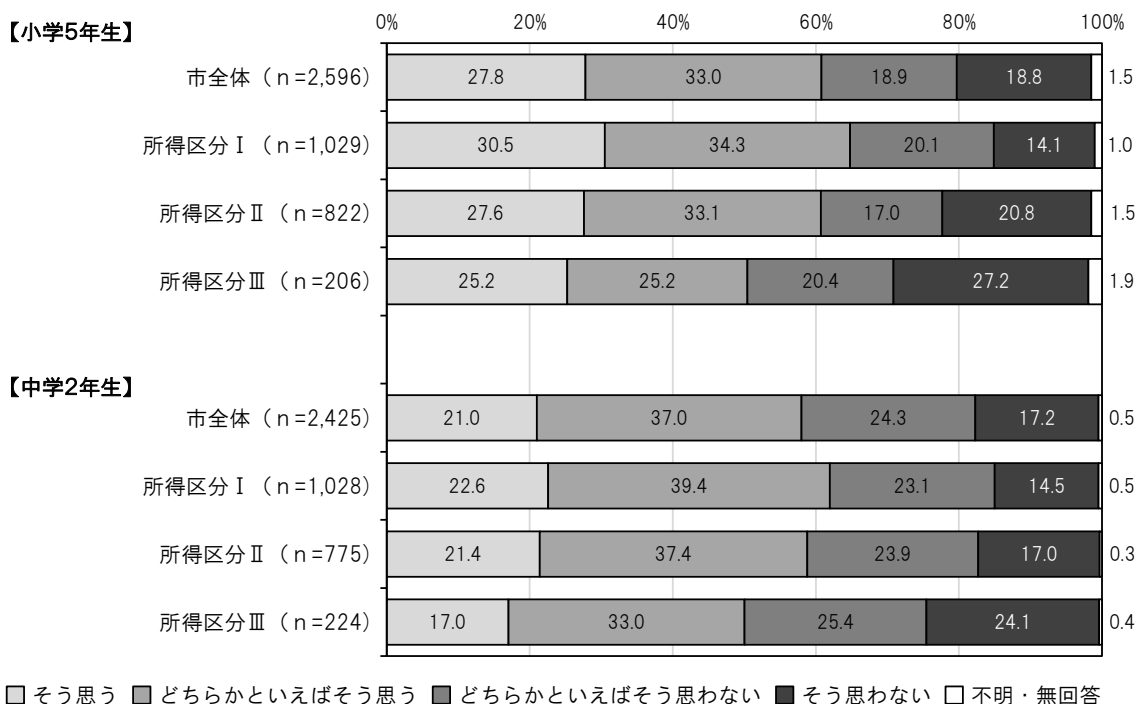
【自分にはよいところがある】

小・中学生ともに所得区分が低いほど「そう思う」は低くなっており、「そう思わない」が高くなっています。



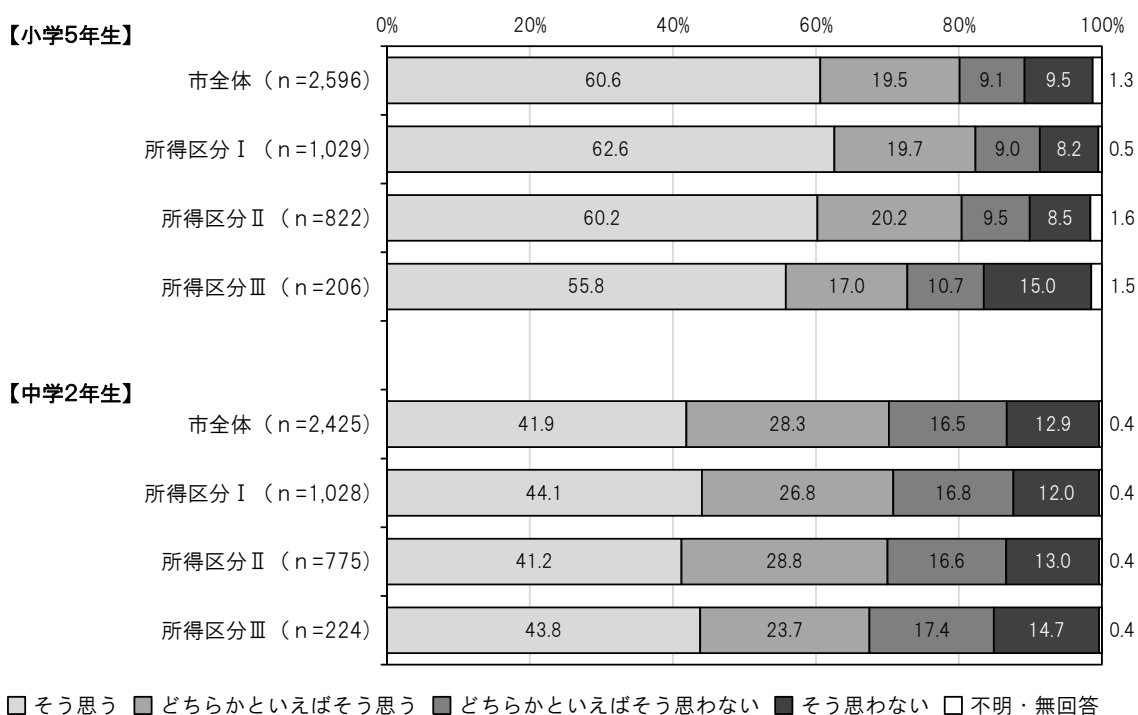
【自分のことが好きだ】

小・中学生ともに所得区分が低いほど「そう思う」は低くなっており、「そう思わない」が高くなっています。



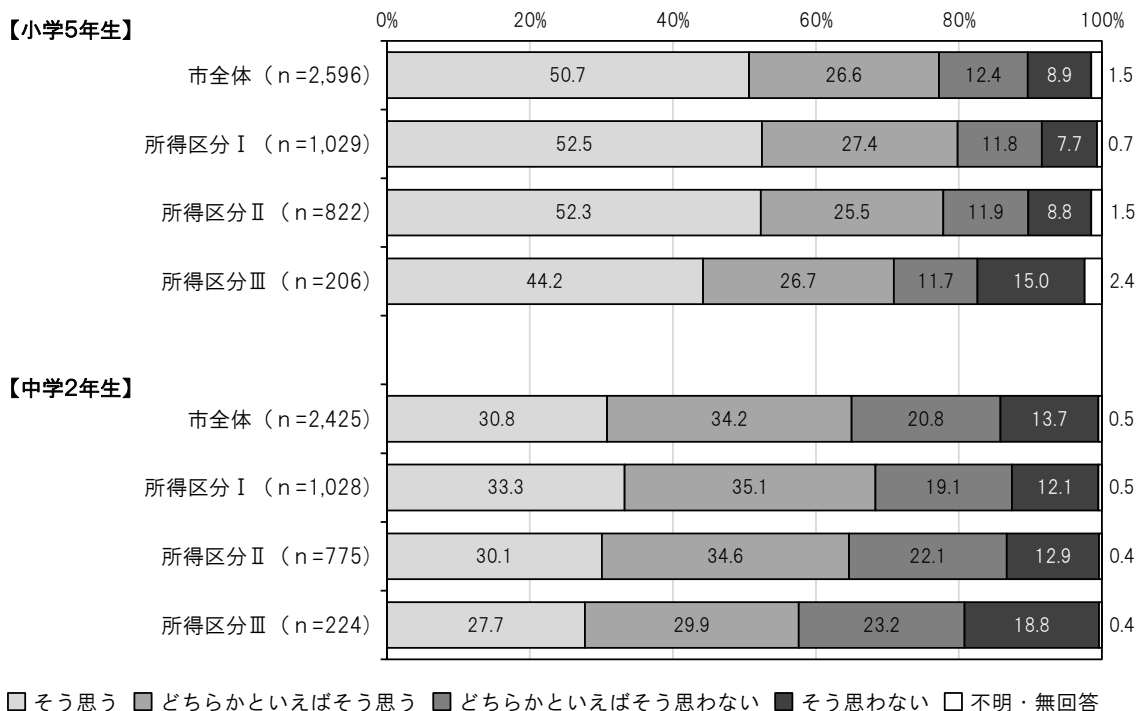
【自分には将来の夢や目標がある】

小学生では所得区分が低いほど「そう思う」は低くなっています。  
中学生ではそれぞれの区分において大きな差はみられません。



【自分の将来が楽しみだ】

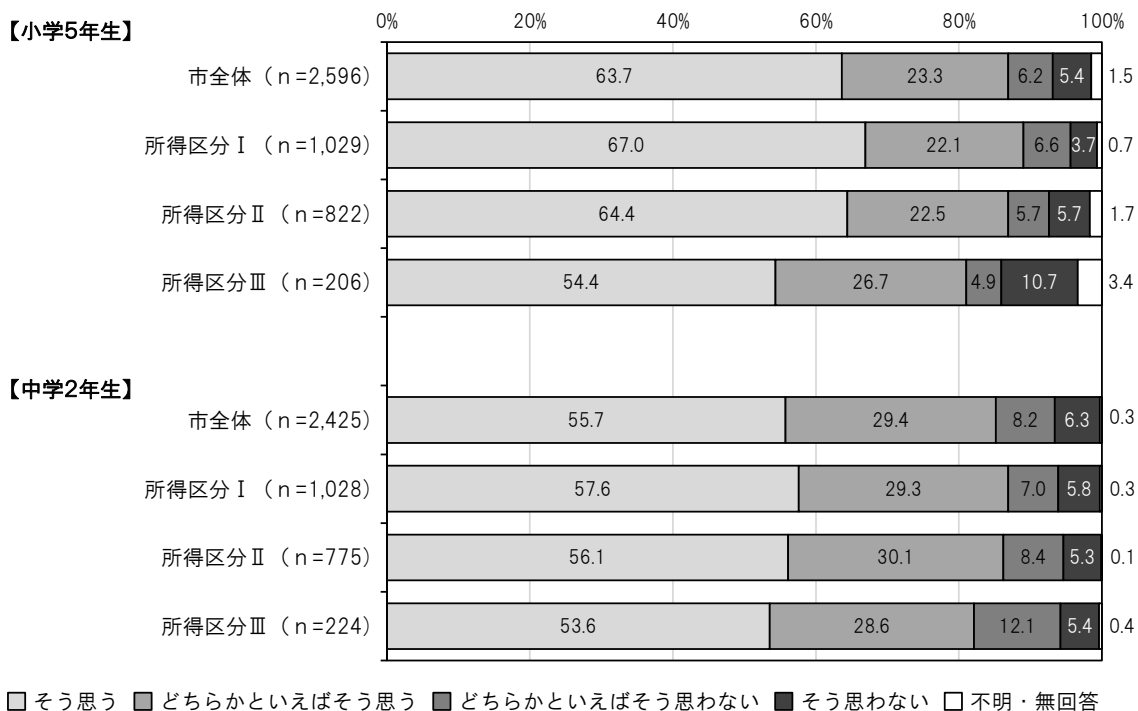
小・中学生ともに所得区分が低いほど「そう思う」は低くなっており、「そう思わない」が高くなっています。



□ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

【がんばれば、よいことがある】

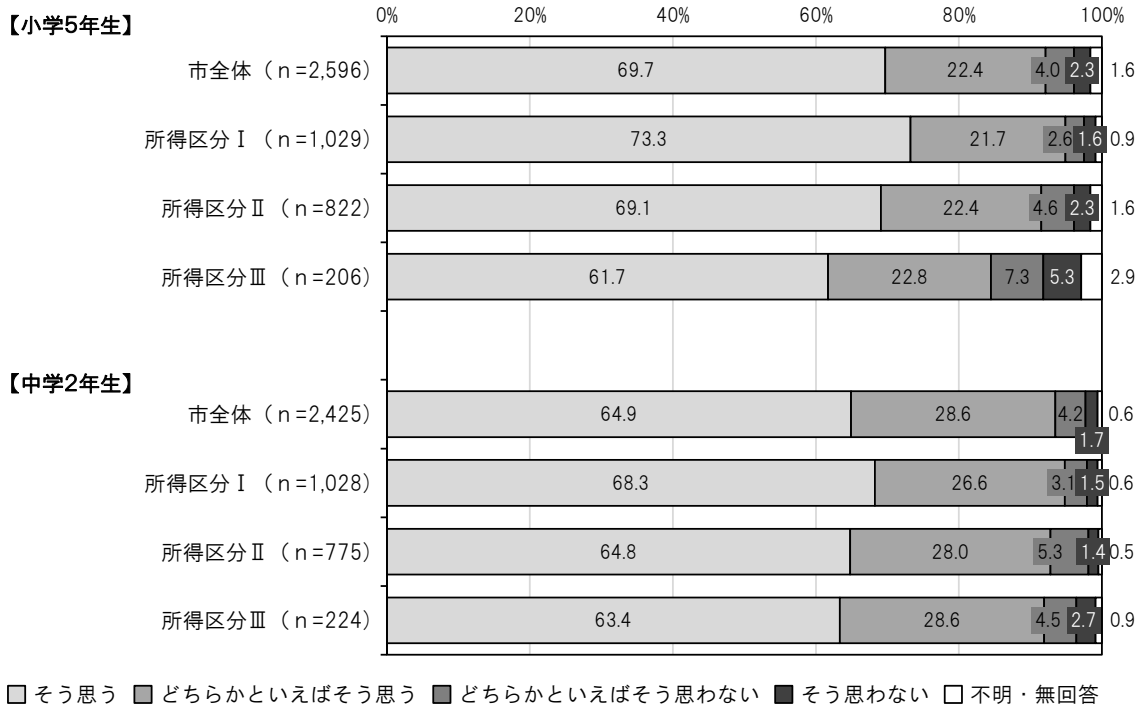
小・中学生ともに所得区分が低いほど「そう思う」が低くなっています。



□ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 不明・無回答

【自分は家族に大事にされている】

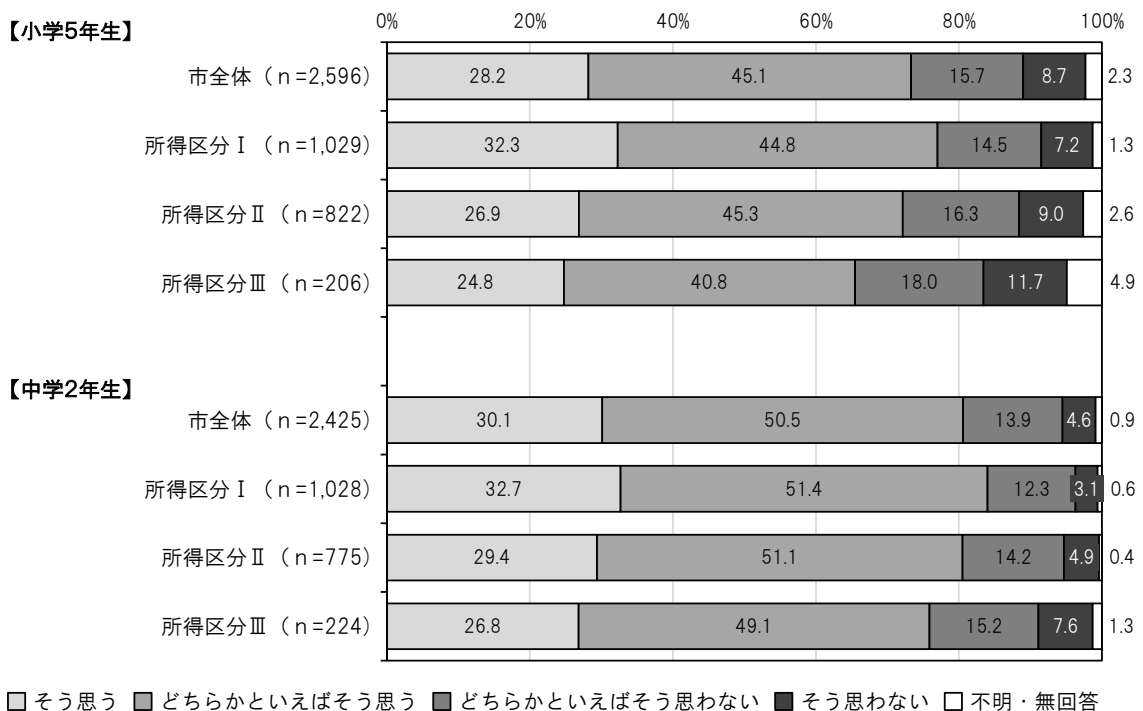
小・中学生ともに所得区分が低いほど「そう思う」が低くなっています。



【自分は友だちから好かれている】

小学生では所得区分が低いほど「そう思う」が低くなっていますが、所得区分 II・IIIでは同程度となっています。

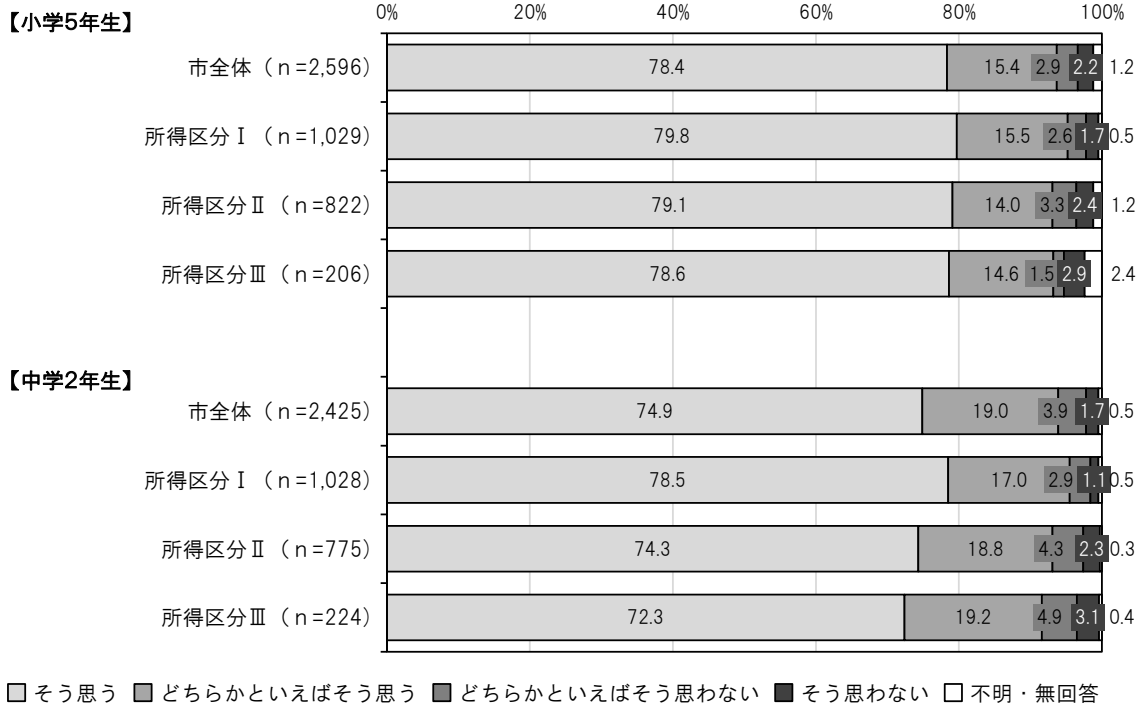
中学生では所得区分が低いほど「そう思う」が低くなっています。





【友だちと会うのは楽しい】

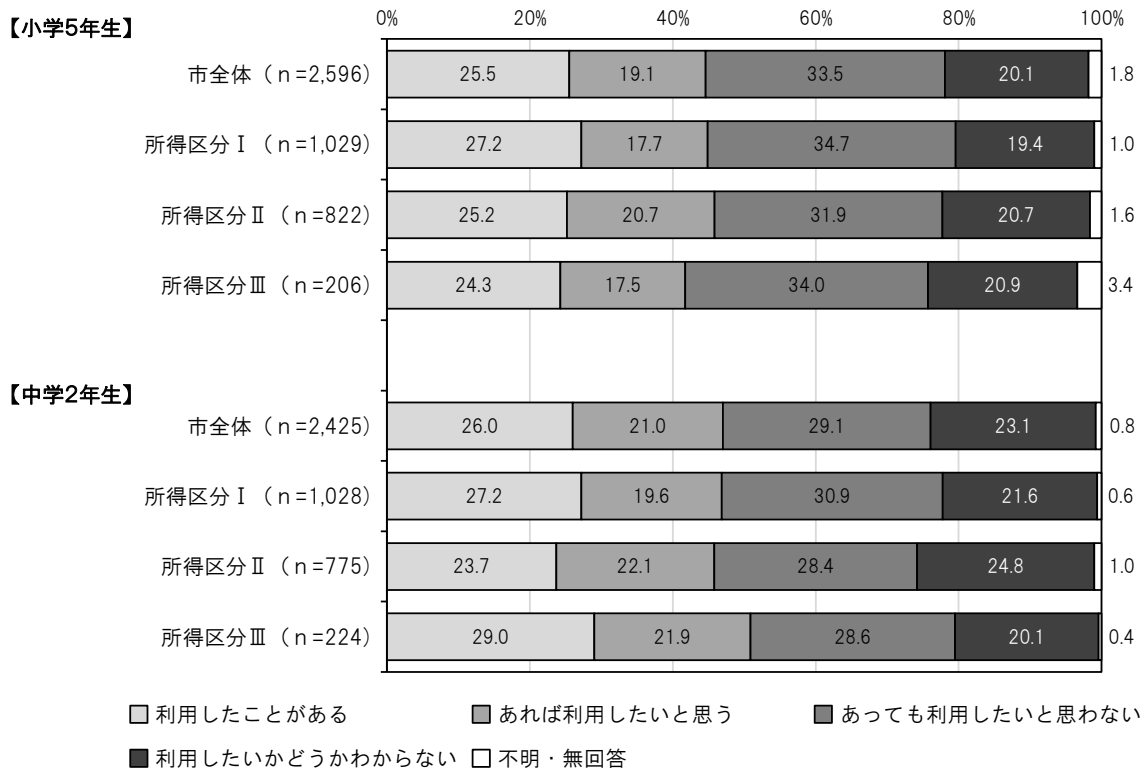
小学生ではそれぞれの区分において大きな差はみられません。  
中学生では所得区分が低いほど「そう思う」が低くなっています。



問 24 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(1つに○)

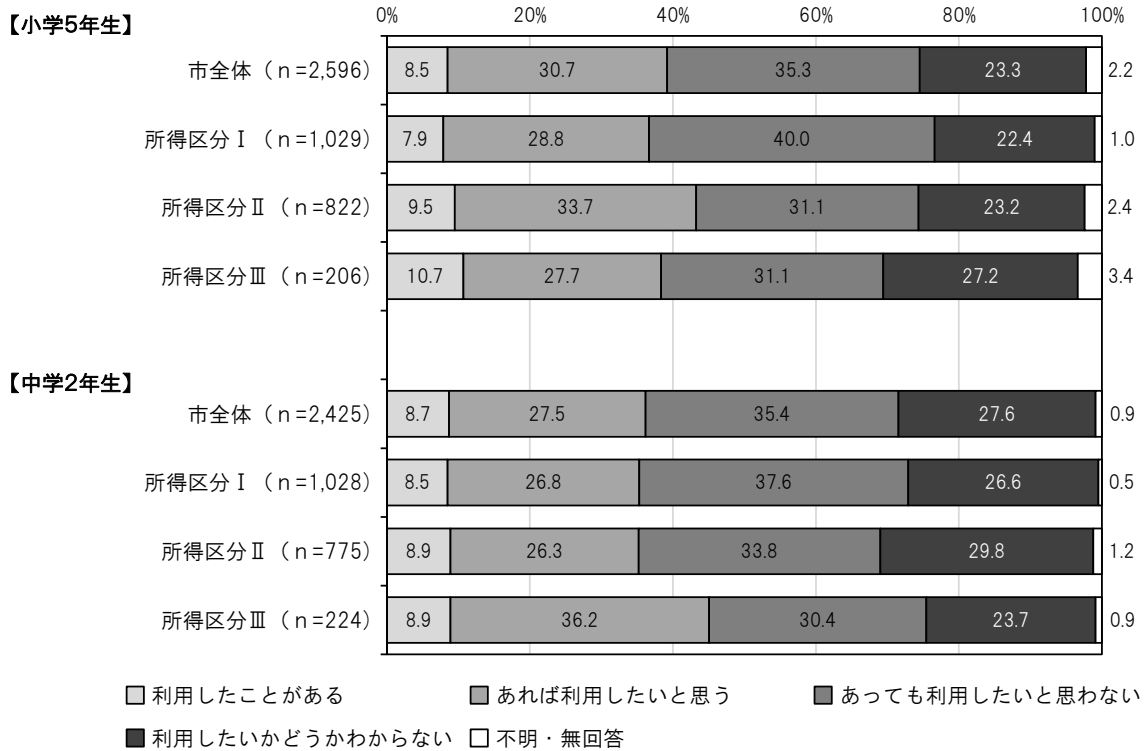
【(自分や友だちの家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所】

小学生ではそれぞれの区分において大きな差はみられませんが、中学生では「利用したことがある」が所得区分Ⅰ・Ⅲでやや高くなっています。



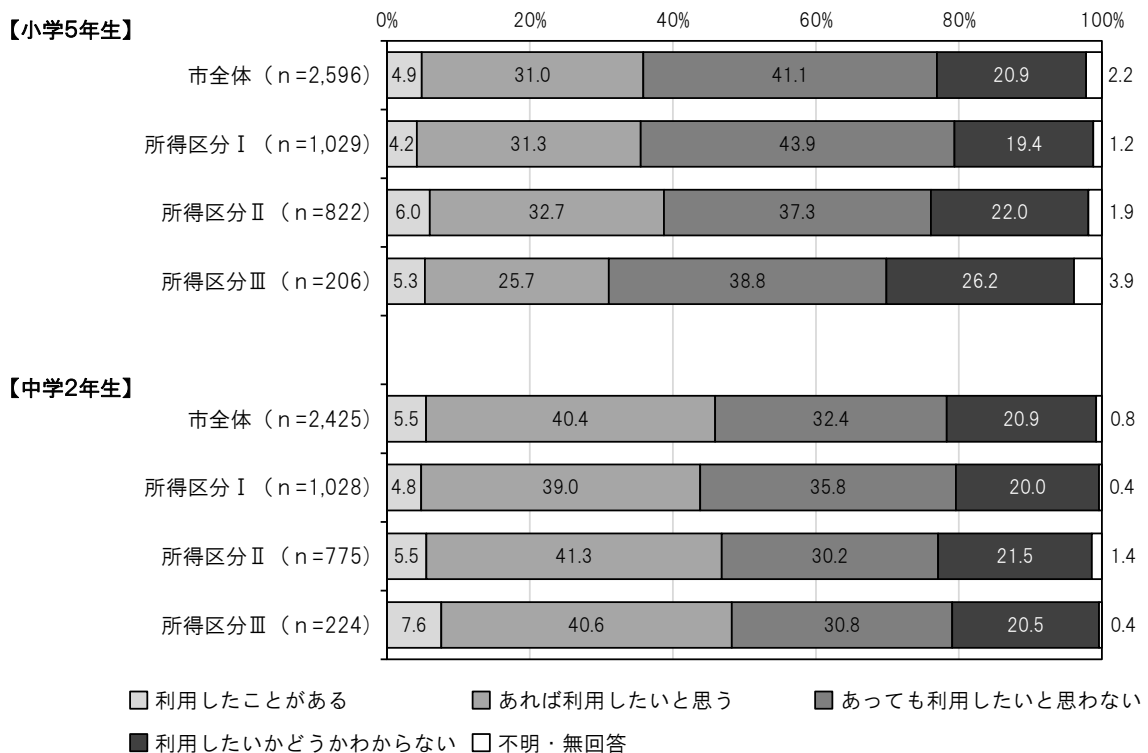
【(自分や友だちの家以外で) 夕食を無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)】

「あれば利用したいと思う」が小学生では所得区分Ⅱ、中学生では所得区分Ⅲで高くなっています。



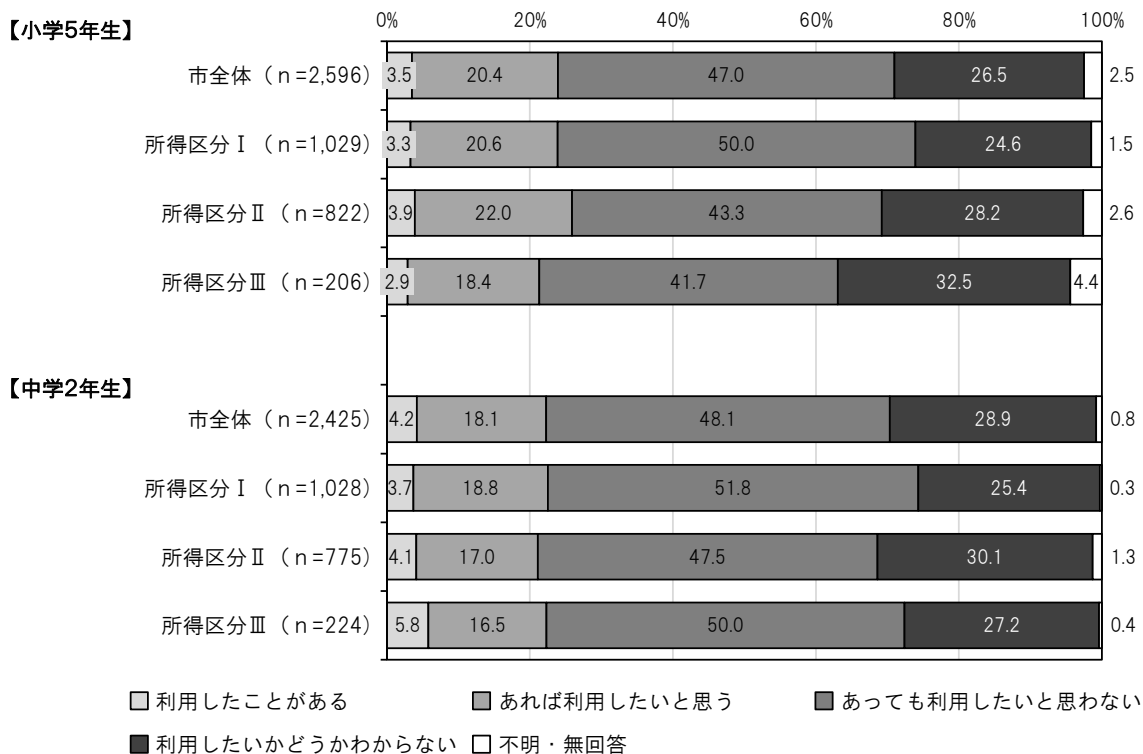
【勉強を無料でみてくれる場所】

「あれば利用したいと思う」が小学生では所得区分Ⅲで低くなっており、中学生では大きな差はみられません。



【(家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やインターネットの相談をふくむ)】

「あれば利用したいと思う」は小・中学生ともに大きな差はみられません。



問 24 で1つでも「利用したことがある」を選んだ方におうかがいします。

問 24-1 そこを利用したことで、どのような変化がありましたか。(すべてに○)

小学生では所得区分Ⅲで「気軽に話せる大人が増えた」「栄養のある食事をとれることが増えた」が他の区分と比べて高くなっています。

中学生では所得区分Ⅲで「ほっとできる時間が増えた」が他の区分と比べて高くなっています。

		友だちが増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しむことが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない		不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=819)	25.9	22.6	40.8	30.5	17.3	18.7	14.7	2.9	33.6	6.1	
	所得区分 I (n=325)	26.2	25.5	40.6	30.2	16.3	21.2	16.3	2.8	35.1	4.6	
	所得区分 II (n=270)	28.1	21.1	42.2	33.0	18.5	16.7	14.4	2.2	31.1	8.1	
	所得区分 III (n=67)	26.9	29.9	47.8	31.3	26.9	25.4	16.4	1.5	35.8	3.0	
中学2年生	市全体 (n=771)	24.1	14.9	31.1	25.8	3.9	11.8	11.9	2.5	36.2	7.1	
	所得区分 I (n=334)	25.1	14.7	33.2	23.4	3.6	12.3	12.6	3.3	34.7	7.5	
	所得区分 II (n=234)	21.8	13.2	27.4	25.2	4.7	12.0	11.1	2.1	39.7	6.0	
	所得区分 III (n=75)	28.0	16.0	34.7	34.7	4.0	10.7	17.3	1.3	34.7	6.7	

問 25 その他、毎日の生活で感じていることやこのアンケートの感想など、自由に書いてください。(自由回答)

※一人の回答者が複数の項目にわたる記述をしている場合は、それぞれを1件としてカウントしています。

■小学5年生

内容	件数
生活について	662
毎日の状況について	271
生活習慣について	23
習いごと・塾について	29
友人関係について	105
悪口やいじめに関することについて	16
学校での生活について	87
勉強について	46
将来のことについて	16
その他	69
家庭について	95
家族関係について	87
家庭での暴力等に関することについて	5
その他	3
新型コロナウイルス感染症の影響について	81
子ども本人に関する影響について	33
友だちとの関わりについて	16
家族に関する影響について	6
その他	26
その他	448
市への要望について	5
アンケートについて	406
その他	37

■ 中学2年生

内容	件数
生活について	451
毎日の状況について	121
生活習慣について	29
部活動について	20
習いごと・塾について	2
余暇活動について	4
友人関係について	59
悪口やいじめに関することについて	5
学校での生活について	89
勉強について	33
将来のことについて	20
その他	69
家庭について	37
家族関係について	32
その他	5
新型コロナウイルス感染症の影響について	54
子ども本人に関する影響について	26
友だちとの関わりについて	6
家族に関する影響について	3
その他	19
その他	230
市への要望について	3
アンケートについて	218
その他	9

## (2) 保護者対象調査

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(1つに○)

回答者について、「母親」が最も高く9割台となっています。

		母親	父親	祖父母	おじ、おば、いとこなどの親せき	兄・姉などのきょうだい	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,588)	92.1	7.1	0.4	0.0	0.0	0.1	0.2
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	92.6	7.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
	所得区分Ⅱ (n=822)	91.0	8.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅲ (n=206)	91.7	6.3	1.0	0.0	0.5	0.0	0.5
中学2年生	市全体 (n=2,377)	91.5	7.2	0.5	0.0	0.1	0.2	0.5
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	91.5	8.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅱ (n=775)	91.5	7.4	0.8	0.0	0.1	0.0	0.3
	所得区分Ⅲ (n=224)	93.8	5.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0

問2 現在一緒に生活している人は、あなたとお子さんを含めて何人ですか。(数量回答)

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲでは「3人」、その他の区分では「4人」が最も高くなっています。

		2人	3人	4人	5人	6人	7人
小学5年生	市全体 (n=2,584)	2.3	14.4	47.1	22.9	8.8	2.5
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	1.1	13.3	58.0	20.7	5.8	0.9
	所得区分Ⅱ (n=822)	1.7	11.8	41.4	28.2	13.0	2.8
	所得区分Ⅲ (n=206)	9.2	29.1	20.4	21.4	10.2	5.3
中学2年生	市全体 (n=2,377)	3.0	16.4	45.5	21.4	8.5	2.7
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	2.0	13.6	55.8	21.5	5.6	1.3
	所得区分Ⅱ (n=775)	2.2	14.6	41.2	25.3	11.7	3.7
	所得区分Ⅲ (n=224)	10.7	32.1	24.1	12.9	10.7	5.8

		8人	9人	10人	11人以上	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,584)	0.8	0.2	0.0	0.1	0.8
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅱ (n=822)	0.7	0.2	0.0	0.1	0.0
	所得区分Ⅲ (n=206)	2.4	1.5	0.5	0.0	0.0
中学2年生	市全体 (n=2,377)	0.8	0.2	0.1	0.0	1.3
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅱ (n=775)	0.9	0.1	0.1	0.1	0.0
	所得区分Ⅲ (n=224)	2.2	0.9	0.4	0.0	0.0

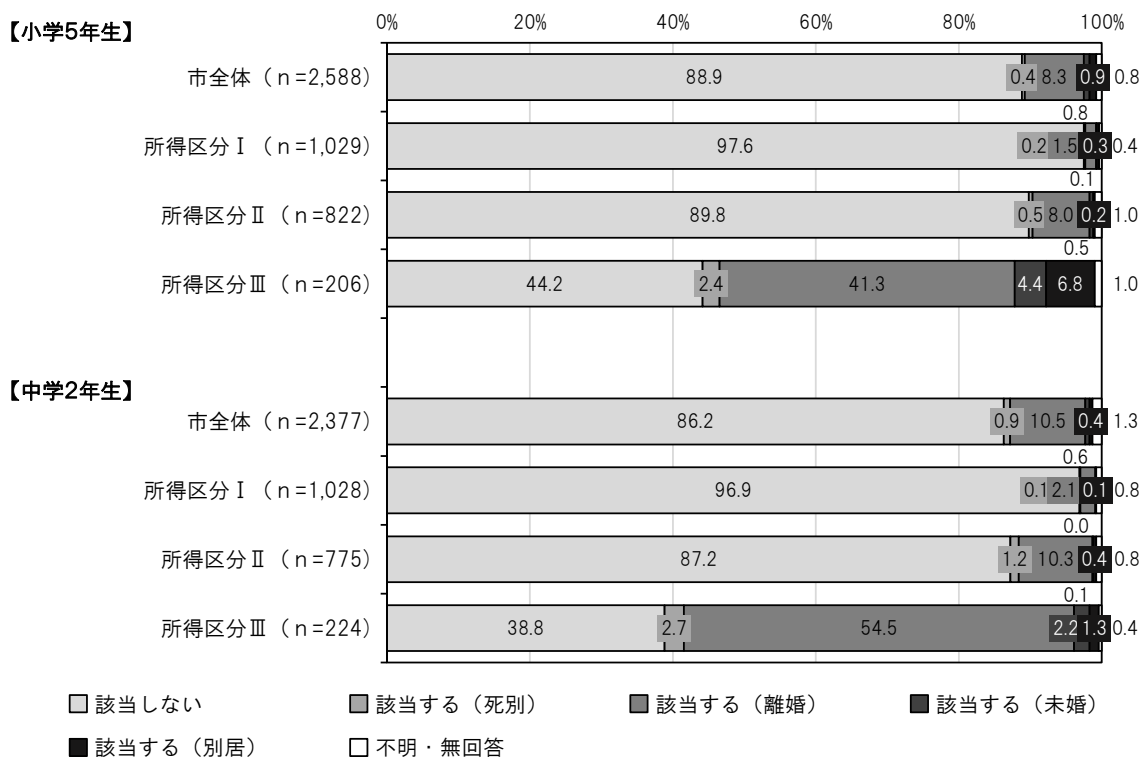
### 問3 あなたの世帯全員の、お子さんからみた続柄について教えてください。(すべてに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「父親」が低く、「祖父母」が高くなっています。所得区分Ⅲでは、「父親」が小学生保護者で4割台、中学生保護者で2割台となっています。

		母親	父親	祖父母	おじ、おば、いとこなどの親せき	兄・姉などのきょうだい	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,588)	94.2	77.0	12.5	1.5	68.9	0.6	0.7
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	95.2	86.9	7.7	0.8	74.9	0.0	0.3
	所得区分Ⅱ (n=822)	93.4	78.3	15.8	1.9	70.6	0.5	1.2
	所得区分Ⅲ (n=206)	94.7	40.3	20.9	2.4	57.8	2.9	0.0
中学2年生	市全体 (n=2,377)	93.0	67.5	12.2	1.4	60.2	0.9	1.1
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	94.9	75.6	8.6	0.9	65.3	0.4	0.2
	所得区分Ⅱ (n=775)	92.0	72.3	14.7	1.2	63.6	0.9	1.3
	所得区分Ⅲ (n=224)	92.4	27.7	16.1	1.3	39.7	2.7	0.0

### 問4 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(1つに○)

「該当する」は所得区分Ⅲで高くなっており、小学生保護者で5割台、中学生保護者で6割台となっています。

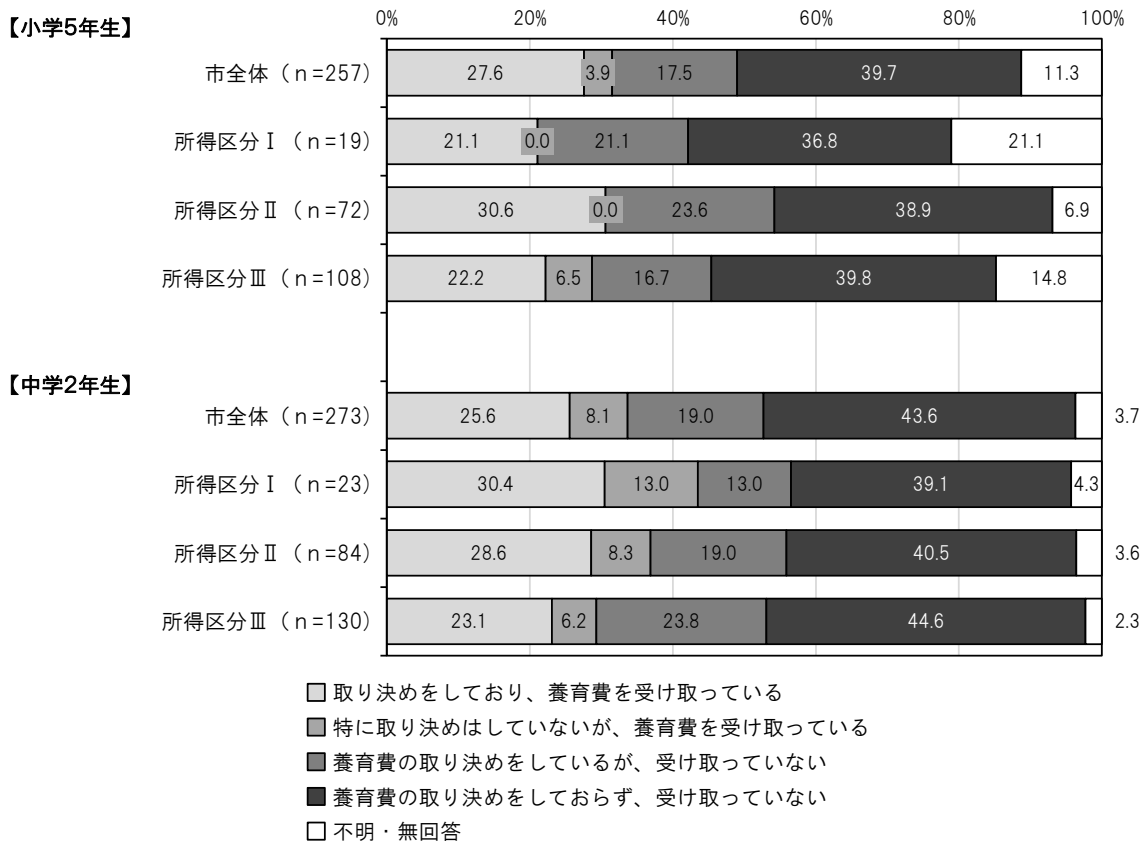




問4で「該当する（離婚）」または「該当する（未婚）」を選んだ方におうかがいします。

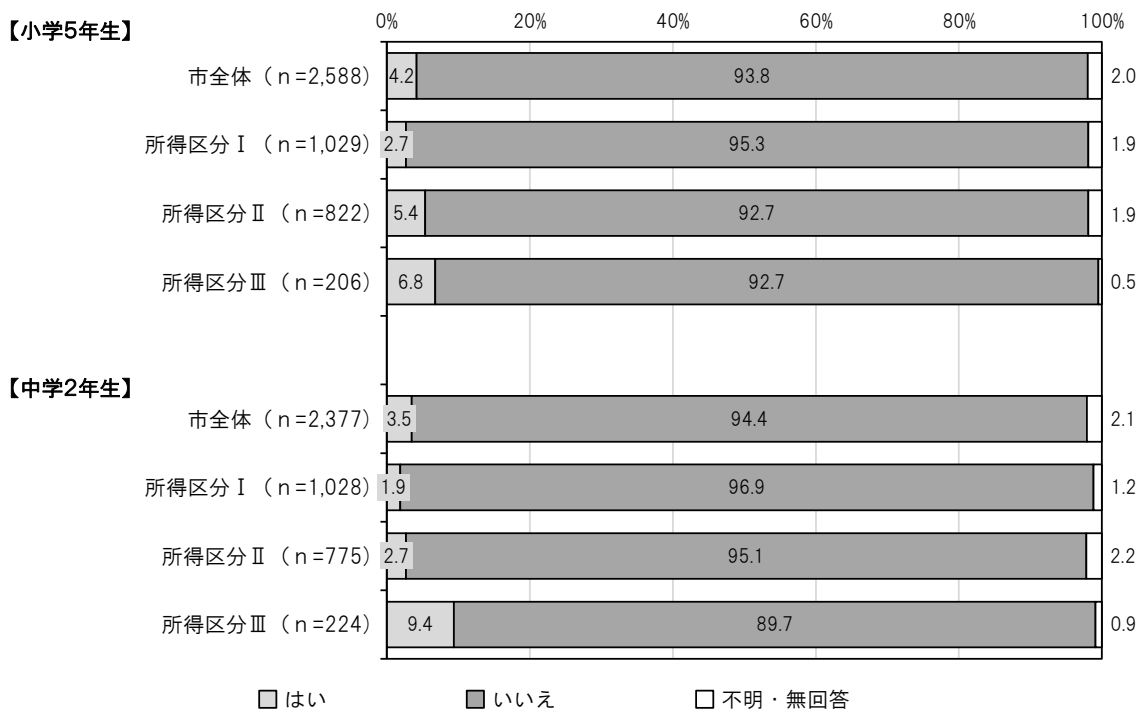
問4-1 相手方とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。（1つに○）

小・中学生保護者ともに「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が最も高く、次いで「取り決めをしており、養育費を受け取っている」となっています。中学生保護者では所得区分が低いほど養育費を受け取っている割合が低くなっています。



## 問5 ご家庭では、日本語以外の言語を使っていますか。(1つに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「はい」が高くなっています。

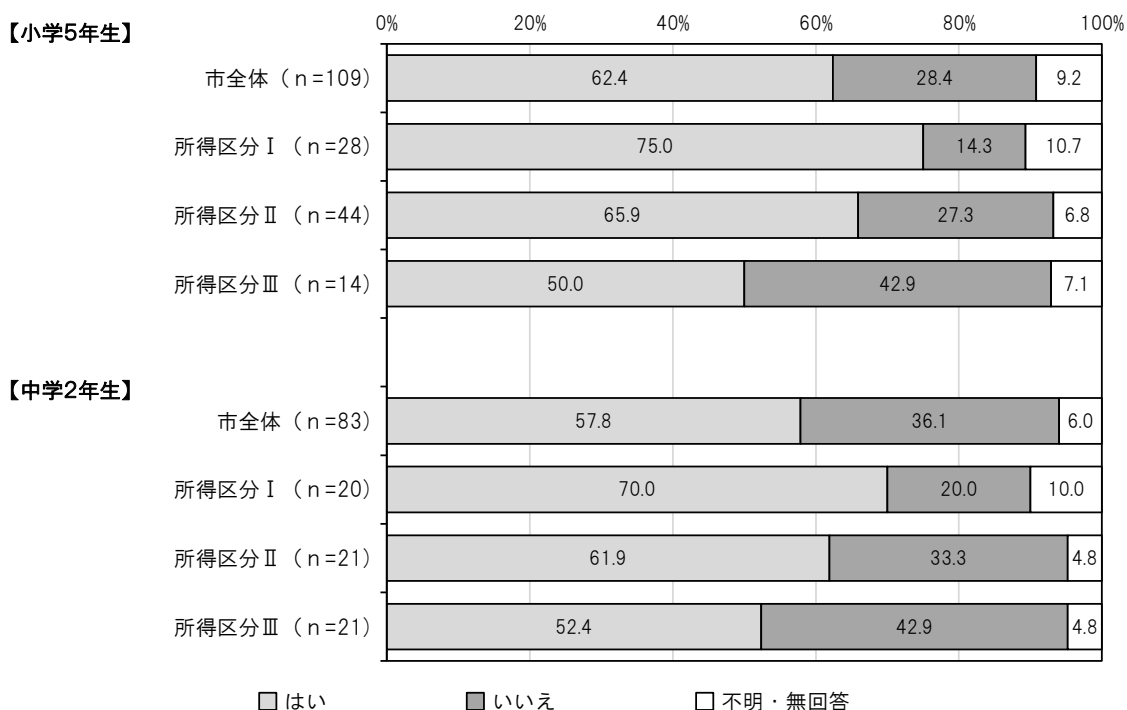


問5で「はい」を選んだ方におうかがいします。

### 問5-1 ご家庭では、日本語を使うことの方が多いですか。(1つに○)

小学生保護者では「はい」が6割台、「いいえ」が2割台となっています。

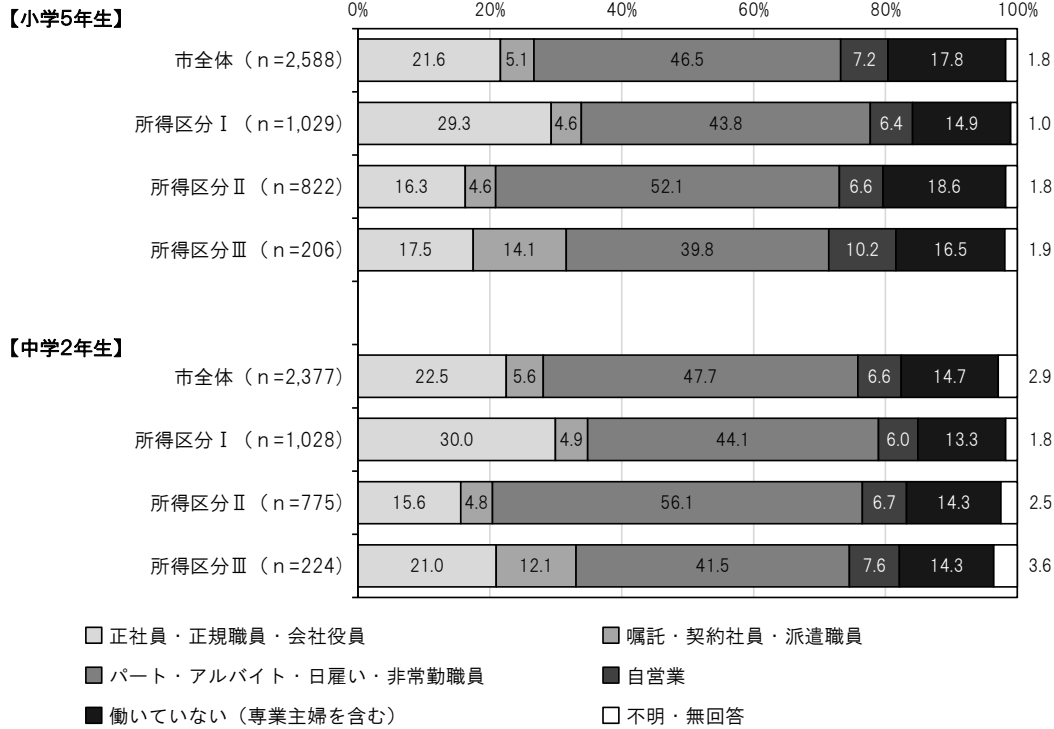
中学生保護者では「はい」が5割台、「いいえ」が3割台となっています。



問6 お子さんの保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(1つに○)

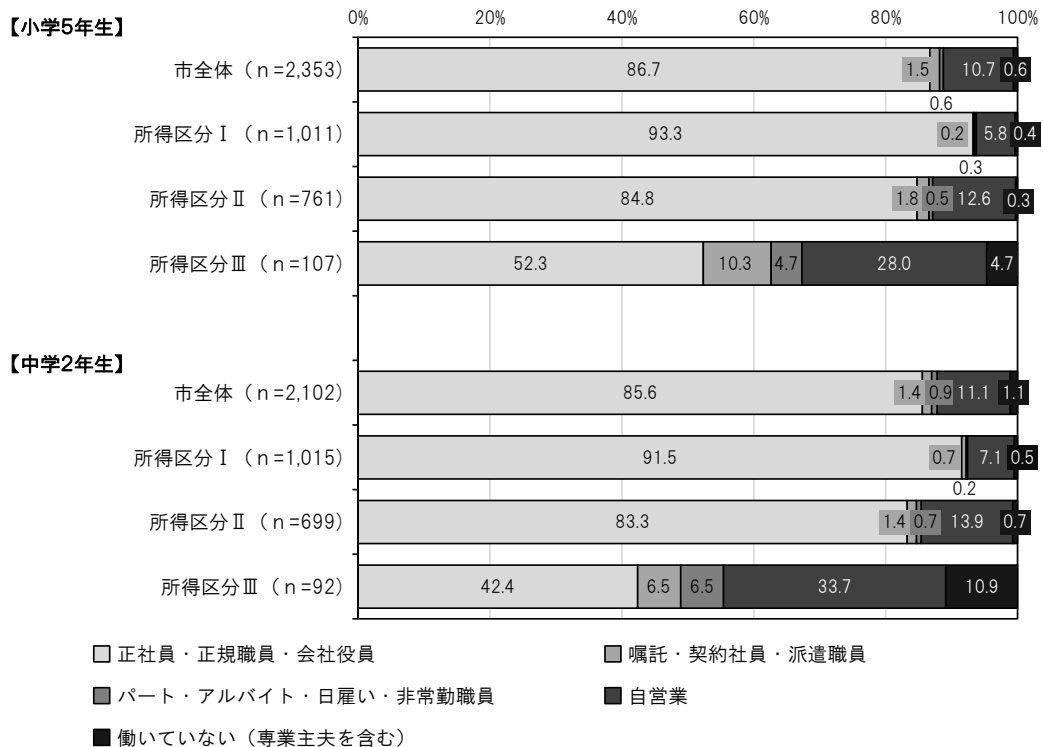
【母親】

小・中学生保護者ともに他の区分に比べて、所得区分Ⅰでは「正社員・正規職員・会社役員」、所得区分Ⅱでは「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、所得区分Ⅲでは「嘱託・契約社員・派遣職員」が高くなっています。



【父親】

小・中学生保護者ともに他の区分に比べて、所得区分Ⅲでは「正社員・正規職員・会社役員」が低くなっています。



※不明・無回答を除く

問6で「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」以外を選んだ方におうかがいします。

問6-1 残業も含めて、平日の日中以外の勤務が週に1回以上ありますか。また、土日・祝日の勤務が月に1回以上ありますか。（すべてに○）

【母親】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「平日の日中以外の勤務はない」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。

		早朝（5～8時）	18～20時の勤務	夜勤（20～22時）	深夜勤務（22～5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない	不明・無回答
小学5年生	市全体（n=2,081）	7.0	16.1	5.4	4.4	36.4	24.7	49.4	4.5
	所得区分Ⅰ（n=866）	7.6	18.0	4.7	3.9	35.3	21.8	51.5	3.2
	所得区分Ⅱ（n=654）	6.6	13.1	5.0	4.6	37.5	26.3	49.1	4.0
	所得区分Ⅲ（n=168）	8.3	20.8	11.3	4.8	43.5	31.0	39.3	7.1
中学2年生	市全体（n=1,958）	7.6	18.8	7.7	6.0	40.3	28.2	43.7	4.1
	所得区分Ⅰ（n=873）	6.9	22.2	8.2	6.2	38.1	24.3	47.3	2.5
	所得区分Ⅱ（n=645）	7.6	13.8	6.2	5.0	39.7	30.7	44.8	4.5
	所得区分Ⅲ（n=184）	9.2	23.9	10.3	7.1	51.1	39.1	33.7	4.9

【父親】

小・中学生保護者ともに他の区分に比べて、所得区分Ⅰでは「土曜出勤」が低くなっています。

		早朝（5～8時）	18～20時の勤務	夜勤（20～22時）	深夜勤務（22～5時）	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない	不明・無回答
小学5年生	市全体（n=2,339）	25.8	48.3	29.7	20.0	57.8	42.6	15.8	6.2
	所得区分Ⅰ（n=1,007）	26.1	54.0	31.6	19.3	53.9	40.9	17.6	4.4
	所得区分Ⅱ（n=759）	26.5	45.3	28.9	21.2	64.7	46.5	13.6	4.5
	所得区分Ⅲ（n=102）	23.5	39.2	25.5	22.5	61.8	46.1	10.8	11.8
中学2年生	市全体（n=2,079）	22.9	45.9	28.1	18.8	57.3	43.5	18.0	5.5
	所得区分Ⅰ（n=1,010）	21.7	50.4	30.0	18.2	53.9	41.4	20.7	3.8
	所得区分Ⅱ（n=694）	23.9	43.2	26.1	21.0	64.6	48.8	14.8	5.0
	所得区分Ⅲ（n=82）	29.3	40.2	24.4	17.1	68.3	45.1	12.2	3.7

問6で「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」を選んだ方におうかがいします。

問6-2 働いていない主な理由を教えてください。（1つに○）

【母親】

小・中学生保護者ともに「子育てを優先したいため」が最も高く、所得区分が高くなるほどその割合は高くなっています。

		現在求職中または希望する仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由	不明・無回答
小学5年生	市全体（n=461）	16.3	59.7	2.8	7.6	0.2	10.4	3.0
	所得区分Ⅰ（n=153）	19.0	69.3	1.3	3.3	0.0	5.9	1.3
	所得区分Ⅱ（n=153）	14.4	57.5	3.9	10.5	0.0	9.8	3.9
	所得区分Ⅲ（n=34）	17.6	44.1	5.9	8.8	0.0	17.6	5.9
中学2年生	市全体（n=349）	19.8	47.9	3.2	9.7	1.7	14.0	3.7
	所得区分Ⅰ（n=137）	19.0	53.3	4.4	3.6	1.5	16.1	2.2
	所得区分Ⅱ（n=111）	26.1	44.1	3.6	9.0	0.0	13.5	3.6
	所得区分Ⅲ（n=32）	25.0	34.4	0.0	25.0	3.1	9.4	3.1

【父親】 ※母数が少ないため、参考値となります。

		現在求職中または希望する仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由	不明・無回答
小学5年生	市全体（n=14）	14.3	14.3	7.1	42.9	0.0	14.3	7.1
	所得区分Ⅰ（n=4）	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	所得区分Ⅱ（n=2）	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅲ（n=5）	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0
中学2年生	市全体（n=23）	17.4	0.0	0.0	56.5	4.3	13.0	8.7
	所得区分Ⅰ（n=5）	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0
	所得区分Ⅱ（n=5）	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	所得区分Ⅲ（n=10）	20.0	0.0	0.0	60.0	10.0	10.0	0.0

問7 新型コロナウイルス感染症の拡大により、以下のようなことを経験しましたか。

(すべてに○)

【母親】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「収入の減少」「希望しない労働時間の減少」が高くなっています。

		収入の減少	失業	希望しない転職	希望しない勤務時間帯の変化	希望しない雇用形態の変化	希望しない労働時間の減少	勤務先の増加(ダブルワークなど)	上記のようなことは経験していない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,588)	19.6	1.7	0.8	3.5	0.6	6.7	1.6	62.2	12.8
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	13.3	0.7	0.8	4.1	0.6	5.8	1.2	71.7	9.5
	所得区分Ⅱ (n=822)	22.3	1.8	0.4	3.2	0.4	6.7	1.5	58.2	14.5
	所得区分Ⅲ (n=206)	39.3	5.3	2.4	4.9	1.5	12.6	4.9	41.7	11.7
中学2年生	市全体 (n=2,377)	19.0	2.0	1.3	3.2	0.5	6.9	2.2	61.9	13.1
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	12.6	1.0	0.9	2.0	0.1	4.6	1.7	71.2	9.9
	所得区分Ⅱ (n=775)	20.0	1.5	0.8	3.6	0.1	7.6	2.8	59.4	13.8
	所得区分Ⅲ (n=224)	42.0	7.1	5.4	7.6	3.1	12.9	4.5	42.0	10.3

【父親】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「収入の減少」「希望しない労働時間の減少」が高くなっています。

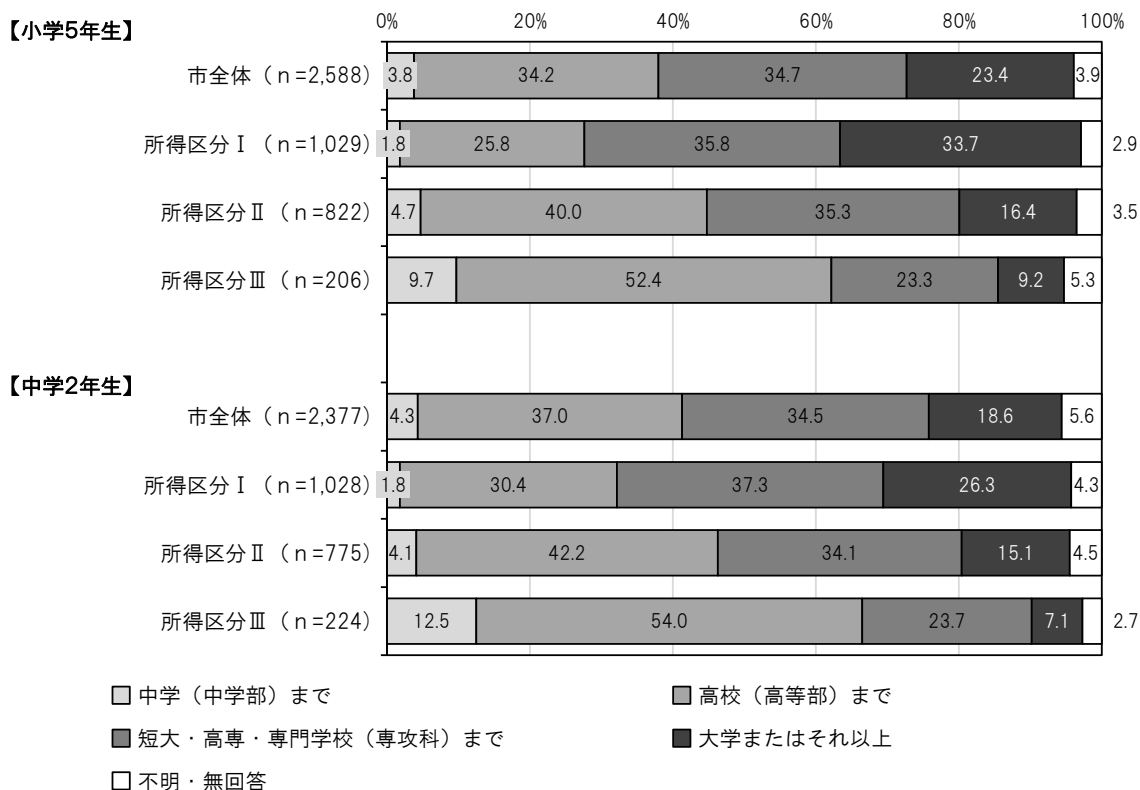
		収入の減少	失業	希望しない転職	希望しない勤務時間帯の変化	希望しない雇用形態の変化	希望しない労働時間の減少	勤務先の増加(ダブルワークなど)	上記のようなことは経験していない
小学5年生	市全体 (n=2,159)	24.0	0.5	0.8	3.0	0.4	6.3	0.9	71.9
	所得区分Ⅰ (n=947)	16.2	0.0	0.5	2.3	0.2	3.9	0.6	80.4
	所得区分Ⅱ (n=701)	31.5	0.6	0.6	3.3	0.3	8.8	1.0	63.8
	所得区分Ⅲ (n=97)	49.5	3.1	4.1	9.3	1.0	17.5	5.2	39.2
中学2年生	市全体 (n=1,944)	25.6	0.6	0.3	2.7	0.4	5.9	0.7	71.1
	所得区分Ⅰ (n=952)	17.5	0.1	0.0	1.9	0.2	3.4	0.5	79.4
	所得区分Ⅱ (n=650)	31.4	0.5	0.5	3.8	0.8	8.3	0.8	64.9
	所得区分Ⅲ (n=84)	56.0	6.0	2.4	2.4	0.0	9.5	3.6	39.3

※不明・無回答を除く

## 問8 最後に通った学校をお答えください。(1つに○)

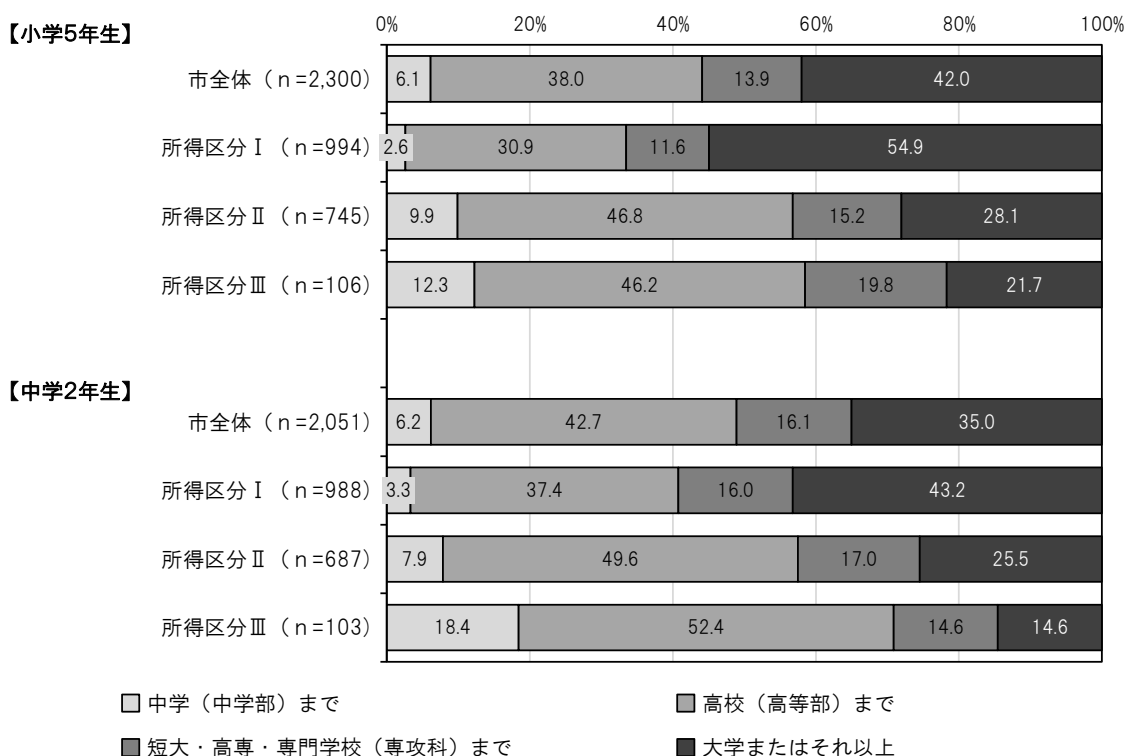
### 【母親】

小・中学生保護者ともに所得区分が高いほど「大学またはそれ以上」が高くなっており、特に所得区分Ⅰで高くなっています。



### 【父親】

小・中学生保護者ともに所得区分が高いほど「大学またはそれ以上」が高くなっており、特に所得区分Ⅰで高くなっています。

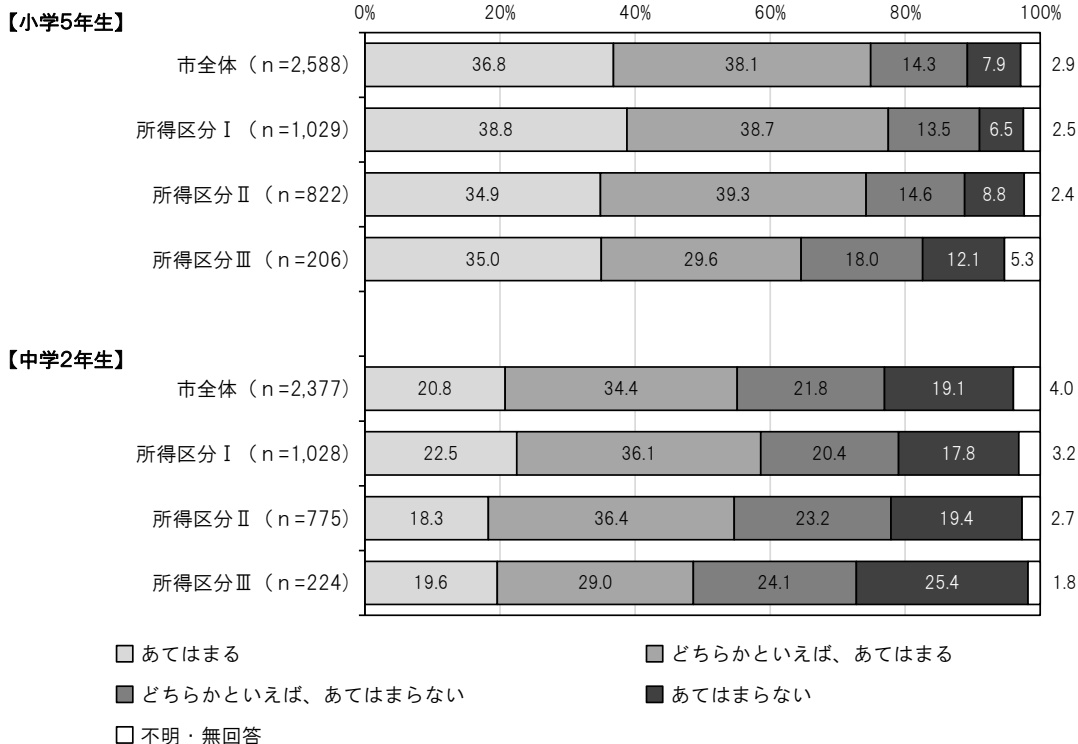


※不明・無回答を除く

### 問9 お子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(1つに○)

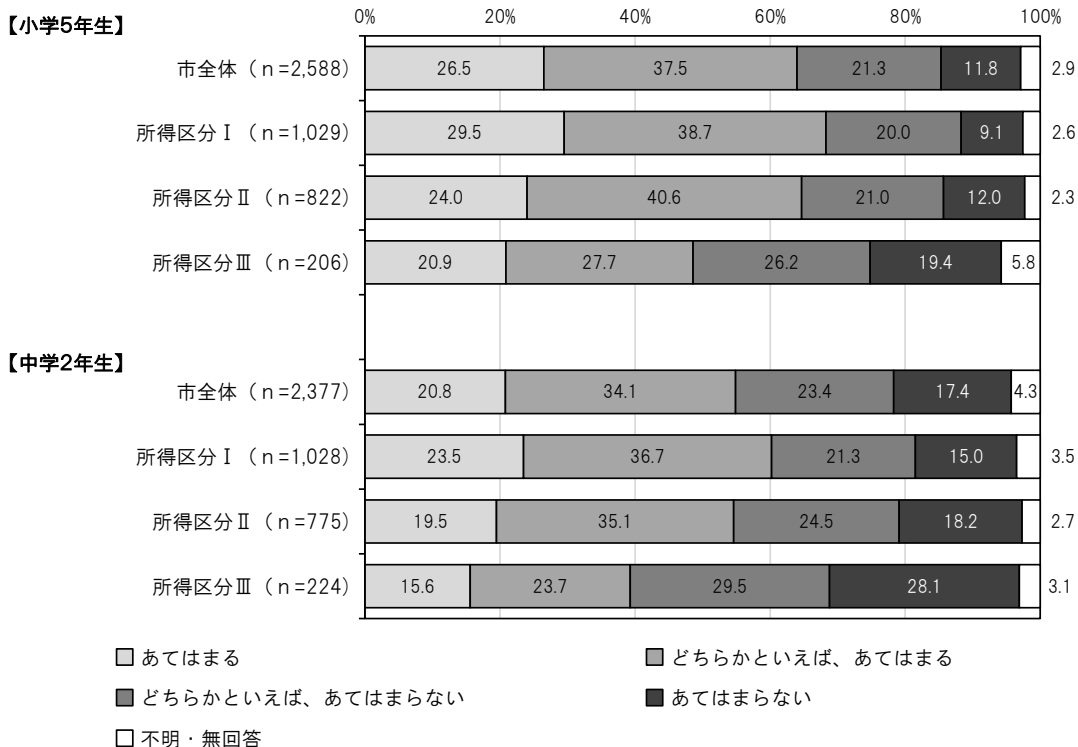
【テレビ・ゲーム・インターネットなどの視聴時間等のルールを決めている】

小・中学生保護者ともに「あてはまる」に大きな差はみられません。所得区分が低いほど「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計が高くなっています。



【お子さんに本や新聞を読むように勧めている】

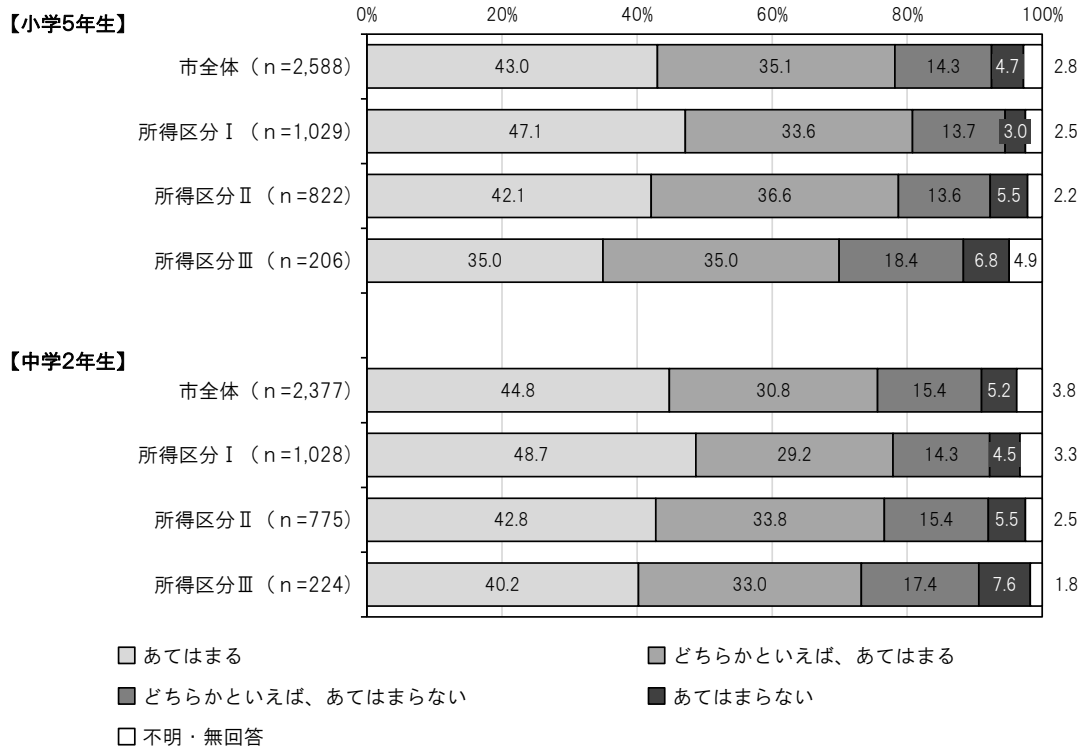
小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計が高くなっており、特に所得区分IIIで高くなっています。





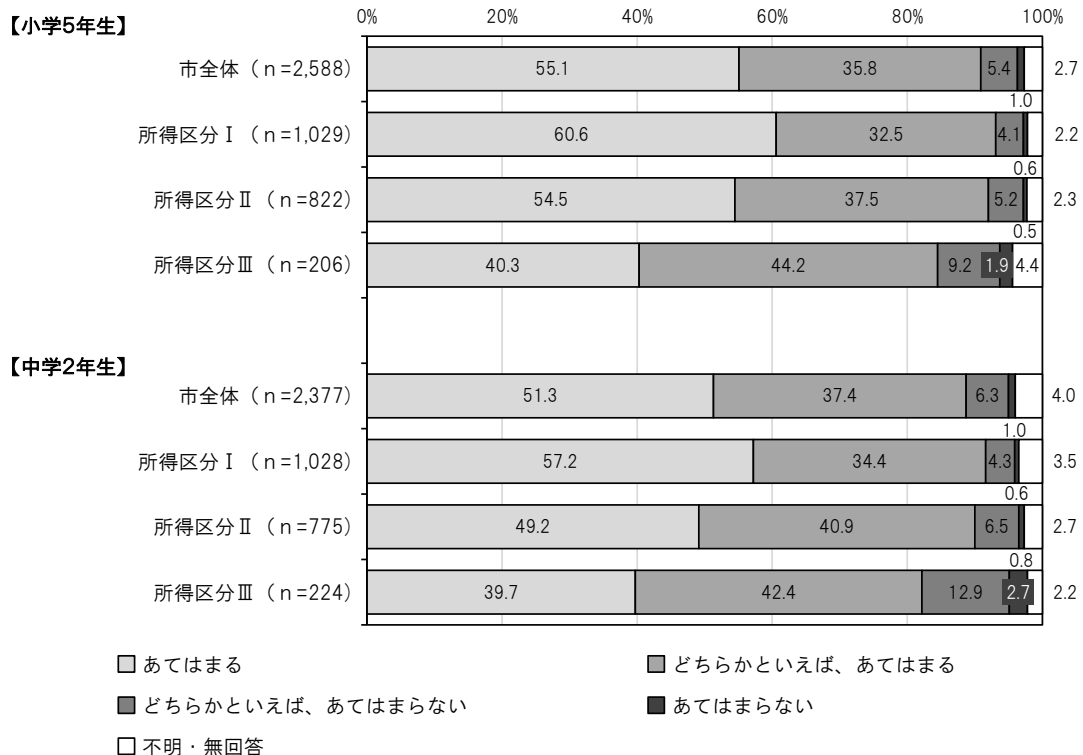
【お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計が高くなっています。



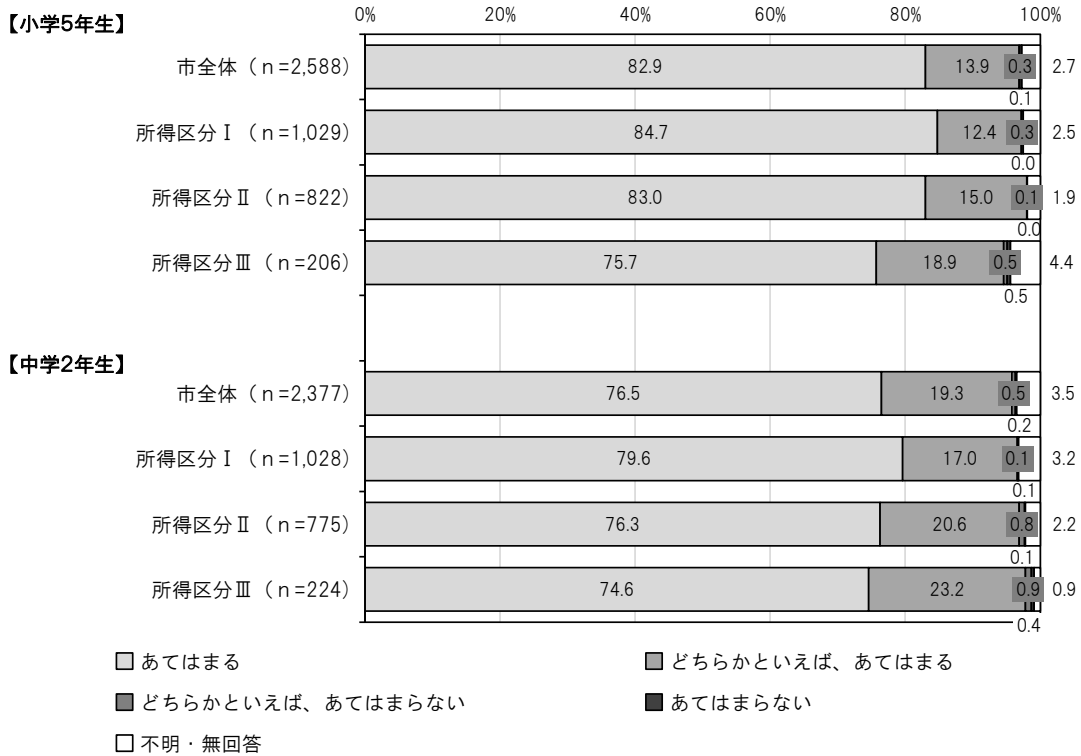
【お子さんと、学校や勉強のことについて話をしている】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計が高くなっています。



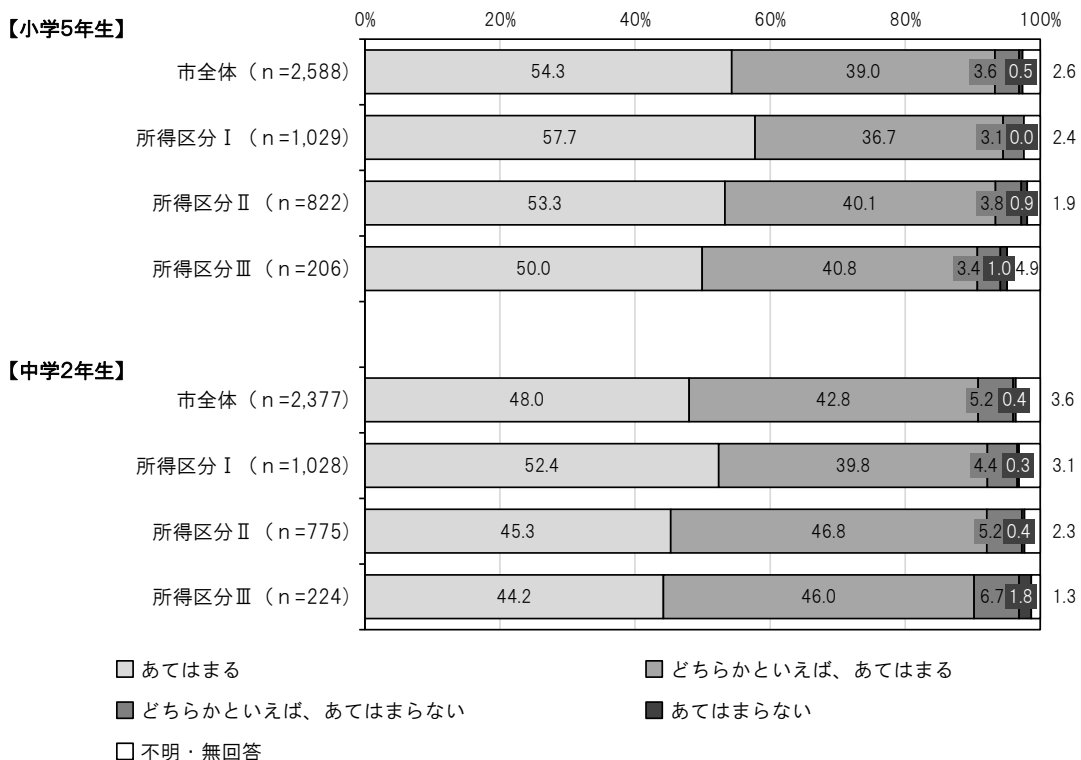
【お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている】

小・中学生保護者ともにそれぞれの区分において「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が9割台となっています。



【お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている】

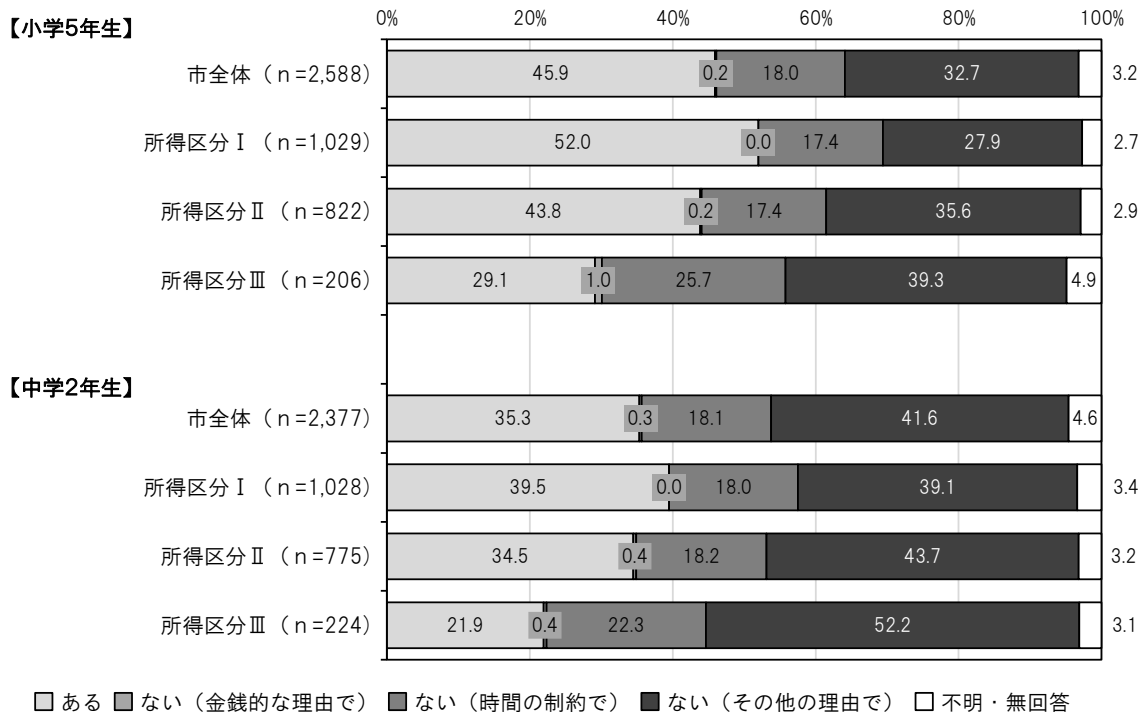
小・中学生保護者ともにそれぞれの区分において「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の合計が9割台となっています。



問 10 次のようなことをお子さんと一緒にしたり、参加したりすることがありますか。(1つに○)

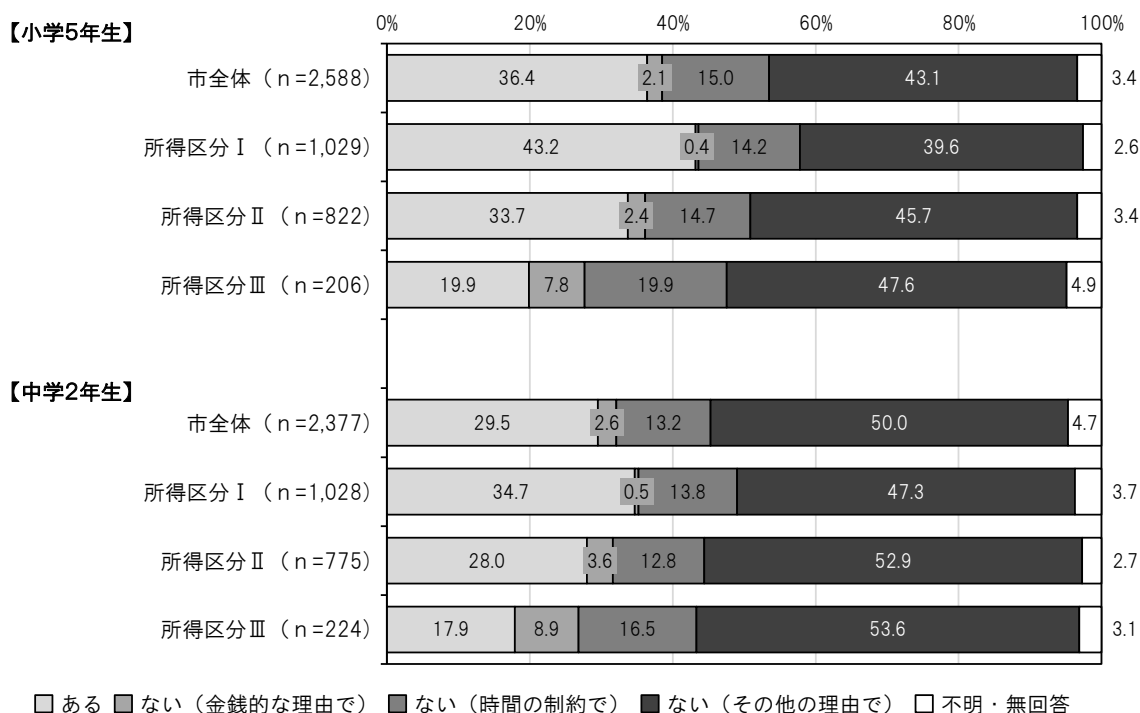
【図書館に行く】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで2割台と低くなっています。



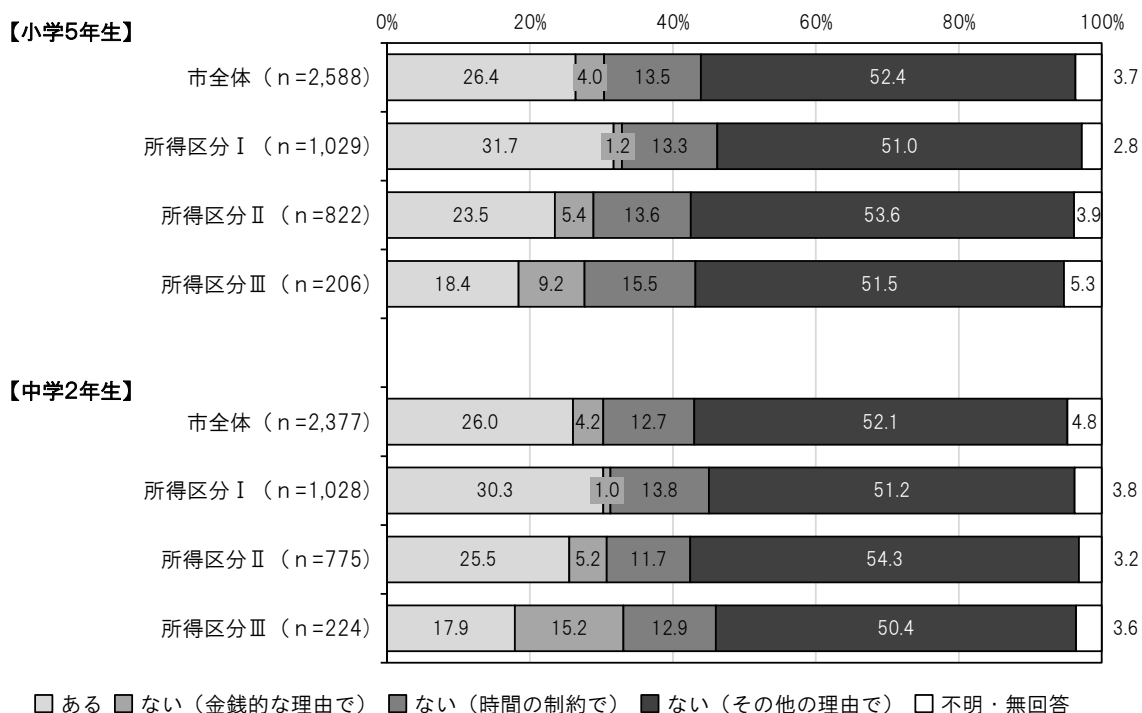
【博物館・美術館に行く】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで1割台と低くなっています。



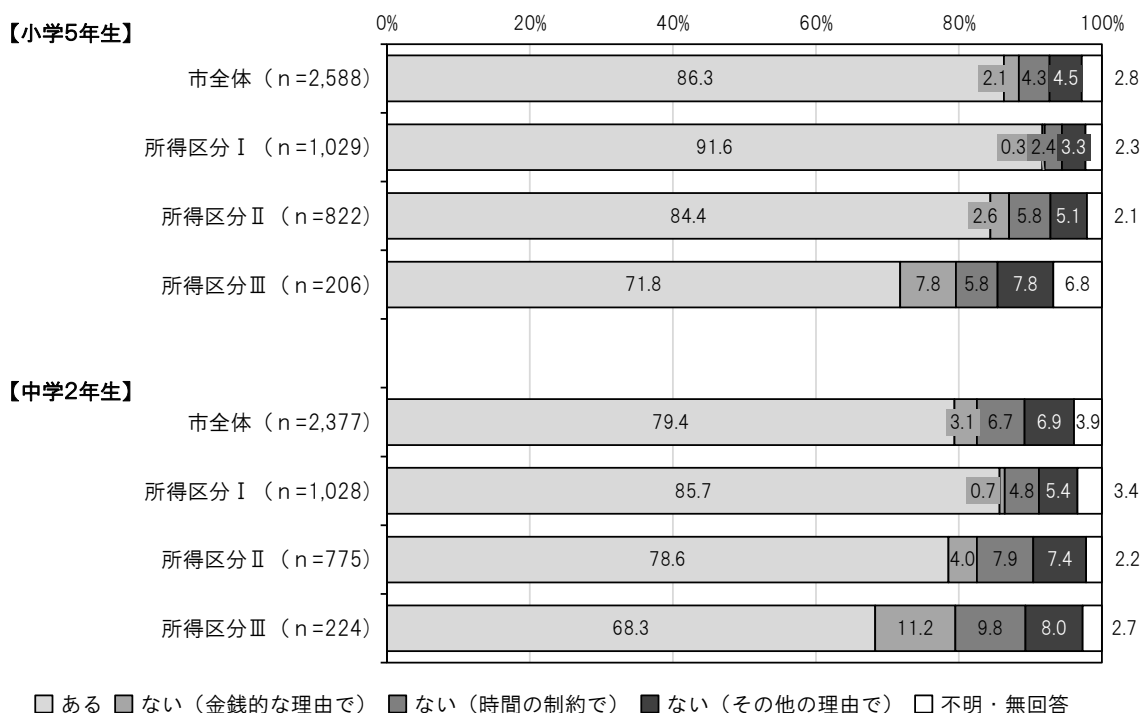
【コンサート・音楽会に行く】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで1割台と低くなっています。



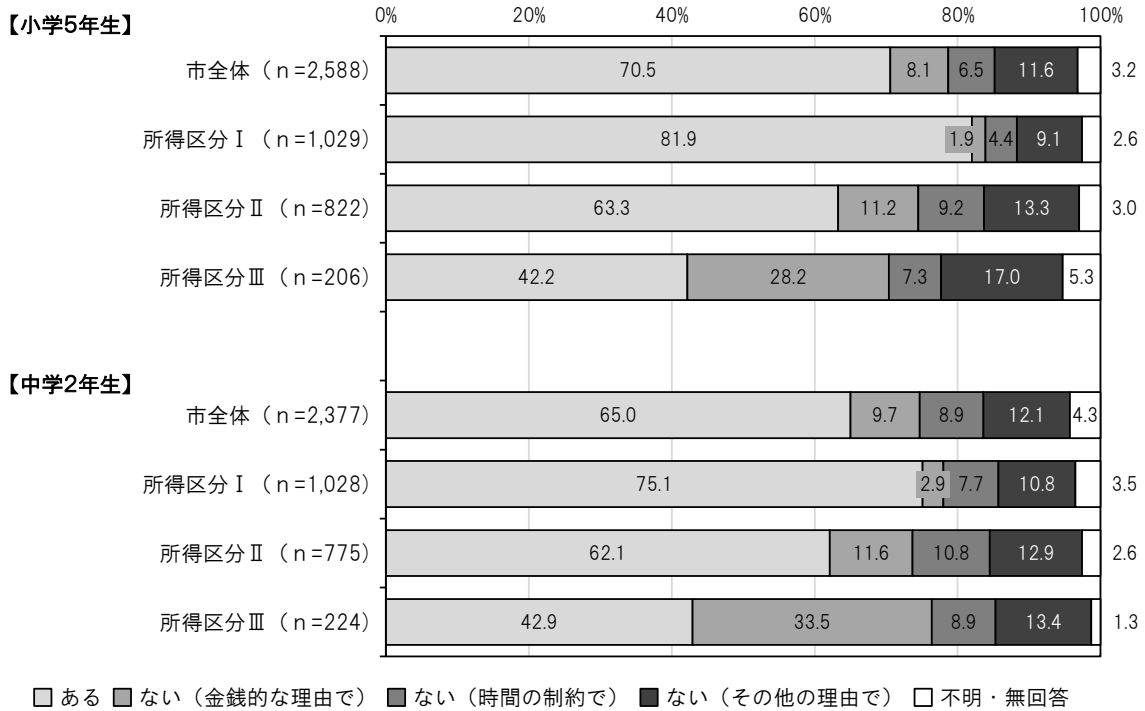
【日帰りで遊びに行く】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



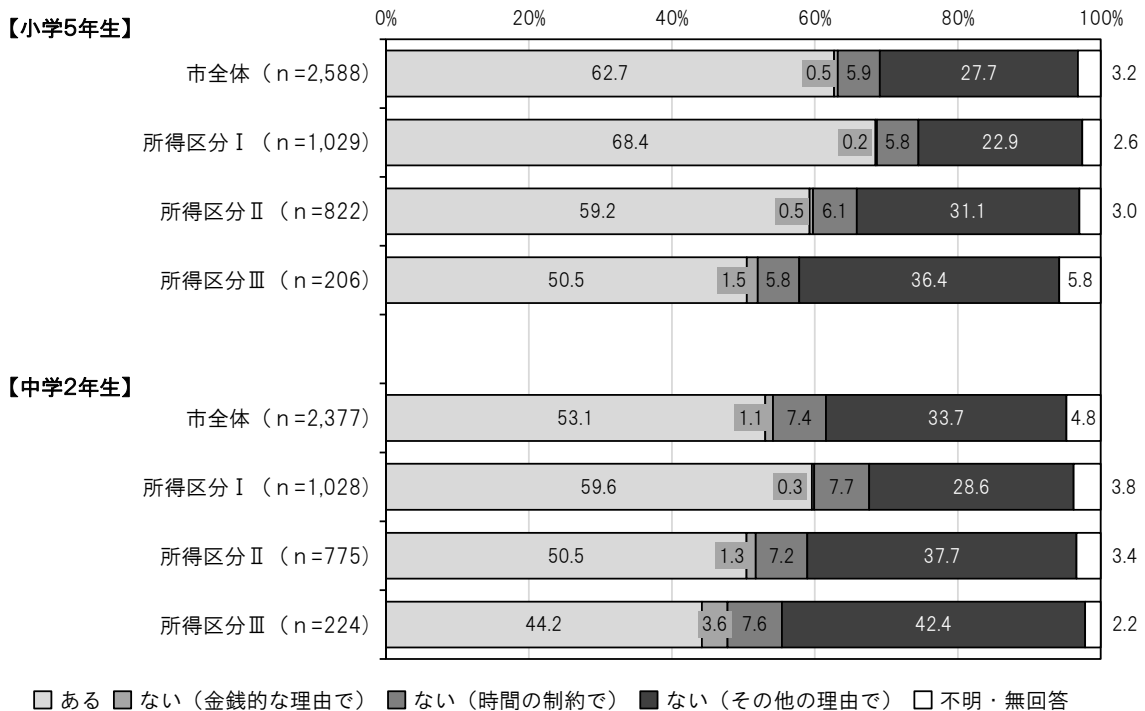
【宿泊を伴う旅行に行く（帰省以外）】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。また、所得区分Ⅲでは「ない（金銭的な理由で）」が高くなっています。



【祖父母や親せきの家に泊まりに行く】

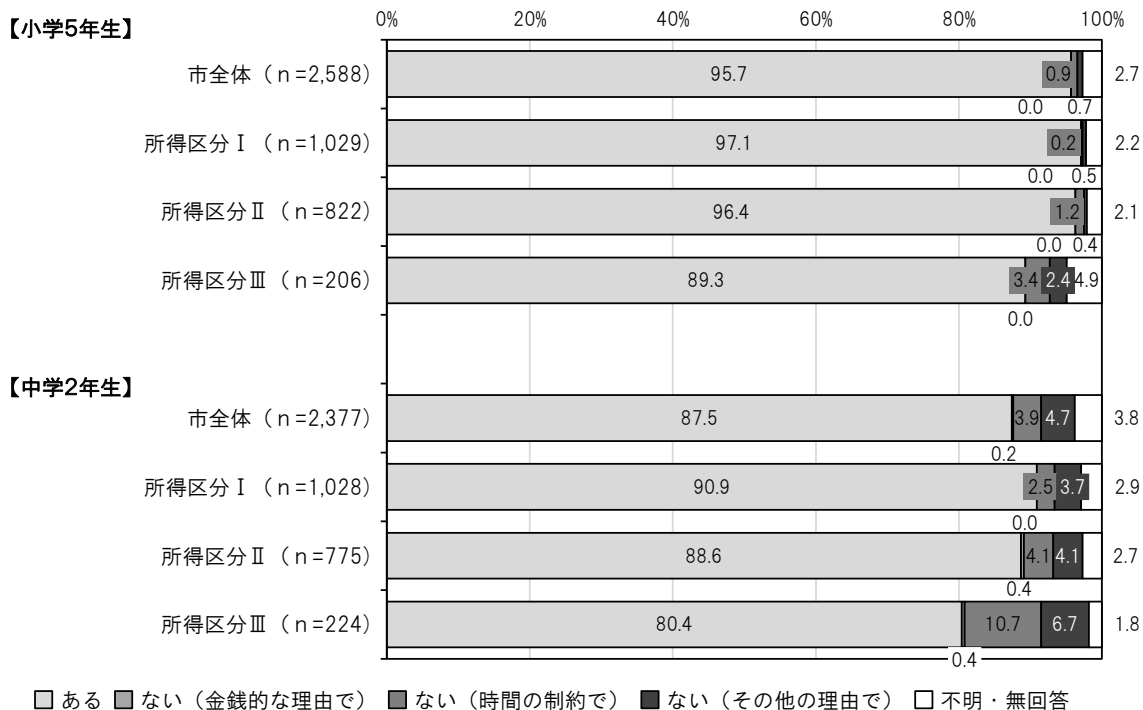
小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



【授業参観や運動会などの学校行事への参加】

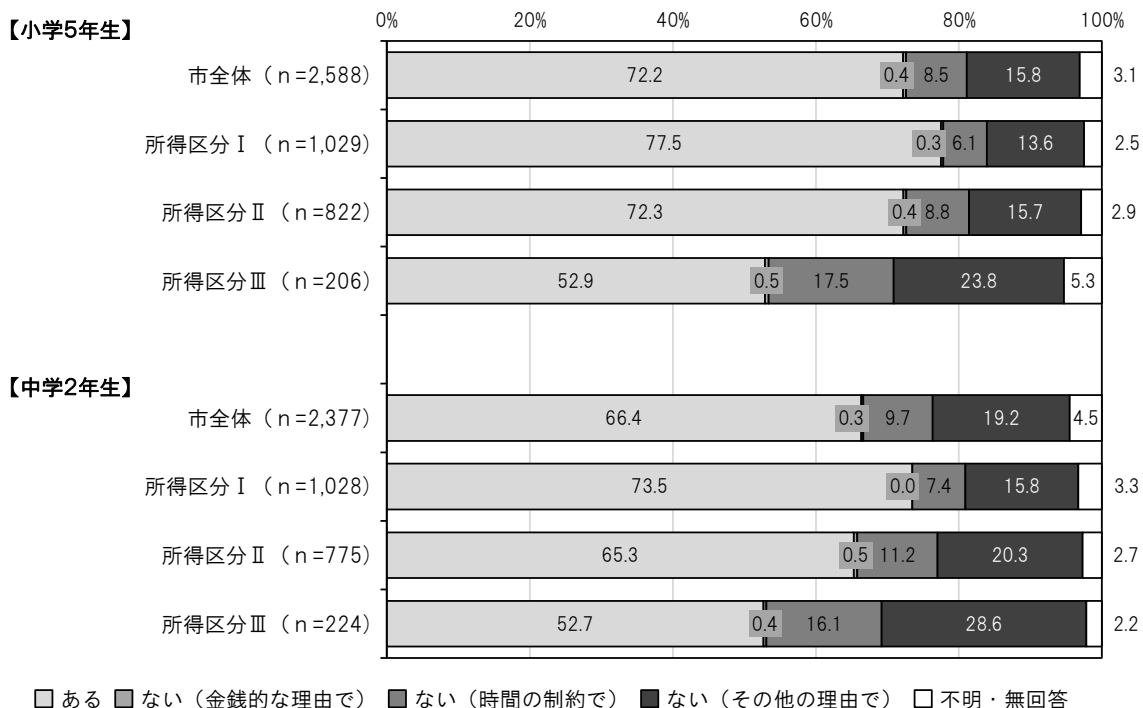
小学生保護者ではそれぞれの区分において大きな差はみられません。

中学生保護者では所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



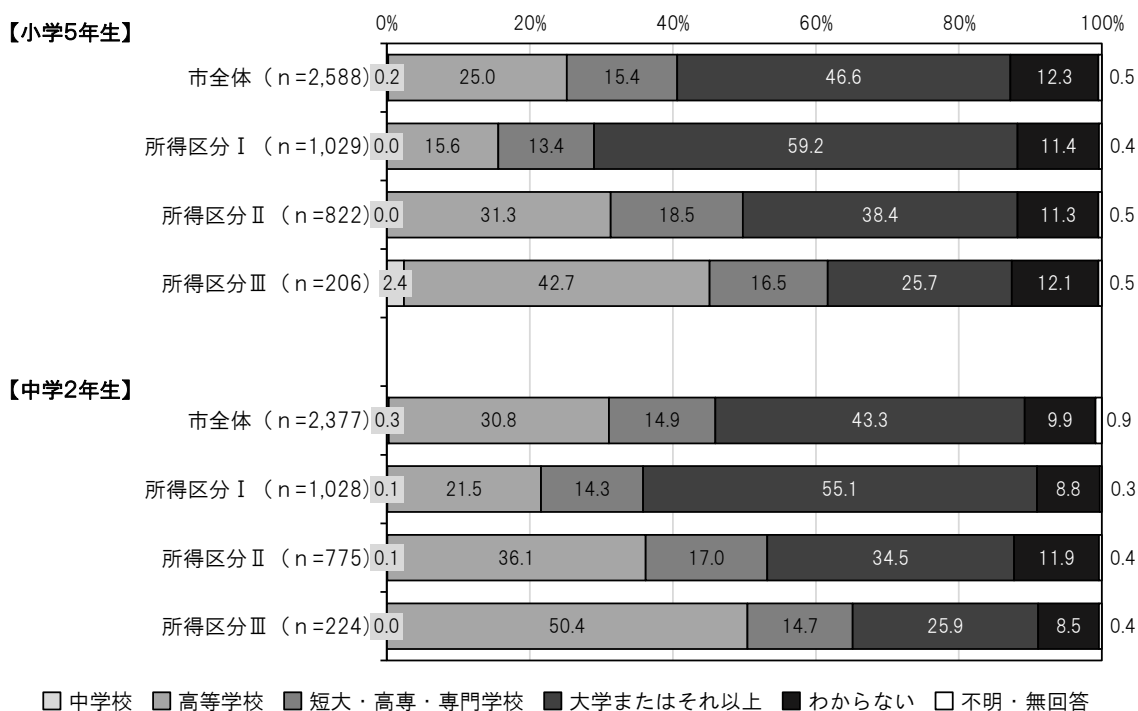
【PTA活動や保護者会、学童保育所等のボランティアなどへの参加】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで低くなっています。



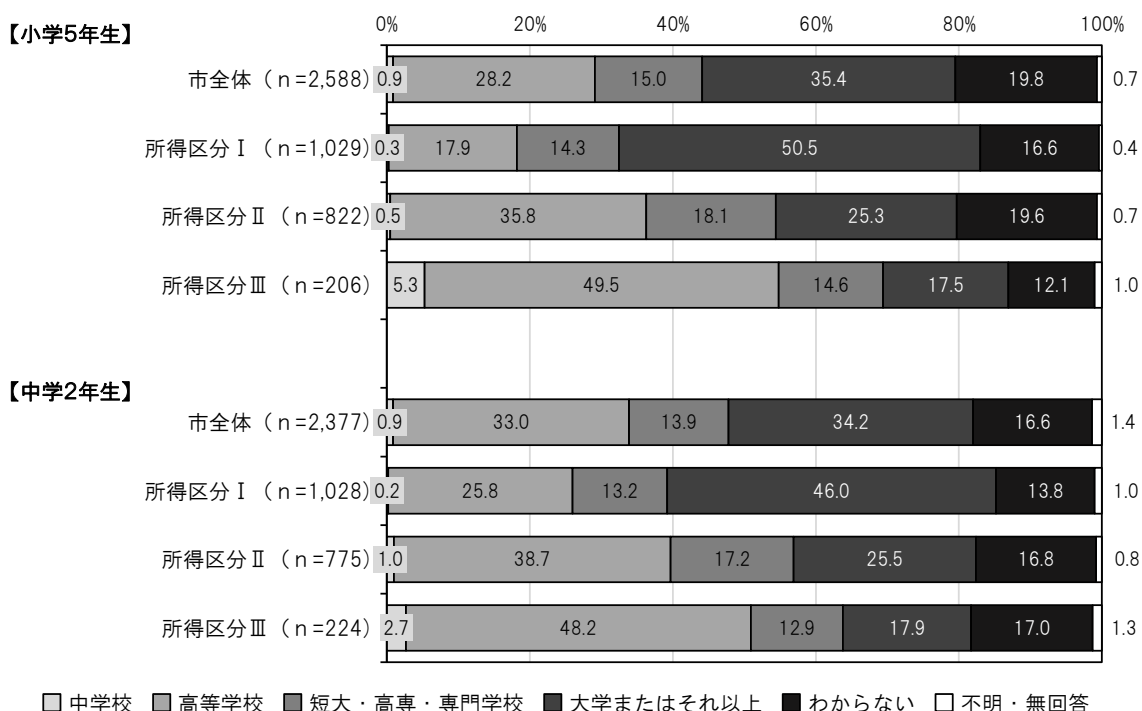
### 問 11 希望として、お子さんには将来どの段階まで進学してほしいと思いますか。(1つに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「大学またはそれ以上」が低くなっており、「高等学校」が高くなっています。



### 問 12 現実的に見て、お子さんは将来どの段階まで進学すると思いますか。(1つに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「大学またはそれ以上」が低くなっており、「高等学校」が高くなっています。所得区分 I と III を比較すると「大学またはそれ以上」が所得区分 III は所得区分 I の半分以下となっています。



問 12 で「わからない」以外を選んだ方におうかがいします。

問 12-1 それを選んだ理由は何ですか。(1つに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「本人がそう希望しているから」が低くなっており、「家庭の経済的な状況から考えて」が高くなっています。

		本人がそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	本人の学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,057)	26.7	29.0	23.7	6.8	3.4	9.5	1.0
	所得区分Ⅰ (n=854)	30.8	31.0	22.7	1.8	3.7	8.8	1.2
	所得区分Ⅱ (n=655)	24.7	27.0	24.9	10.5	3.4	9.2	0.3
	所得区分Ⅲ (n=179)	21.2	29.1	21.2	15.6	4.5	7.8	0.6
中学2年生	市全体 (n=1,949)	41.3	18.0	26.3	5.8	2.6	4.7	1.3
	所得区分Ⅰ (n=876)	46.3	17.5	26.5	1.7	2.1	5.3	0.7
	所得区分Ⅱ (n=639)	36.0	19.7	27.1	8.0	3.1	3.9	2.2
	所得区分Ⅲ (n=183)	34.4	15.3	25.7	15.8	3.3	4.4	1.1

問 13 お子さんは現在、塾に通ったり習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動などは含めずにお答えください。(すべてに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が高いほど塾や習い事に通わせている割合が高くなっており、中学生保護者では所得区分Ⅰで「学習塾・進学塾」が6割台となっています。

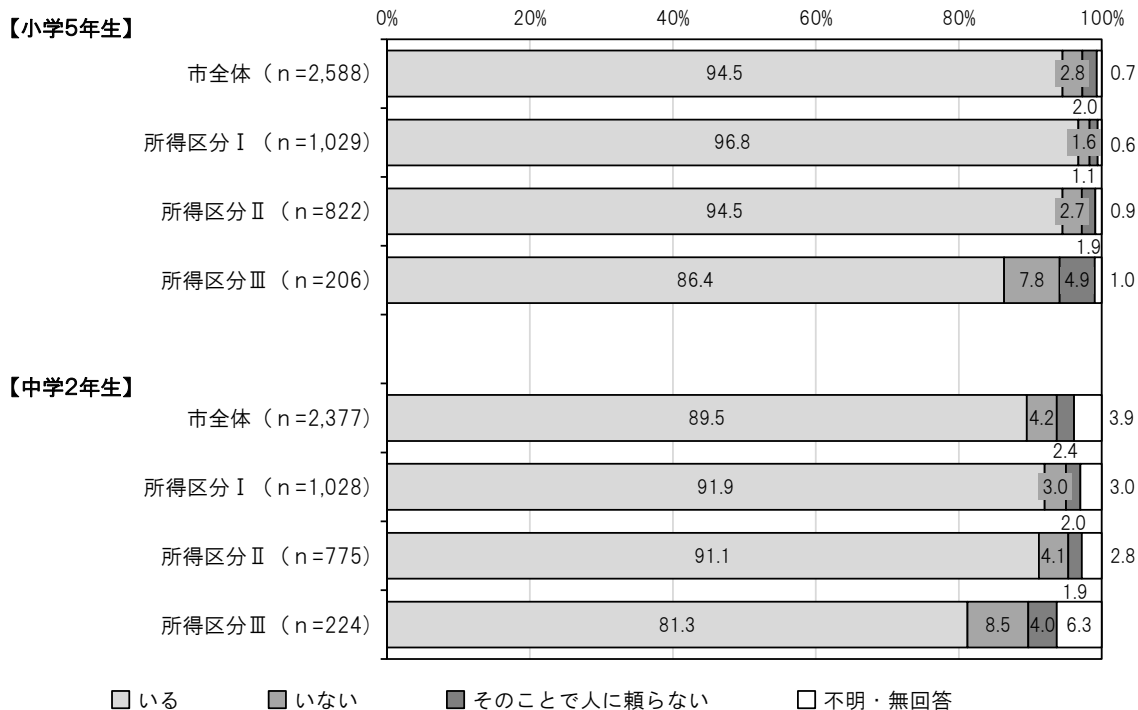
		学習塾・進学塾	家庭教師	通信教育	英会話・そろばんなどの勉強の習い事	絵画・音楽・パレエなどの芸術の習い事	水泳、野球、体操、剣道などのスポーツ	塾や習い事はしていない	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,588)	21.9	0.9	18.2	30.9	23.7	46.6	14.5	6.8	2.3
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	27.4	1.3	22.6	38.2	30.4	53.6	6.7	6.4	1.1
	所得区分Ⅱ (n=822)	15.5	0.6	16.8	29.2	20.1	45.1	17.2	6.8	3.2
	所得区分Ⅲ (n=206)	12.1	1.0	7.8	13.6	14.1	30.6	35.0	7.8	4.9
中学2年生	市全体 (n=2,377)	51.3	3.5	10.9	9.6	11.4	16.7	22.4	2.5	2.9
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	60.2	3.6	13.8	11.3	14.3	20.3	14.6	2.3	1.3
	所得区分Ⅱ (n=775)	48.8	4.0	9.2	8.8	10.2	16.6	24.6	3.0	1.5
	所得区分Ⅲ (n=224)	33.9	1.3	5.8	4.9	4.9	7.6	42.9	1.3	7.1



問 14 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、それはだれですか。

【子育てに関する相談・頼れる人の有無】（1つに○）

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「いる」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで8割台と低くなっています。



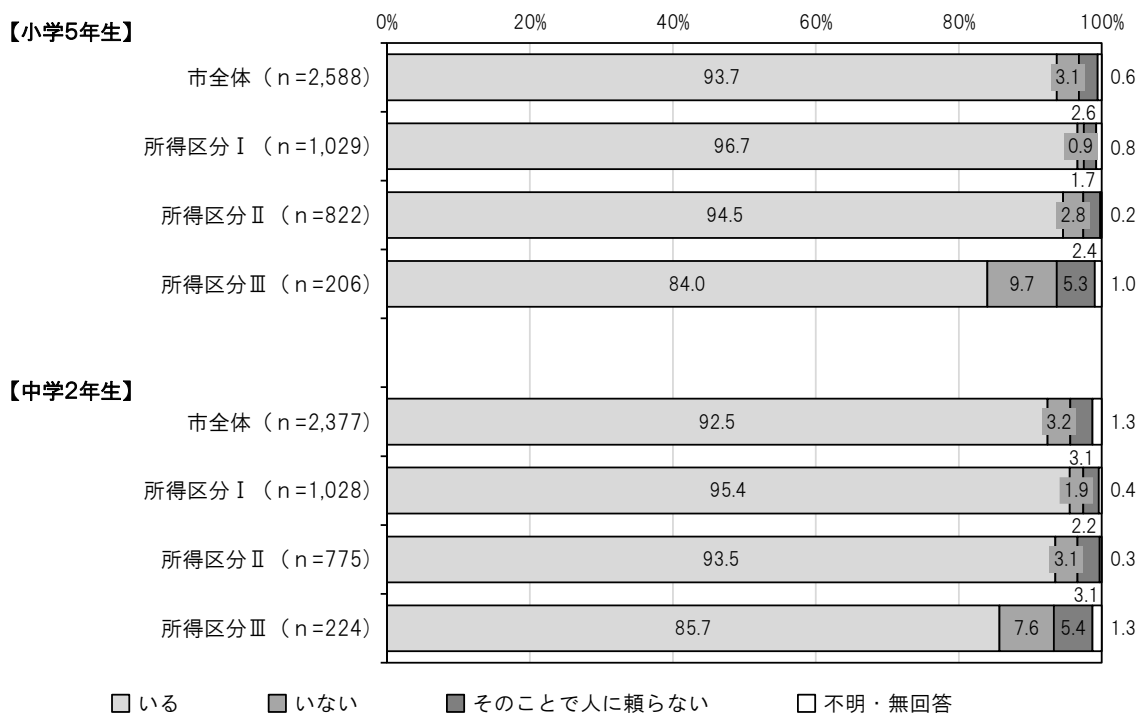
【子育てに関する相談・相談先】（すべてに○）

小・中学生保護者ともに「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。所得区分Ⅲでは他の区分に比べて、小学生保護者では「友人・知人」、中学生保護者では「家族・親族」が低くなっています。

		家族・親族	友人・知人	学校の先生	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	市役所の窓口、相談・支援機関や福祉の人	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,446)	93.4	71.9	19.8	12.0	34.1	0.9	4.7	1.4	0.3
	所得区分Ⅰ (n=996)	94.9	76.6	18.3	12.3	38.2	0.9	3.4	1.6	0.4
	所得区分Ⅱ (n=777)	93.6	70.7	21.0	12.6	34.0	0.8	4.9	1.4	0.3
	所得区分Ⅲ (n=178)	85.4	60.7	22.5	7.3	26.4	1.1	9.0	1.7	0.6
中学2年生	市全体 (n=2,127)	92.9	66.5	17.1	9.1	33.0	0.7	3.9	1.3	0.1
	所得区分Ⅰ (n=945)	94.7	67.6	17.2	8.8	34.4	0.5	3.5	1.2	0.0
	所得区分Ⅱ (n=706)	92.2	68.7	16.0	10.1	34.1	0.6	2.8	1.1	0.3
	所得区分Ⅲ (n=182)	85.2	61.5	19.2	3.8	32.4	1.1	9.3	2.7	0.5

【重要な事柄の相談・頼れる人の有無】（1つに○）

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「いる」が低くなっており、特に所得区分Ⅲで8割台と低くなっています。



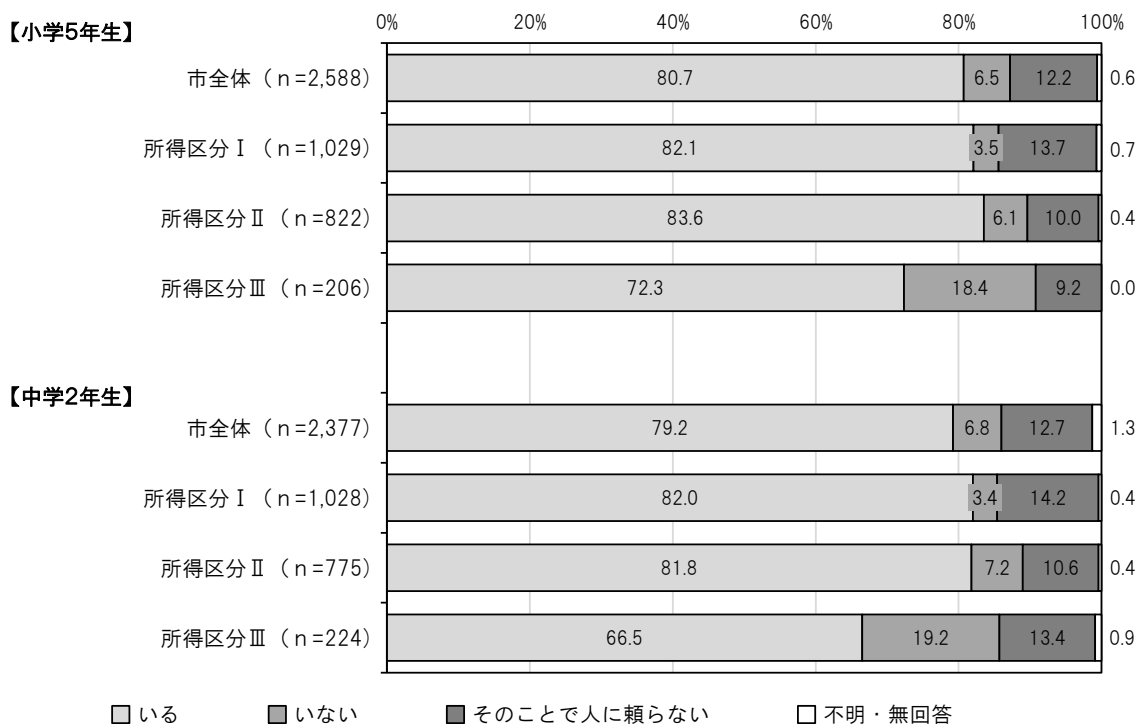
【重要な事柄の相談・相談先】（すべてに○）

小・中学生保護者ともに「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。所得区分Ⅲでは他の区分に比べて「家族・親族」が低くなっています。

		家族・親族	友人・知人	学校の先生	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	市役所の窓口、相談・支援機関や福祉の人	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,426)	95.9	41.7	5.1	2.3	10.1	0.2	2.4	0.7	0.2
	所得区分Ⅰ (n=995)	97.4	45.4	4.1	2.3	11.9	0.1	1.8	1.0	0.1
	所得区分Ⅱ (n=777)	96.4	40.2	5.9	2.2	8.8	0.1	2.3	0.3	0.3
	所得区分Ⅲ (n=173)	88.4	43.4	5.8	1.2	10.4	0.6	4.0	0.6	0.6
中学2年生	市全体 (n=2,198)	96.2	38.2	4.9	1.4	9.4	0.3	2.1	0.4	0.3
	所得区分Ⅰ (n=981)	97.0	38.2	4.2	1.4	10.3	0.1	2.1	0.5	0.1
	所得区分Ⅱ (n=725)	96.7	38.9	5.9	1.2	9.2	0.3	1.8	0.1	0.3
	所得区分Ⅲ (n=192)	89.6	41.7	5.7	0.5	10.4	0.5	5.2	0.5	0.5

【いざという時のお金の相談・頼れる人の有無】（1つに○）

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「いる」が低くなっており、特に中学生保護者の所得区分Ⅲで6割台と低くなっています。



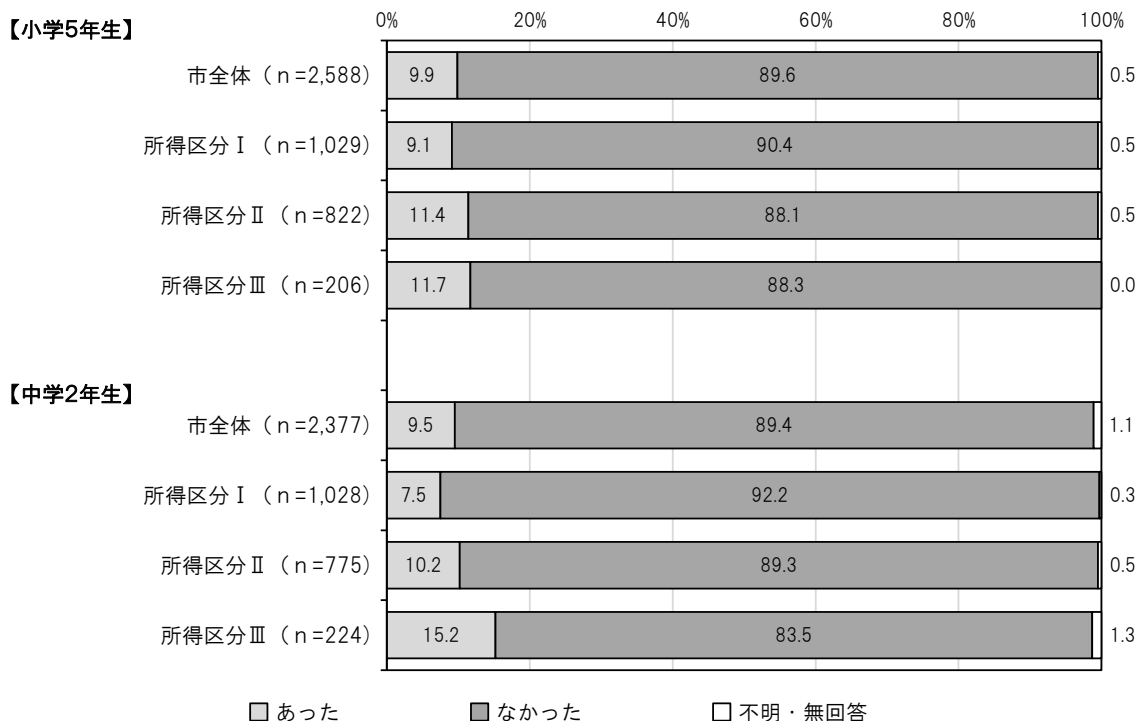
【いざという時のお金の相談・相談先】（すべてに○）

小・中学生保護者ともに「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。所得区分Ⅲでは他の区分に比べて「家族・親族」が低くなっています。

		家族・親族	友人・知人	学校の先生	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	市役所の窓口、相談・支援機関や福祉の人	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,088)	98.3	4.8	0.1	0.1	1.6	0.0	1.9	0.2	0.2
	所得区分Ⅰ (n=845)	99.1	3.9	0.0	0.0	0.9	0.0	2.1	0.4	0.1
	所得区分Ⅱ (n=687)	98.4	5.2	0.3	0.3	1.3	0.0	1.7	0.3	0.3
	所得区分Ⅲ (n=149)	94.6	9.4	0.0	0.0	3.4	0.0	2.0	0.0	0.7
中学2年生	市全体 (n=1,882)	97.4	5.3	0.3	0.1	1.9	0.2	2.4	0.4	0.5
	所得区分Ⅰ (n=843)	98.9	4.6	0.2	0.0	1.9	0.1	1.3	0.5	0.2
	所得区分Ⅱ (n=634)	97.6	5.2	0.5	0.2	2.4	0.0	2.2	0.0	0.6
	所得区分Ⅲ (n=149)	89.9	12.1	0.0	0.0	0.7	0.7	9.4	0.7	1.3

**問 15 過去1年の間に、子どもの病気や怪我の治療のために病院や診療所などの医療機関を受診した方がよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(1つに○)**

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「あった」が高くなっており、特に中学生保護者の所得区分Ⅲで高くなっています。



**問 15 で「あった」を選んだ方におうかがいします。**

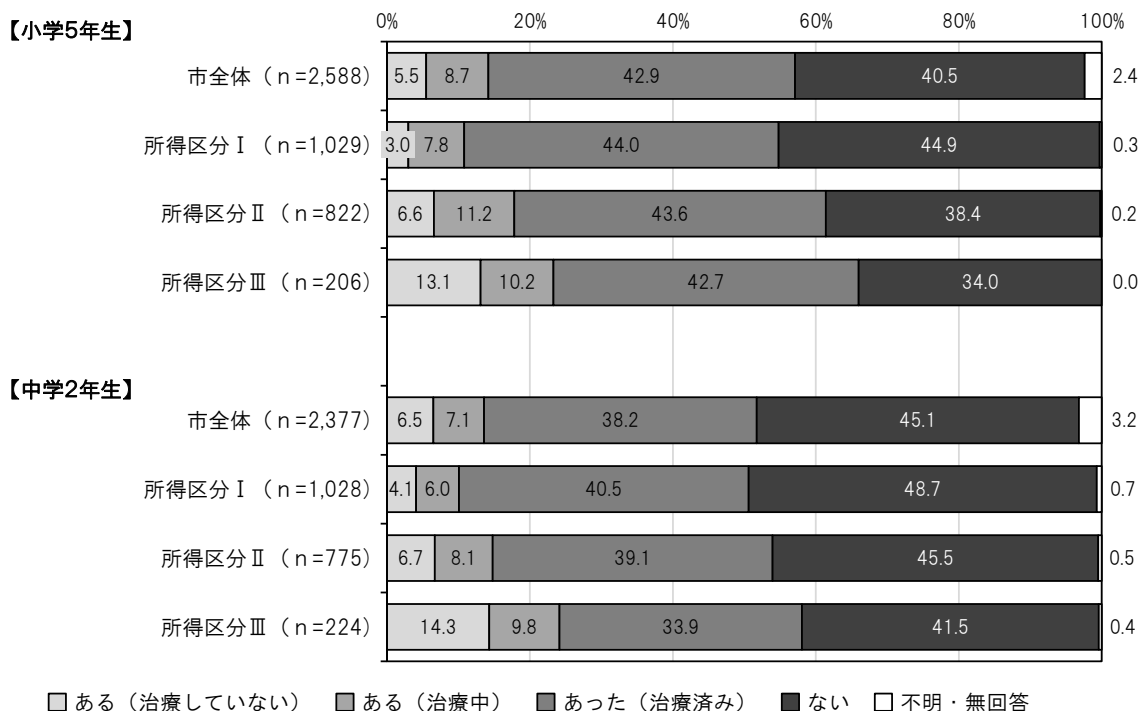
**問 15-1 病院や診療所などの医療機関を受診しなかった理由は何ですか。(すべてに○)**

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲで「医療費の支払いで不安があったから」が他の区分に比べて高くなっています。小学生保護者の所得区分Ⅰ・Ⅱでは「医療機関に連れていく時間がなかったから」が他の区分に比べて高くなっています。

学年	所得区分	市全体 (n)	理由							
			医療機関に連れて行く時間がなかったから	医療機関までの距離が遠く、連れて行けなかったから	子ども本人が受診しなかったから	医療費の支払いが不安であったから	自分の健康状態が悪かったから	新型コロナウイルス感染症の影響で、外出や医療機関への受診を控えたから	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=257)		35.0	3.5	15.2	5.4	6.2	62.3	4.3	0.0
	所得区分Ⅰ (n=94)		42.6	1.1	17.0	2.1	3.2	59.6	3.2	0.0
	所得区分Ⅱ (n=94)		34.0	4.3	16.0	5.3	9.6	58.5	8.5	0.0
	所得区分Ⅲ (n=24)		20.8	4.2	12.5	25.0	4.2	70.8	0.0	0.0
中学2年生	市全体 (n=225)		35.1	3.1	29.8	7.1	5.3	59.1	2.2	0.9
	所得区分Ⅰ (n=77)		39.0	3.9	28.6	0.0	3.9	57.1	3.9	2.6
	所得区分Ⅱ (n=79)		35.4	3.8	30.4	10.1	6.3	59.5	2.5	0.0
	所得区分Ⅲ (n=34)		29.4	0.0	26.5	20.6	5.9	67.6	0.0	0.0

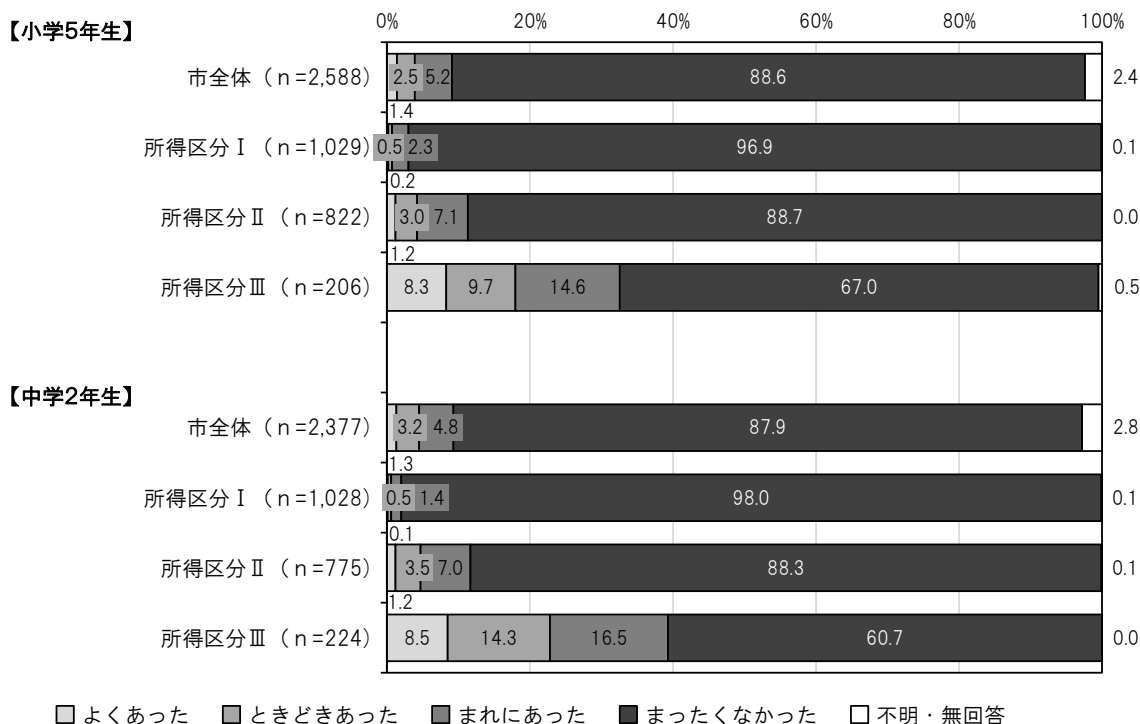
### 問 16 お子さんには、むし歯がありますか。(1つに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど「ある（治療していない）」が高くなっており、特に所得区分Ⅲで1割を超えています。



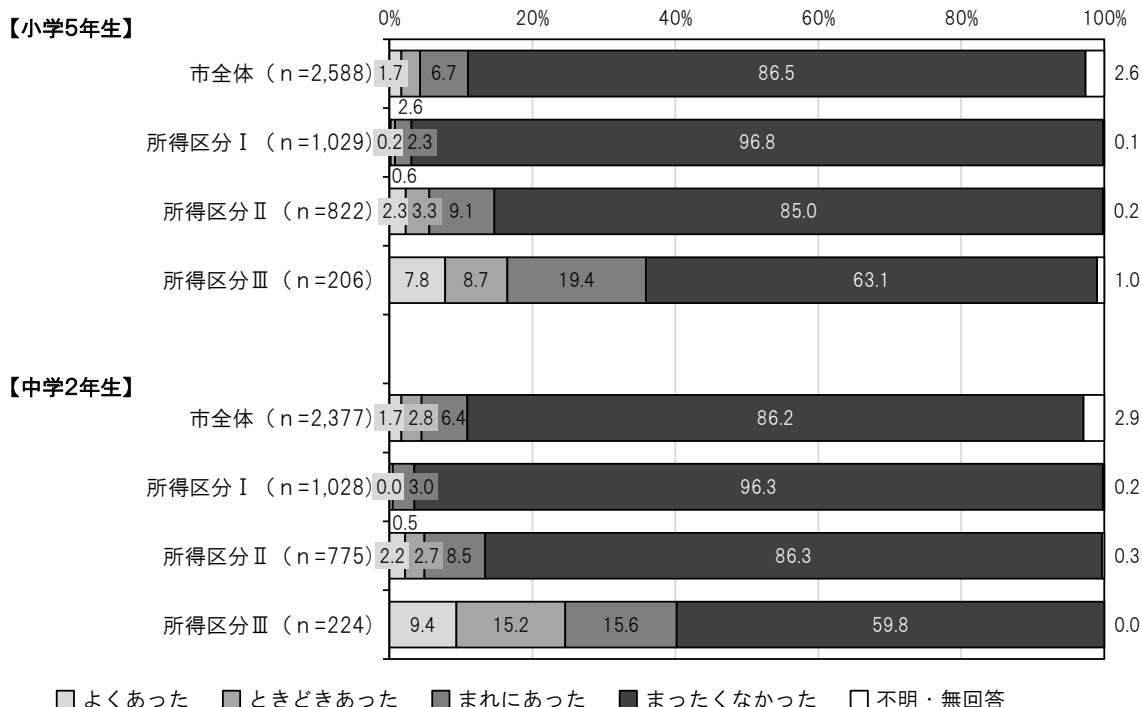
### 問 17 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(1つに○)

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほどあったという経験が高くなっており、中学生保護者の所得区分Ⅲでは「よくあった」「ときどきあった」の合計が2割を超えています。



**問 18 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(1つに○)**

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほどあったという経験が高くなっており、中学生保護者の所得区分Ⅲでは「よくあった」「ときどきあった」の合計が2割を超えています。



**問 19 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で払えなかったことがありましたか。(すべてに○)**

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲで「公的年金・健康保険などの保険料」「所得税や住民税」が高くなっており、小学生保護者の所得区分Ⅲではともに1割を超えています。

		電気料金	ガス料金	水道料金	電話代	家賃	公的年金・健康保険などの保険料	所得税や住民税	子どもの学校に必要なお金	あてはまるものはない	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,588)	1.6	1.4	1.9	1.6	1.5	2.7	3.1	1.9	88.6	4.4
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	0.3	0.4	0.3	0.5	0.1	0.4	0.6	0.2	97.3	1.5
	所得区分Ⅱ (n=822)	1.7	1.3	2.9	1.1	1.6	2.3	3.8	2.1	89.3	2.9
	所得区分Ⅲ (n=206)	10.2	9.2	9.2	9.7	9.7	13.1	13.6	9.7	63.6	3.4
中学2年生	市全体 (n=2,377)	2.1	1.6	2.3	2.2	1.8	3.3	3.0	2.4	87.1	5.4
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	0.3	0.3	0.5	0.2	0.2	0.5	1.0	0.2	96.3	2.3
	所得区分Ⅱ (n=775)	1.7	1.3	2.3	2.3	1.5	3.9	3.7	1.9	88.0	3.1
	所得区分Ⅲ (n=224)	12.1	10.3	12.1	11.6	8.5	15.6	9.8	15.2	64.3	3.1

問 20 次のうち、経済的理由のためにあなたの家庭にないものを選んでください。(すべてに○)

小・中学生保護者ともに、いずれの項目も所得区分Ⅲが高くなっており、「急な出費の為に貯金または現金（5万円以上）」は所得区分Ⅲで3割が所持していないと回答しています。

		子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で勉強をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	暖房機器（エアコンを含む）	冷房機器（エアコンを含む）
小学5年生	市全体（n=2,588）	2.4	1.7	2.4	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	0.6	0.2	0.3	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3
	所得区分Ⅱ（n=822）	2.8	2.3	2.6	0.2	0.2	0.1	0.1	0.4
	所得区分Ⅲ（n=206）	10.7	6.8	11.2	0.5	0.5	0.5	1.9	2.4
中学2年生	市全体（n=2,377）	2.3	1.1	2.3	0.1	0.3	0.3	0.5	0.5
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	0.5	0.1	0.8	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3
	所得区分Ⅱ（n=775）	2.6	1.5	2.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9
	所得区分Ⅲ（n=224）	9.4	3.6	9.4	0.9	1.3	1.3	2.7	1.3

		電子レンジ	電話（固定電話・携帯電話を含む）	世帯専用のお風呂	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費の為に貯金または現金（5万円以上）	インターネットの接続環境	あてはまるものはない	不明・無回答
小学5年生	市全体（n=2,588）	0.1	0.4	0.2	1.5	8.7	1.1	81.3	6.2
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	0.0	0.1	0.0	0.3	1.6	0.0	93.8	3.4
	所得区分Ⅱ（n=822）	0.0	0.4	0.4	1.6	12.8	1.3	78.2	4.6
	所得区分Ⅲ（n=206）	0.5	2.4	0.5	6.3	32.0	6.3	49.5	4.4
中学2年生	市全体（n=2,377）	0.1	0.5	0.2	1.4	9.3	0.8	80.6	6.6
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	0.1	0.2	0.1	0.4	2.4	0.1	92.7	3.5
	所得区分Ⅱ（n=775）	0.0	0.3	0.4	1.9	13.3	0.5	79.5	3.5
	所得区分Ⅲ（n=224）	0.4	2.7	0.4	5.8	33.0	4.9	48.7	6.3

問 21 世帯全体の昨年1年間（令和2年1月1日～令和2年12月31日の期間）のおおよその税  
 込みの年間収入はいくらですか。（1つに○）

小・中学生保護者ともに「600～700万円未満」が最も高く、次いで「1,000万円以上」となっています。

		50万円 未満	50～100 万円未満	100～ 150万円 未満	150～ 200万円 未満	200～ 250万円 未満	250～ 300万円 未満	300～ 350万円 未満	350～ 400万円 未満	400～ 450万円 未満
小学 5 年生	市全体（n=2,588）	0.2	0.5	1.7	1.1	2.1	1.7	3.0	3.7	5.6
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅱ（n=822）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	5.8	9.5	16.1
	所得区分Ⅲ（n=206）	2.9	5.8	18.0	12.6	24.3	17.0	11.2	5.8	2.4
中学 2 年生	市全体（n=2,377）	0.4	0.6	1.7	1.4	2.1	1.9	3.2	3.2	5.1
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅱ（n=775）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	6.1	8.1	14.5
	所得区分Ⅲ（n=224）	4.0	6.7	17.4	13.8	21.9	16.5	12.9	4.5	2.2

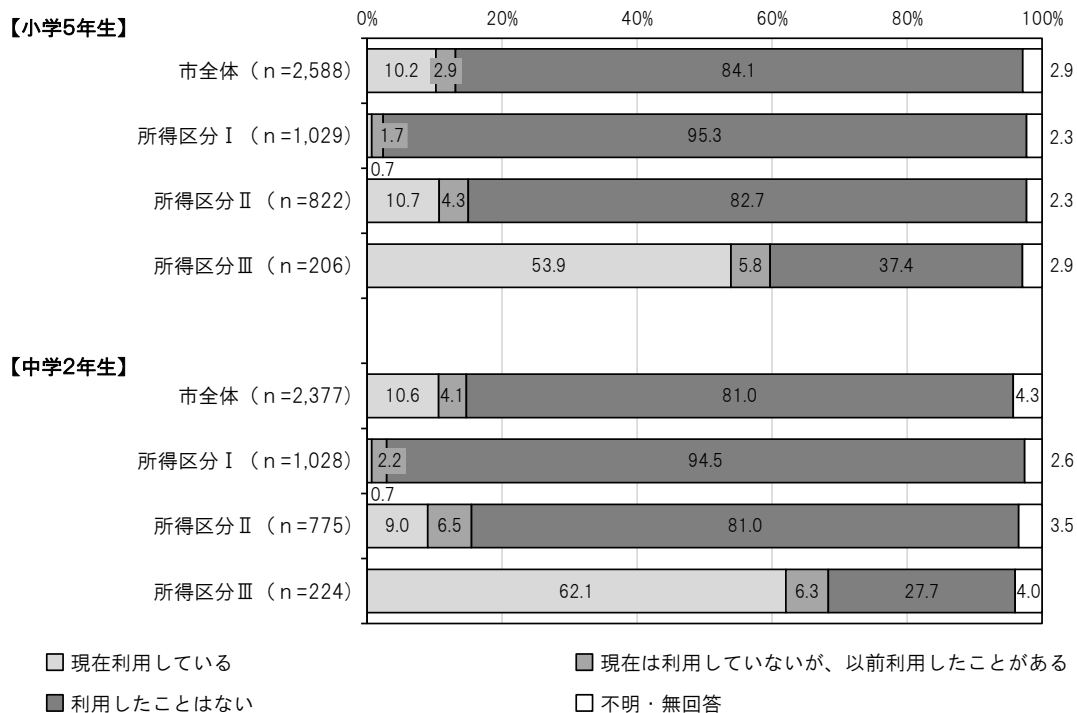
		450～ 500万円 未満	500～ 600万円 未満	600～ 700万円 未満	700～ 800万円 未満	800～ 900万円 未満	900～ 1,000万 円未満	1,000万 円以上	わからな い	不明・ 無回答
小学 5 年生	市全体（n=2,588）	6.3	11.6	13.5	10.5	10.0	5.2	11.7	5.8	5.5
	所得区分Ⅰ（n=1,029）	0.1	0.2	19.1	20.7	21.6	11.8	26.5	0.0	0.0
	所得区分Ⅱ（n=822）	17.2	33.0	13.6	3.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅲ（n=206）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学 2 年生	市全体（n=2,377）	7.1	11.3	12.5	8.2	9.5	7.1	12.3	6.0	6.4
	所得区分Ⅰ（n=1,028）	0.2	0.3	19.5	16.0	20.8	16.0	27.3	0.0	0.0
	所得区分Ⅱ（n=775）	20.8	33.2	12.0	3.4	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0
	所得区分Ⅲ（n=224）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



問 22 次の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「利用したことはない」を選んだ場合、理由も教えてください。(1つに○)

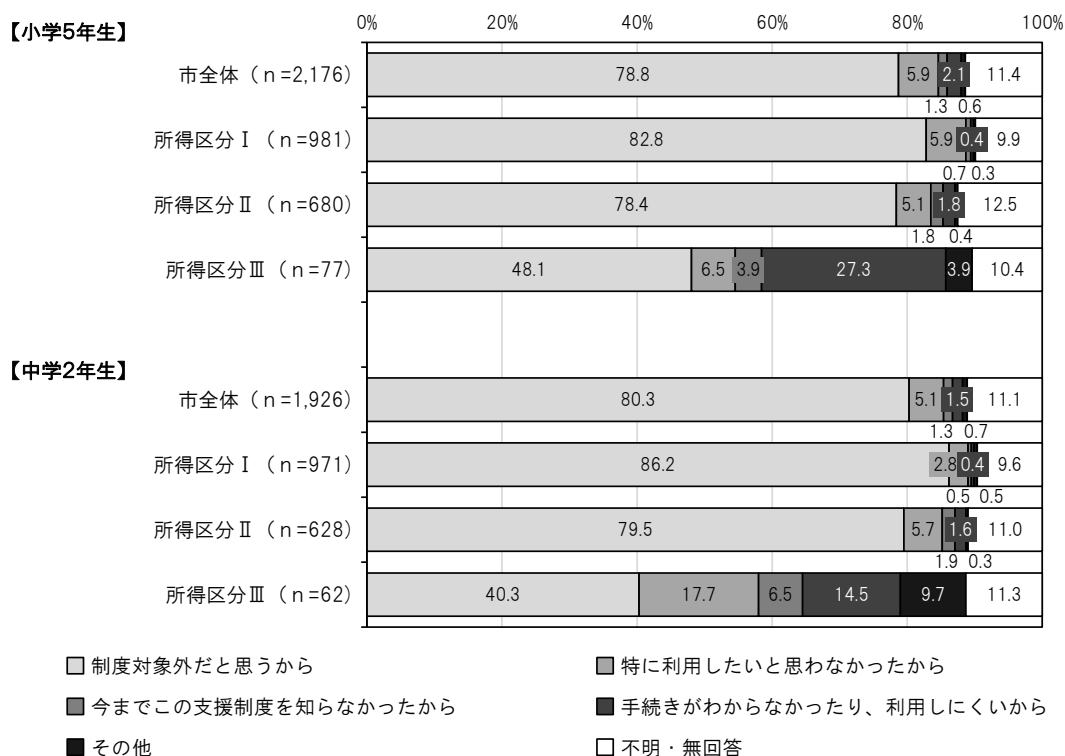
【就学援助・利用状況】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど利用経験が高くなっており、所得区分Ⅲでは回答者の5～6割が利用経験があります。



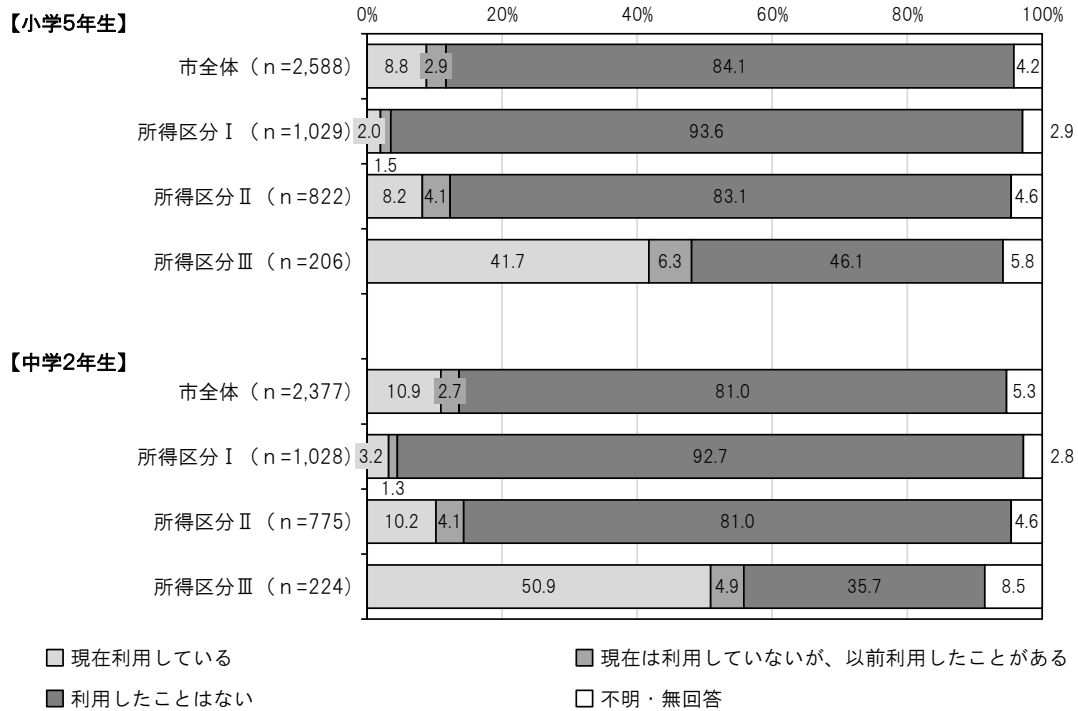
【就学援助・利用したことがない理由】

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲで「手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が他の区分に比べて高くなっています。



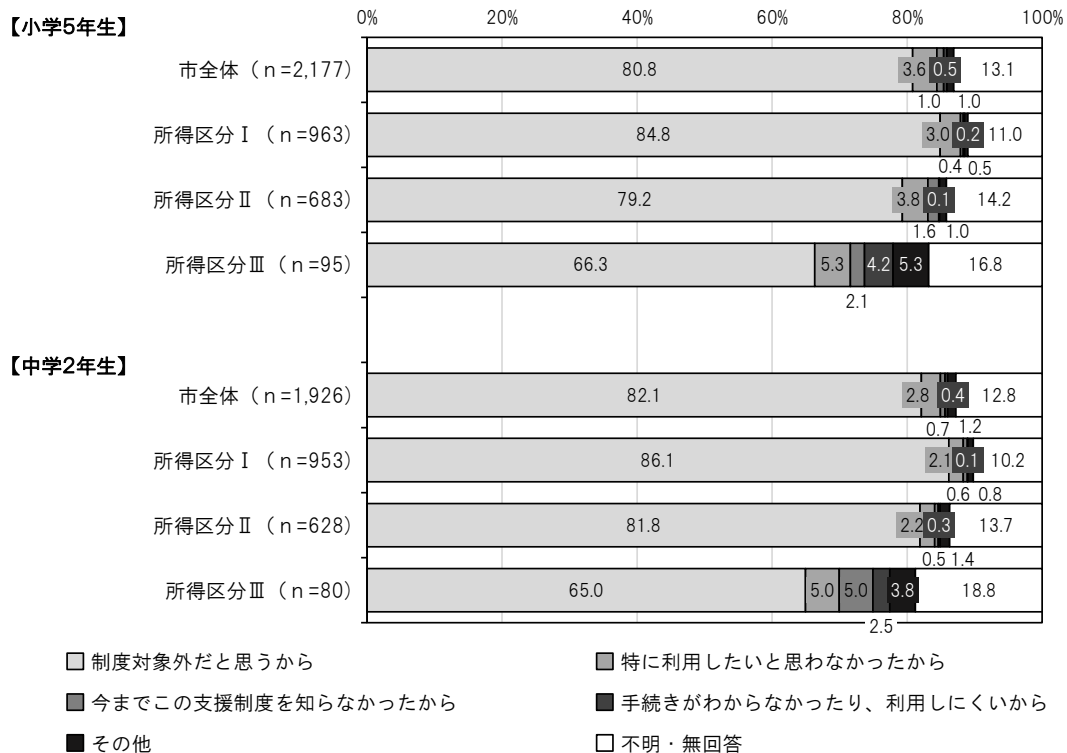
【児童扶養手当・利用状況】

小・中学生保護者ともに所得区分が低いほど利用経験が高くなっており、所得区分Ⅲでは回答者の4～5割が利用経験があります。



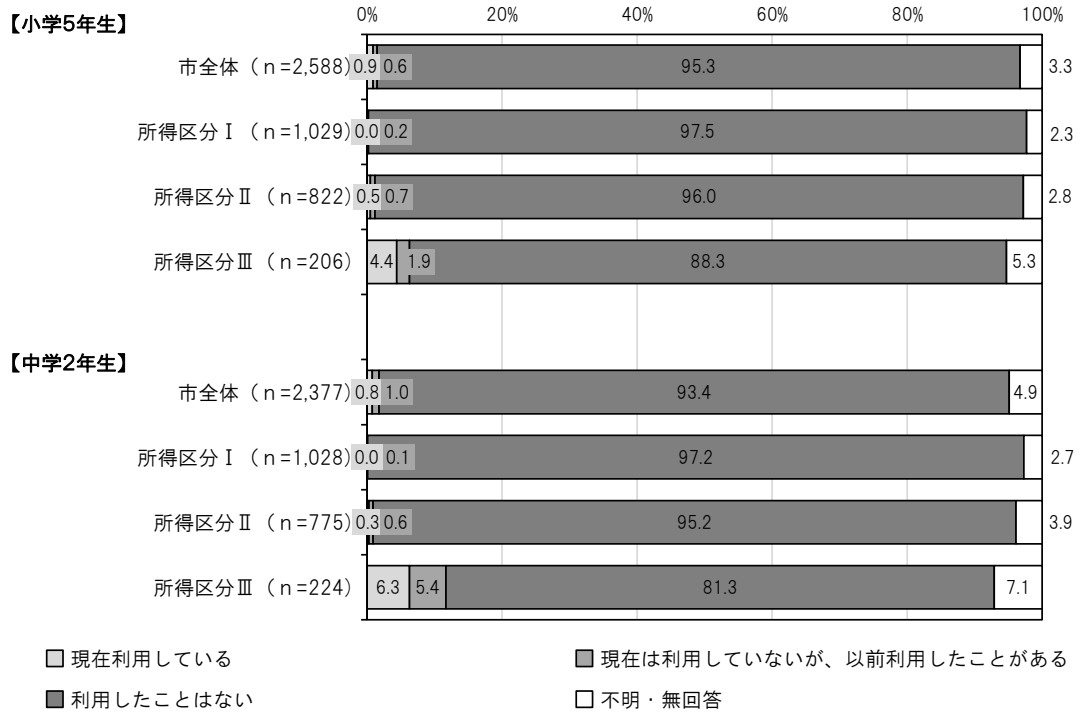
【児童扶養手当・利用したことがない理由】

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲで「制度対象外だと思うから」が他の区分に比べて低くなっています。



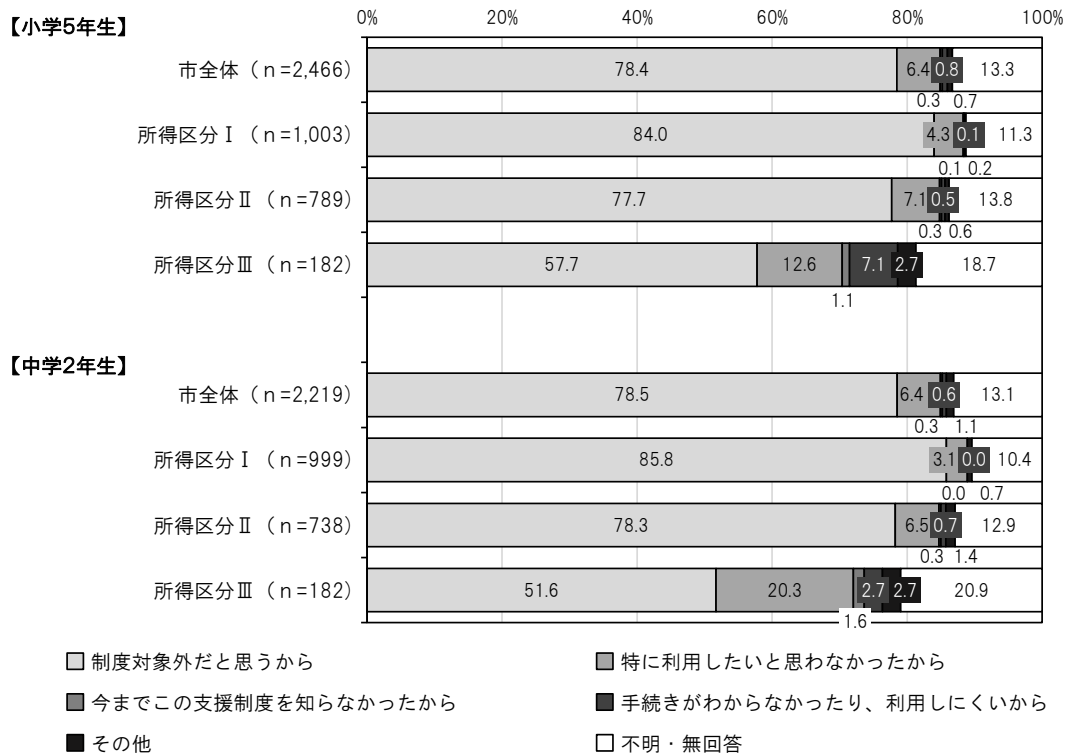
【生活保護・利用状況】

小・中学生保護者ともに「利用したことはない」が最も高くなっています。



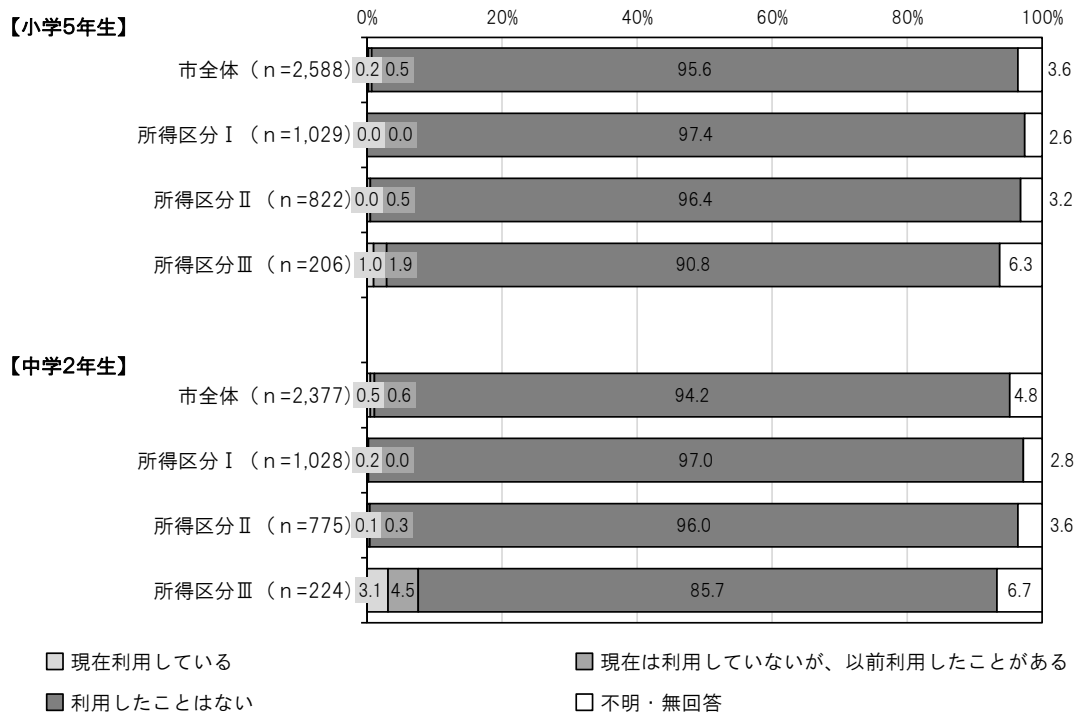
【生活保護・利用したことがない理由】

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲで「特に利用したいと思わなかったから」が他の区分に比べて高くなっています。



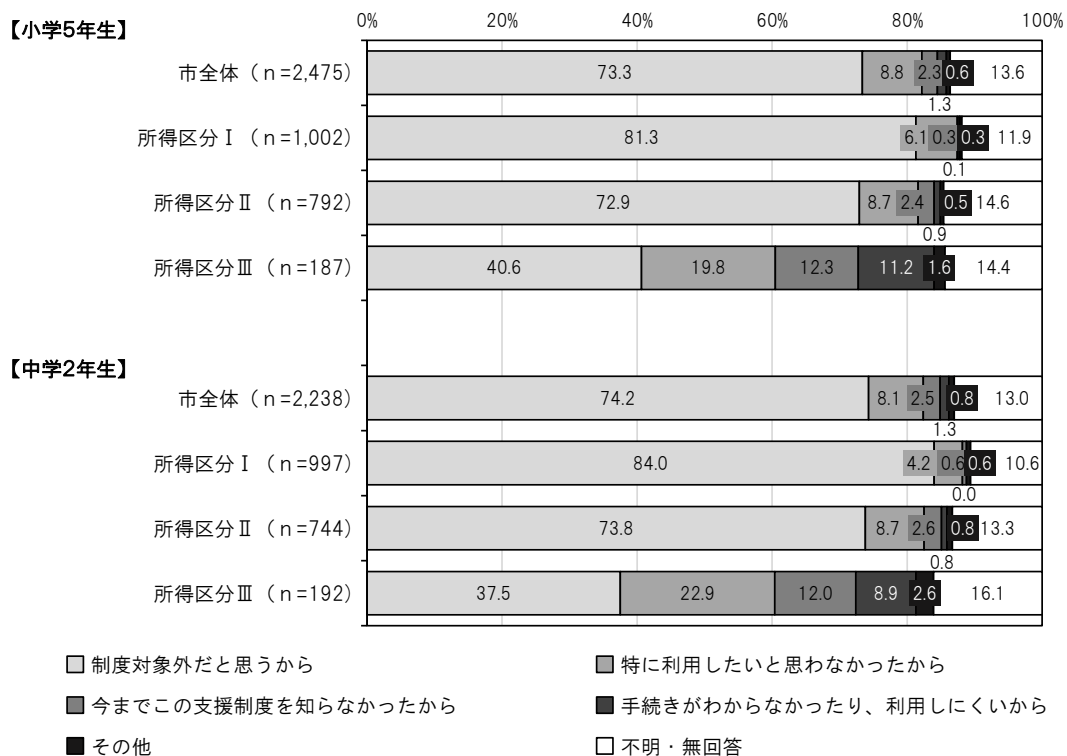
【生活困窮者の自立支援相談窓口・利用状況】

小・中学生保護者ともに「利用したことはない」が最も高くなっています。



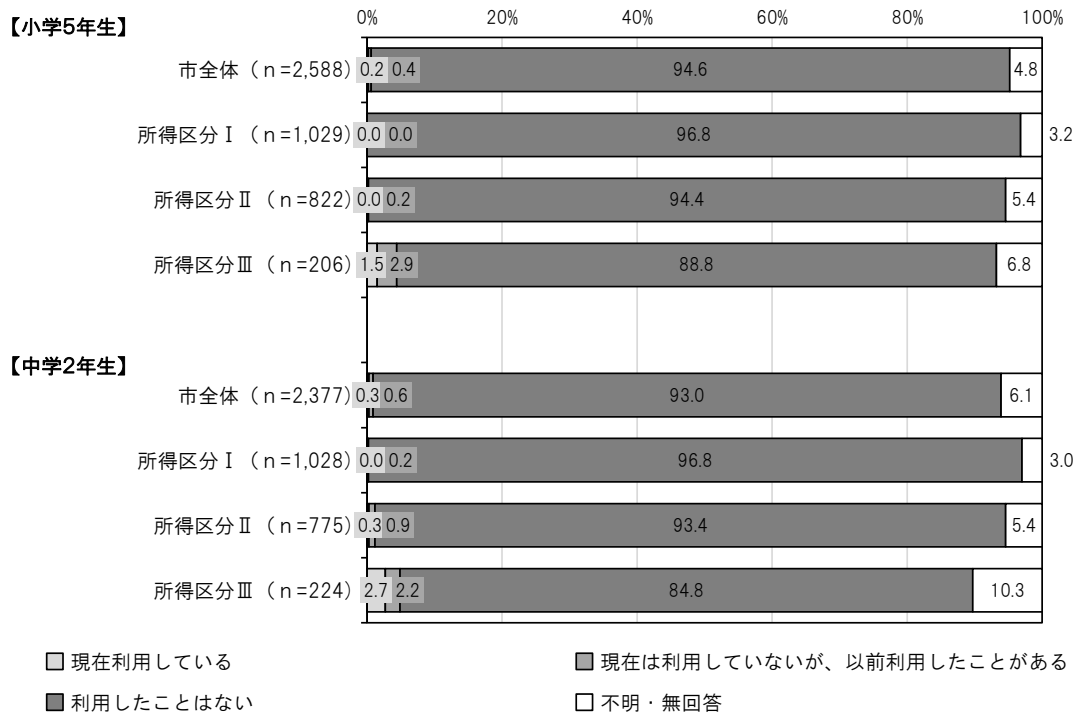
【生活困窮者の自立支援相談窓口・利用したことがない理由】

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲで「特に利用したいと思わなかったから」「今までこの支援制度を知らなかったから」「手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が他の区分に比べて高くなっています。



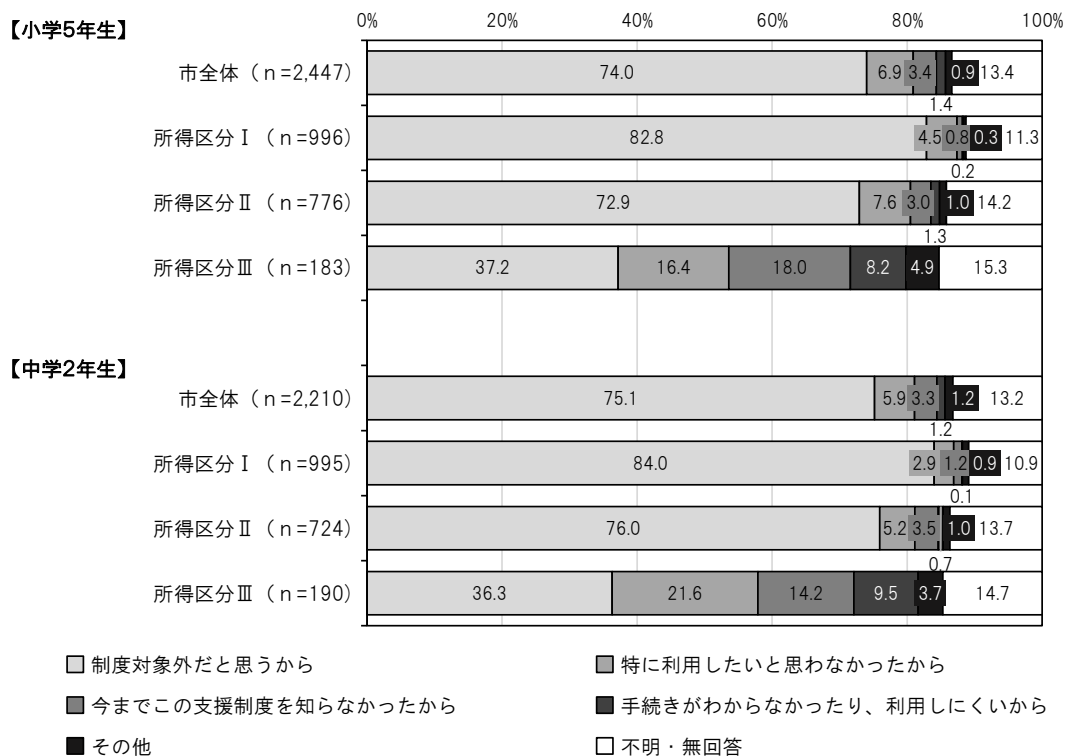
【ひとり親家庭等自立支援教育訓練給付金・利用状況】

小・中学生保護者ともに「利用したことはない」が最も高くなっています。



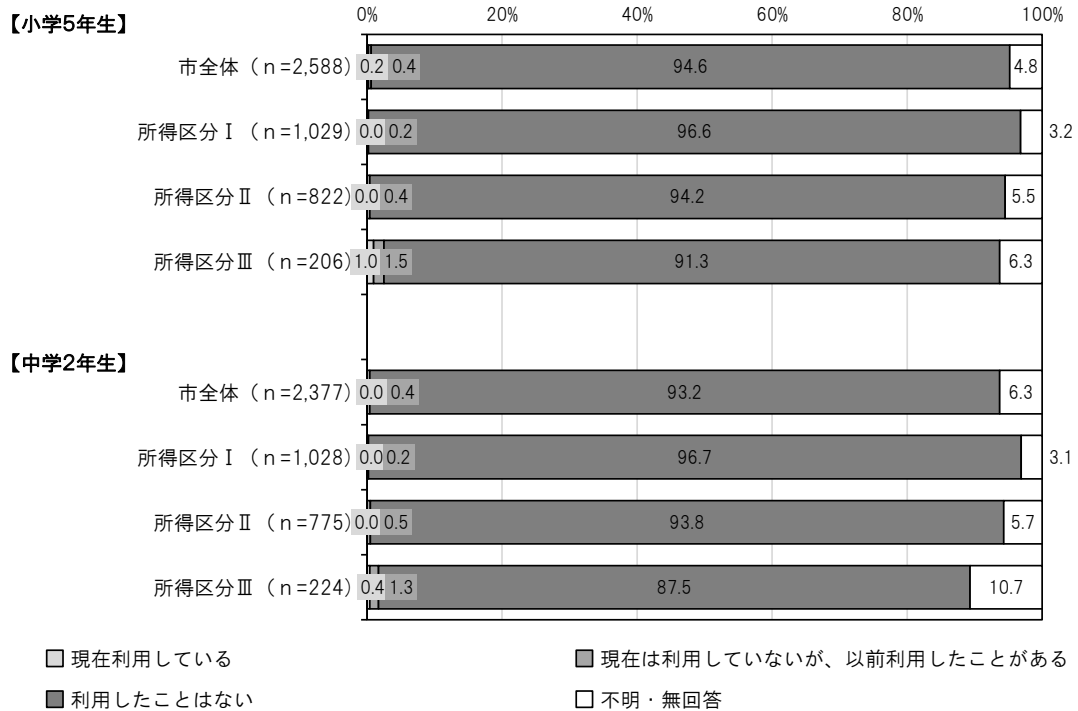
【ひとり親家庭等自立支援教育訓練給付金・利用したことがない理由】

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅲで「特に利用したいと思わなかったから」「今までこの支援制度を知らなかったから」「手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が他の区分に比べて高くなっています。



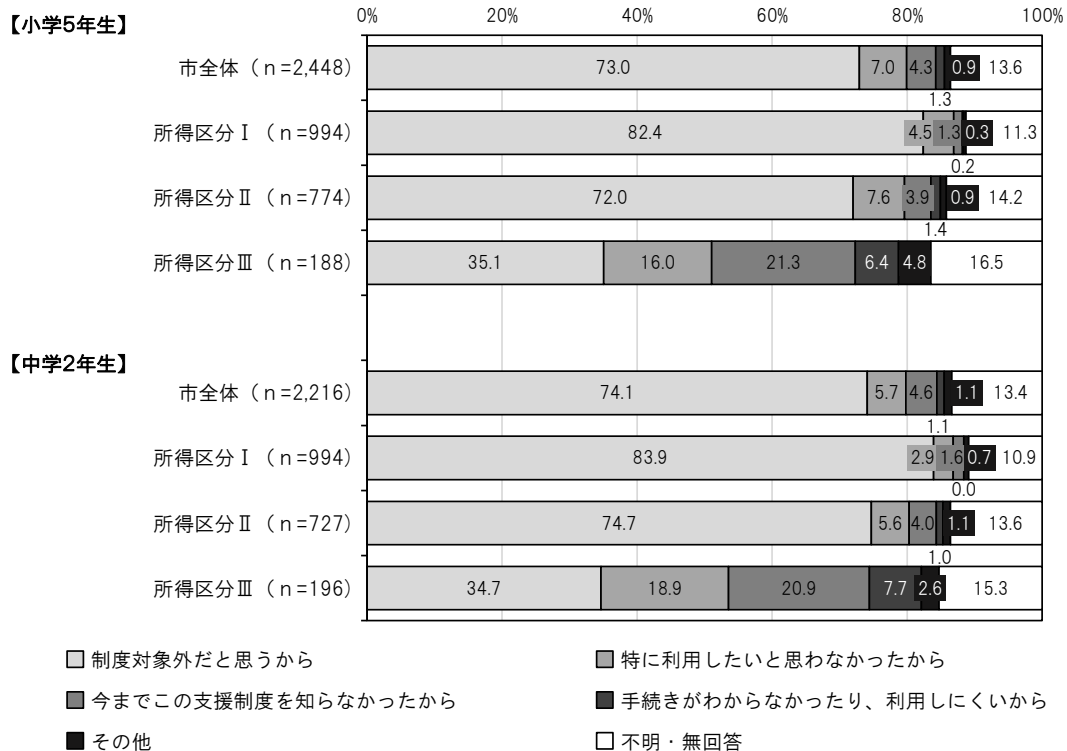
【ひとり親家庭等高等職業訓練促進給付金・利用状況】

小・中学生保護者ともに「利用したことはない」が最も高くなっています。



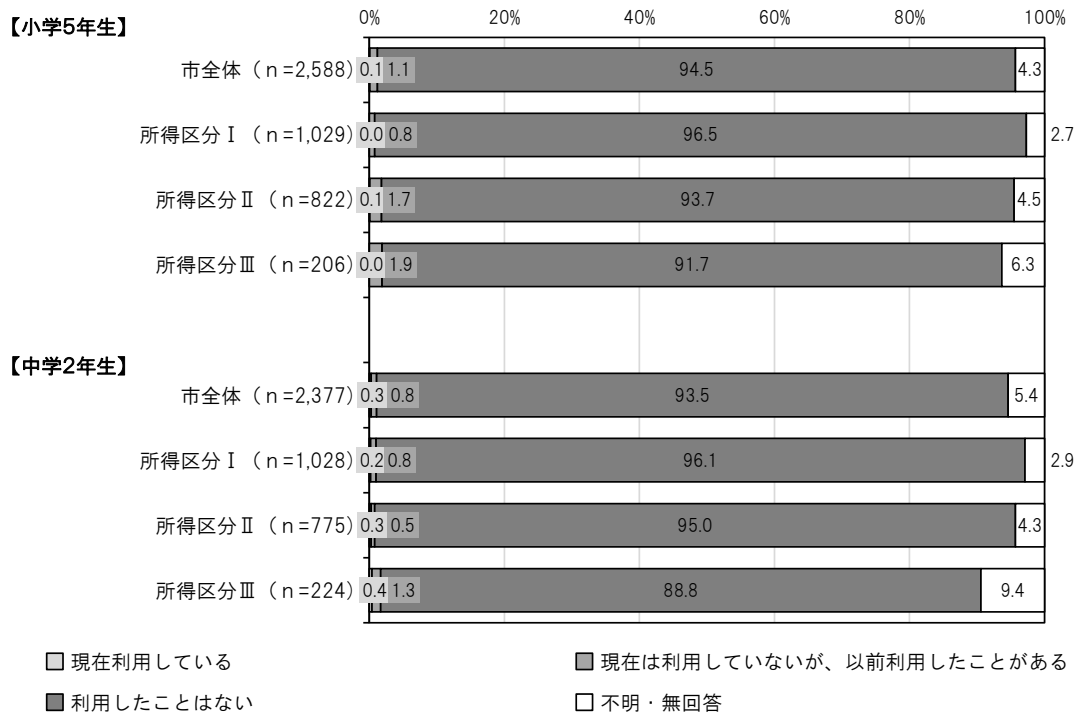
【ひとり親家庭等高等職業訓練促進給付金・利用したことがない理由】

小・中学生保護者ともに所得区分IIIで「特に利用したいと思わなかったから」「今までこの支援制度を知らなかったから」「手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が他の区分に比べて高くなっています。



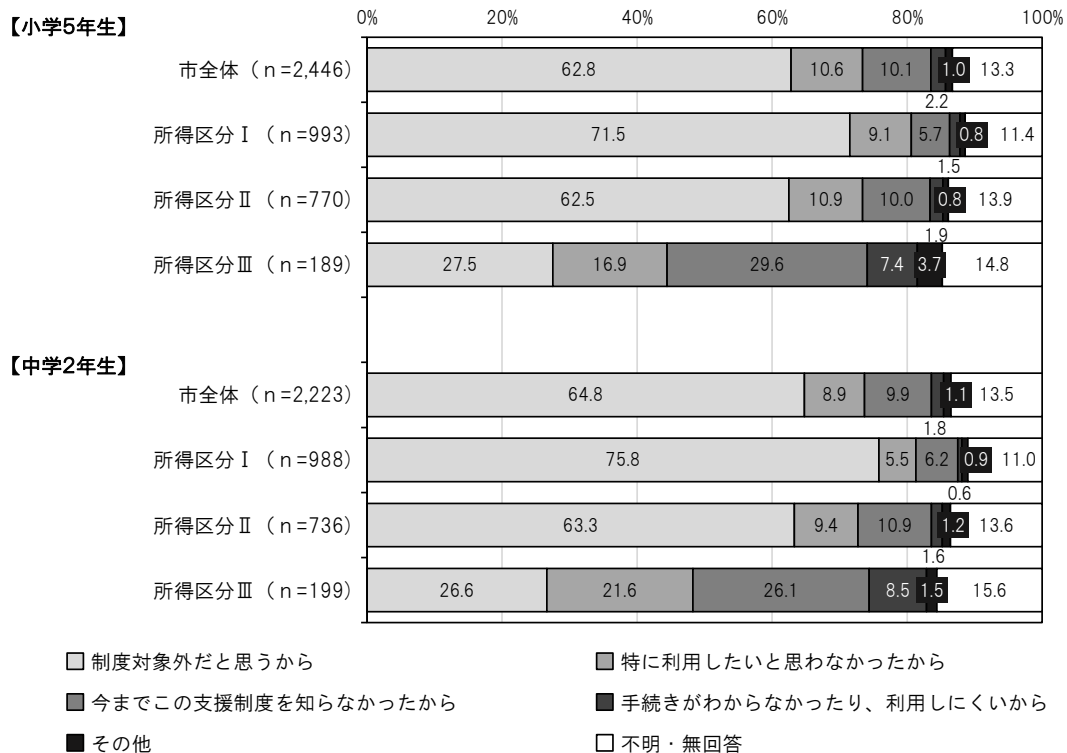
【求職者資格取得助成金・利用状況】

小・中学生保護者ともに「利用したことはない」が最も高くなっています。



【求職者資格取得助成金・利用したことがない理由】

小・中学生保護者ともに所得区分 III で「今までこの支援制度を知らなかったから」が他の区分に比べて高くなっています。



問 23 お子さんやあなたにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(すべてに○)

小・中学生保護者ともに所得区分Ⅰでは「進学や資格を取るための発展的な学習への支援」が最も高く、次いで「会社等での職場体験などの機会の提供」となっています。所得区分Ⅱでは「進学や資格を取るための発展的な学習への支援」が最も高く、次いで「生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など）」となっています。所得区分Ⅲでは「生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など）」が最も高く、次いで「進学や資格を取るための発展的な学習への支援」となっています。

		保護者が家にはいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	安い家賃で住める住居	生活や就学のための経済的援助（給付金や貸付など）	進路や生活などについて何でも相談できる場所	仲間と出掛け、一緒に活動できる場所	自然体験や集団遊びなどの多様な活動機会の提供	地域における子どもの居場所の提供	読み書きなどの基本的な学習への支援
小学5年生	市全体 (n=2,588)	31.4	16.1	38.8	25.0	29.5	30.8	26.3	19.4
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	32.1	8.2	25.4	23.0	30.6	33.1	25.5	13.6
	所得区分Ⅱ (n=822)	30.3	18.4	48.3	28.8	29.9	29.8	28.1	24.3
	所得区分Ⅲ (n=206)	29.6	45.6	66.5	24.8	24.8	26.2	25.2	31.6
中学2年生	市全体 (n=2,377)	20.2	15.9	39.2	27.4	25.7	20.2	16.8	14.3
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	20.9	7.5	27.4	26.0	28.2	22.8	16.9	9.9
	所得区分Ⅱ (n=775)	20.0	18.1	49.4	27.9	25.2	20.0	17.8	16.1
	所得区分Ⅲ (n=224)	17.0	44.2	62.5	28.1	15.6	12.1	11.6	22.3

		会社等での職場体験などの機会の提供	仕事に就けるようにするための就労に関する支援	子どものみで無料もしくは安価で食事ができる場所の提供	進学や資格を取るための発展的な学習への支援	特になし	その他	不明・無回答
小学5年生	市全体 (n=2,588)	37.9	24.8	18.7	53.7	7.6	2.2	1.9
	所得区分Ⅰ (n=1,029)	40.1	19.8	12.4	51.8	8.6	2.3	1.8
	所得区分Ⅱ (n=822)	38.9	28.3	23.2	58.3	6.1	2.9	1.2
	所得区分Ⅲ (n=206)	29.1	28.6	34.0	49.5	5.3	1.0	1.5
中学2年生	市全体 (n=2,377)	42.8	26.9	14.3	57.3	8.0	2.3	3.2
	所得区分Ⅰ (n=1,028)	47.8	24.3	11.2	55.3	9.1	1.9	1.9
	所得区分Ⅱ (n=775)	44.6	30.5	16.1	63.1	7.0	2.3	1.7
	所得区分Ⅲ (n=224)	25.0	23.2	22.3	53.6	3.6	2.2	3.6



問 24 その他、毎日の生活で感じていることや困っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

※一人の回答者が複数の項目にわたる記述をしている場合は、それぞれを1件としてカウントしています。

■小学5年生保護者

内容	件数
家庭について	74
経済面について	23
生活面について	23
就労や仕事について	17
家族の関係について	9
住居について	2
子どものことについて	43
友人関係について	3
生活習慣について	12
子どもとの接し方について	9
将来について	5
インターネットやSNSの使用について	6
その他	8
学校について	79
学校での教育・対応について	31
教職員について	6
コロナ禍での授業について	8
施設・設備（給食含む）について	6
PTA・子ども会について	23
その他	5

内容	件数
子どものことについて	126
児童手当について	9
ひとり親支援について	14
多子世帯支援について	7
医療費について	5
(放課後・長期休暇の)子どもの居場所について	19
学童保育について	7
学習支援について	7
相談支援について	8
経済的支援について	19
支援を必要とする子どもについて	11
情報提供について	3
その他	17
遊び環境・公共施設等について	47
通学路の整備について	17
公園等の遊び場について	28
地域の安全(防犯等)について	2
新型コロナウイルス感染症の影響について	38
子ども本人に関する影響について	10
家族に関する影響について	9
家計に関する影響について	7
その他	12
その他	38
市への要望について	8
アンケートについて	6
その他	24

■ 中学2年生保護者

内容	件数
家庭について	45
経済面について	19
生活面について	19
就労や仕事について	3
家族の関係について	2
住居について	2
子どものことについて	46
友人関係について	1
生活習慣について	11
勉強・学力について	3
子どもとの接し方について	6
進学・将来について	13
インターネットやSNSの使用について	3
その他	9
学校について	71
学校での教育・対応について	16
教職員について	8
コロナ禍での授業について	9
施設・設備（給食含む）について	10
PTA・子ども会について	7
授業料について	8
その他	13
子どものことについて	103
児童手当について	5
ひとり親支援について	7
多子世帯支援について	10
医療費について	13
（放課後・長期休暇の）子どもの居場所について	13
学習支援について	7
相談支援について	5
経済的支援について	19
支援を必要とする子どもについて	7
情報提供について	3
その他	14

内容	件数
遊び環境・公共施設等について	24
通学路の整備について	10
公園等の遊び場について	11
地域の安全（防犯等）について	3
新型コロナウイルス感染症の影響について	30
子ども本人に関する影響について	11
家族に関する影響について	3
家計に関する影響について	6
その他	10
その他	35
市への要望について	7
アンケートについて	4
その他	24

### (3) 家庭の生活困難の状況

世帯収入を分析の軸として、貧困世帯の状況に注目した報告が多く行われる一方、生活必需品を持っていなかったり、光熱水費・通信費・保険料等の支払いが困難だった経験、食料・衣料・学用品等の生活必需品の購入が困難だった経験など、一般に生活を行う上での困難な状況は、世帯収入に限らず広がっていることも示されています。そこで、広く生活困難の実情に注目し、保護者と子どもの意識や生活への影響を分析するために、独自に「経済的困難世帯」を定義し、子育て世帯の生活困難の状況に注目します。①生活必需品非所有世帯、②生活費用支払困難経験世帯、③食料購入困難経験世帯、④衣服購入困難経験世帯のいずれかに該当する世帯を経済的困難世帯と定義しました。

各項目の詳しい定義と調査結果は次の通りです。

#### ①生活必需品非所有世帯

保護者対象の調査において、経済的理由のために家庭にないものについて、以下のいずれか1つ以上を回答した世帯を「生活必需品非所有世帯」とします。

・子どもの年齢に合った本	・冷房機器（エアコンを含む）
・子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	・電子レンジ
・子どもが自宅で勉強をすることができる場所	・電話（固定電話・携帯電話を含む）
・洗濯機	・世帯専用のおふろ
・炊飯器	・世帯人数分のベッドまたは布団
・掃除機	・急な出費の為に貯金または現金（5万円以上）
・暖房機器（エアコンを含む）	

本調査における生活必需品非所有世帯の割合は以下の通りです。

学年	n	生活必需品非所有世帯		非生活必需品非所有世帯		判定不能	
		世帯	%	世帯	%	世帯	%
小学5年生	2,334	276	11.8	1,909	81.8	149	6.4
中学2年生	2,333	293	12.6	1,886	80.8	154	6.6
全体	4,667	569	12.2	3,795	81.3	303	6.5

## ②生活費用支払困難経験世帯

保護者対象の調査において、過去1年の間に経済的理由のために支払いができなかったものについて、以下のいずれか1つ以上を回答した世帯を「生活費用支払困難経験世帯」とします。

・電気料金	・家賃
・ガス料金	・公的年金・健康保険などの保険料
・水道料金	・所得税や住民税
・電話代	・子どもの学校で必要なお金

本調査における生活費用支払困難経験世帯の割合は以下の通りです。

学年	n	生活費用支払困難経験世帯		非生活費用支払困難経験世帯		判定不能	
		世帯	%	世帯	%	世帯	%
小学5年生	2,334	162	6.9	2,066	88.5	106	4.5
中学2年生	2,333	176	7.5	2,029	87.0	128	5.5
全体	4,667	338	7.2	4,095	87.7	234	5.0

## ③食料購入困難経験世帯

保護者対象の調査において、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことが、「ときどき」以上あったと回答した世帯を「食料購入困難経験世帯」とします。

本調査における食料購入困難経験世帯の割合は以下の通りです。

学年	n	食料購入困難経験世帯		非食料購入困難経験世帯		判定不能	
		世帯	%	世帯	%	世帯	%
小学5年生	2,334	88	3.8	2,191	93.9	55	2.4
中学2年生	2,333	103	4.4	2,164	92.8	66	2.8
全体	4,667	191	4.1	4,355	93.3	121	2.6

#### ④衣服購入困難経験世帯

保護者対象の調査において、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことが、「ときどき」以上あったと回答した世帯を「衣服購入困難経験世帯」とします。

本調査における衣類購入困難経験世帯の割合は以下の通りです。

学年	n	衣服購入困難経験世帯		非衣服購入困難経験世帯		判定不能	
		世帯	%	世帯	%	世帯	%
小学5年生	2,334	88	3.8	2,191	93.9	55	2.4
中学2年生	2,333	103	4.4	2,164	92.8	66	2.8
全 体	4,667	191	4.1	4,355	93.3	121	2.6

#### ⑤経済的困難世帯

①から④のいずれか1つ以上に該当した世帯を「経済的困難世帯」とします。本調査における経済的困難世帯の割合は以下の通りです。

学年	n	経済的困難世帯		非経済的困難世帯		判定不能	
		世帯	%	世帯	%	世帯	%
小学5年生	2,334	348	14.9	1,818	77.9	168	7.2
中学2年生	2,333	363	15.6	1,780	76.3	190	8.1
全 体	4,667	711	15.2	3,598	77.1	358	7.7

#### 【参考】所得区分と経済的困難世帯

学年	所得区分	n	経済的困難世帯		非経済的困難世帯		判定不能	
			世帯	%	世帯	%	世帯	%
小学5年生	所得区分Ⅰ	1,029	40	3.9	945	91.8	44	4.3
	所得区分Ⅱ	822	167	20.3	608	74.0	47	5.7
	所得区分Ⅲ	206	107	51.9	92	44.7	7	3.4
	全 体	2,334	348	14.9	1818	77.9	168	7.2
中学2年生	所得区分Ⅰ	1,028	51	5.0	925	90.0	52	5.1
	所得区分Ⅱ	775	160	20.6	575	74.2	40	5.2
	所得区分Ⅲ	224	115	51.3	98	43.8	11	4.9
	全 体	2,333	363	15.6	1780	76.3	190	8.1

## II ヒアリング調査

### 1. 実施概要

#### (1) 調査の目的

子どもの貧困対策に関する支援活動を行う団体や関係者等を対象に、支援者側から見た子どもの貧困の実態、数字には表れにくい課題等を調査するとともに、団体等の活動内容と支援ニーズとのマッチングの状況などについて把握します。

#### (2) 調査方法

令和4年2月～3月にかけて、対面による個別聞き取り方式にて実施しました。

#### (3) 調査対象者

地域関係者、福祉関係者、教育関係者より子どもの貧困対策に関する支援活動を行う6団体

種別	団体
地域関係者	子ども食堂運営団体 学習支援関係団体
福祉関係者	社会福祉協議会 民生委員・児童委員 母子生活支援施設
教育関係者	スクールソーシャルワーカー

#### (4) 調査結果の留意点

- 質問項目に沿って、意見のとりまとめを行っており、内容を要約している箇所もあります。
- 各支援者からみた実情を記載しているため、記載事項が支援を必要とする家庭すべてにあてはまるものではありません。



## 2. 調査結果

### (1) 生活困難な世帯の状況について

- ・学校の勉強についていけない理由として、子どもの特性によるものだけでなく、家庭の状況（家の中が荒れており勉強するスペースがないなど）によることもある。
- ・学習支援事業を利用する保護者は、子どもの学力を一定以上に上げたいというよりも、家庭で見えあげられない宿題や提出物を見てもらうことを目的としている。
- ・小さなきょうだいを世話するなどヤングケアラーに該当するような子は一定数いると思うが、その場合でも本人や保護者にヤングケアラーという意識はない場合や、学校に行きたくない（行けない）子がきょうだいのお世話をすることに居場所を見出しているケースもあるようだ。
- ・ひとり親世帯の中には、子どもを育てながらフルタイム勤務を行うことが難しいため、生活が安定しないことがある。
- ・年収的には問題が無くても、収支のバランスが取れていないため生活困難になる家庭もある。
- ・頼れる親族がなかったり、自分に自信がなかったりして、子どもにどう接して良いのか分からない保護者が多いと感じる。
- ・客観的には厳しい生活環境であっても、子どもにとってはそれが当たり前であるために困り感をみせない。
- ・自分たちが利用できる支援制度や仕組みを把握していない家庭が多いと感じる。

## (2) 生活に困難を抱えることによる子どもへの影響について

### ①生活習慣

- ・子どもの服装への保護者が無頓着であったりするケースが多い。(靴が小さい、汚れている、季節に合わない服装である、など)
- ・子どもの生活リズムが昼夜逆転していたり、朝起きられなかったりすることがみられ、保護者も同様であることもある。また、保護者に「子どもを学校に行かせなければ」という気持ちがないことも多い。
- ・子どもに正しい生活習慣が身につけていないことが多い。
- ・朝食を食べていない子どもがみられる。
- ・保護者が日々仕事に追われ、休日でも子どもが一日中スマホを見て過ごしているような家庭もある。

### ②学習面

- ・費用や、送迎などの制約で習い事ができず、習い事ができる子との差ができています。
- ・スマートフォンで検索するなど様々な情報を収集する力に乏しいように感じる。
- ・家で学習する環境がなく、学校外で勉強することが難しい。
- ・学用品や準備するものが用意できず、学力がついていかないことがある。
- ・家庭の中で勉強や宿題をすることが習慣化していない。
- ・学習意欲が低くなる要因として、学校の授業がわからないからという理由が多いと感じており、学習につまずく子どもは中学校ではなく小学校の時点でつまずいている。

### ③親子関係

- ・仕事が忙しくて子どもに気をかけられなかったり、そもそも子どもに対して無頓着であったりするために、子どもとの交流が少ないように感じる。
- ・子どもの教育に対して無関心。親自身も自分の親から教育をしっかり受けていないことが多いからだろう。親子が一緒に何かをすることも少ないのではないかと。
- ・ひとり親家庭の場合、休みが少なく、子どもと一緒に外出して体験することが難しい。

#### ④その他

- ・子どもの自己肯定感の低さから、不登校につながっている場合もあるのではないかな。
- ・自分の興味が狭く経験が少ないために、人付き合いが苦手であったり、困難に立ち向かう力が身に付かなかったりするのではないかな。学校はそういうものを乗り越える力をつけるためにも必要であると思う。
- ・保護者自身が障害などの課題を抱えていることから生活困難につながっているケースもみられ、結果、子どもの非行や不登校につながっていることもある。
- ・結果的にすべてがつながっている。保護者の抱える困難のために生活習慣が乱れたり、経済状態が安定しないため、子どもが自分は勉強せずに働かなければいけないと考えたり、親子関係が悪くなるという印象を受ける。

### (3) 支援を行う際の課題等について

#### ①支援における課題

- ・子ども食堂では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い弁当配布方式に変更し、利用者が大幅に増加したため、作業に追われ、利用者とのコミュニケーションや状況把握が難しくなった。
- ・学習支援の利用生徒に対し、継続して出席してもらえよう本人の学習意欲を高めることに苦労している。
- ・支援を必要とする家庭の情報は関係機関で共有することで支援につながることもあるが、情報の取り扱いが難しい。
- ・保護者が自身に支援が必要だと思っておらず、子どもも生活が困難な家庭であることに気付いていない場合、アプローチ方法が難しい。
- ・子どもへの支援は短期間で終わってしまうが、保護者を含めた家庭への支援は長い時間を要するため両立が難しい。

## ②他機関・団体や市との連携における課題

- ・スクールソーシャルワーカーと市の福祉部局にあたる人たちが話し合い、小・中学校の橋渡しや学校が知っている情報を伝えられる機会がもっとあるとよい。
- ・中学卒業後に引きこもっている子どもの相談先が保健所しかない。
- ・民生委員等の地域の人とのつながり・連携が課題。
- ・市内子ども食堂のネットワークはあるものの、ネットワークを活用した具体的な取り組みはできていない。
- ・中学3年生の進路など、学習支援と学校との情報連携が課題。
- ・地域のつながりというのは非常に重要だと思うし、安心して集まれる場所がいくつかあるとよいまちになっていくと思うが、そういった場所をつくるためには地域の人たちの力が必要だと感じる。

## ③貴機関・団体において今後必要だと考えられる支援や取り組み

- ・スクールソーシャルワーカーの配置日数を増やすことで、学校や地域とより連携でき、支援に一層の厚みができると思う。
- ・他の支援策につなげるため、相談の受け方やアンケートなど、相手の抱える困難の本質を聞き出すための力を強化したい。
- ・自分たちの団体がどのような支援をしているのか、どのような支援ができるのかをもっと周知してもらうことが必要。
- ・学習支援の対象学年は小6～中3であるが、その前段階でつまづいている子が大半なので、対象学年を下げしてほしい。また、高校を卒業させられるかがポイントなので継続した事業が高校卒業までであるとよい。
- ・支援団体や市と日頃から顔を合わせておくことで、困難なケースでも連携がスムーズになる。
- ・他の社会資源につないだ後も情報共有が必要（就労支援サービスにつないだ後など）。

#### ④市に必要なと感じる取り組み

- ・生活保護の受給要件や使用用途が緩和されるとよい。現状では世帯分離しないと大学へ進学できない。
- ・支援制度の周知方法に工夫が必要。学校でも制度があまり知られておらず、手続きが直前になったケースもあった。
- ・四日市の子ども食堂への広報協力があるとよい。
- ・ひとり親家庭の子どもへの体調不良時の預け先について、環境面や補助面で充実してほしい。
- ・縦割りではなく横の連携をより強固にしてほしい。職員によって支援の案内が異なるように感じる。
- ・18歳までの子どもに一番お金がかかる世帯が、市営住宅や県営住宅に優先的に入居できるような取り組みも必要。
- ・生活困難世帯の子どもは習い事や塾に行けないので、そういった子ども向けに、学校の放課後にボランティアが勉強を教えたりできるとよいのではないかと。そこで地域の人と子どもたちのつながりもできると思う。
- ・同じ地域に住んでいる地域住民としての支援の仕組みが必要で、その仕組みを考える市の部署が必要。
- ・行政施策として横のつながりの必要性を感じる。
- ・こども家庭課の支援について、虐待が疑われる0～8歳までにターゲットを絞りすぎているように思われる。0～18歳、もしくは0～20歳までなどの高校以降の支援もあってほしい。こんにちは赤ちゃん訪問のような一斉訪問の機会は重要。
- ・母子生活支援施設に入所したばかりの方だと就職していないため、保育所入所に苦労する。安心して入所できるよう保育園待機児童の解消が重要。

### III 調査結果からの考察

#### 四日市市の子どもの貧困問題の現状

子どもと保護者の回答を、世帯の経済状況別に集計した調査結果や、子どもの貧困問題にかかわる団体調査の結果から、四日市市の子どもの貧困問題の現状として、以下のような傾向がみられました。

##### ①子育て世帯の経済状況について

- ◆本調査において回答された世帯の年間収入と世帯人員から算出された等価世帯収入の中央値は、小学5年生、中学2年生のいずれも325万円となっています。これは、内閣府が令和3年12月に公表した『令和3年子供の生活状況調査の分析報告書』（以下、「国調査」という。）における317.54万円に近い数値となっており（国調査は中学2年生のみを対象）、四日市市の子育て世帯の所得水準は、全国的な数値と大きな違いはみられませんでした（ただし、国調査は郵送配付・回収で、回収率が54.3%と本市調査に比べて低くなっています）。
- ◆所得区分Ⅲでは、過去1年の間にお金が足りなくて必要な食料や衣服の購入ができなかったことが、「よくあった」または「ときどきあった」という回答が、1～2割台となっており、絶対的な貧困とも評価すべき状況が一部に存在していることが示されています。ヒアリング調査においても、こども食堂の利用が増加していることが示されています。
- ◆同様に、所得区分Ⅲでは、過去1年の間に生活に必要な費用（水道光熱費等）や家賃、社会保険料等のいずれかを経済的な理由で払えなかった経験を有する世帯が3割以上、急な出費に備えた5万円以上の貯金または現金を持たない世帯が3割以上を占めており、子どもの年齢に合った本や子どもが自宅で勉強をすることができる場所を持たない世帯も1割前後あるなど、経済的に厳しい状況の中で子育てをしている世帯があることが示されています。

##### ■経済的な理由で生活に必要な費用等を払えなかった経験を有する世帯

単位：％

	n	あり	なし
所得区分Ⅰ	2,057	1.3	96.8
所得区分Ⅱ	1,597	8.3	88.7
所得区分Ⅲ	430	32.8	64.0

- ◆生活必需品の購入困難や生活費用の支払困難、生活必需品の非所有といった経済的な困難の状況がある「経済的困難世帯」の割合は、所得区分Ⅲで5割台となっていますが、所得区分Ⅱにおいて2割台、所得区分Ⅰにおいても5%程度を占めており、一定の所得のある世帯においても経済的な困難を抱えている状況があることが示されています。

## ②子どもとその家庭の状況について

### <家庭での生活や健康の状況について>

- ◆所得区分が低いほど、子どもが朝食や夏休みや冬休みなどの期間の昼食を毎日食べる割合、平日に決まった時刻に就寝する割合、歯磨きの頻度が低くなっており、基本的な日常生活習慣に課題を有する子どもが多くなっています。また、保護者調査で示されているように、治療していない虫歯については、所得区分が低いほど「ある」の割合が高くなっており、生活習慣の問題が表れていることがうかがえます。ヒアリング調査では、生活に困難を抱えている家庭において、子どもの服装や就寝時刻に対して十分なケアができていない事例があることが指摘されています。
- ◆過去1年の間に、子どもの病気や怪我の治療のために病院や診療所などの医療機関を受診した方がよいと思ったのに、実際には受診しなかったことについて、中学生では所得区分が低いほど「あった」が多くなっています。
- ◆携帯電話やゲーム機については、所得区分による所持率の差があまりないのに対し、自分だけの本、自分だけの漫画や雑誌、スポーツ用品、自分専用の部屋、自分専用の勉強机については、所得区分が低いほど所持率が低くなっており、特に自分の部屋や勉強机については所得区分Ⅰ・Ⅱと所得区分Ⅲの差が大きくなっています。
- ◆「自分にはよいところがある」、「自分のことが好きだ」といった自己肯定感に関する質問や、「自分には将来の夢や目標がある」、「自分の将来が楽しみだ」といった将来展望に関する質問、「自分は家族に大切にされている」、「自分は友だちから好かれている」といった周囲の人との関係に関する質問は、いずれも所得区分が低いほど肯定的な回答が少なくなっています。家庭の経済状況に関連する様々な生活の状況が、子どもの内面とも関係していることがうかがえます。ヒアリング調査では、学力不振等から自己肯定感の低さにつながり、それが不登校につながっている可能性も示唆されています。

### <学習や文化的体験の状況について>

- ◆小・中学生ともに所得区分が低いほど学校の授業以外の勉強時間が少なくなっており、学校の授業がわからないことがあると回答する割合が高くなっているほか、塾や習い事についても、所得区分による差が大きくなっています。ヒアリング調査では、生活に困難を抱えている家庭の子どもに学業に意欲的な子どもが少ないこと、その理由として、早い段階で授業がわからなくなってしまうことが指摘されています。また、家庭において勉強できる環境が確保できない状況があることも報告されており、不登校についても家庭の経済状況との関連が指摘されています。
- ◆進学希望については、所得区分が低いほど「高校まで」が高く、「大学またはそれ以上」が低くなっています。また、その理由として、所得区分が低いほど「希望する学校や職業があるから」という回答が少なくなっており、自分の将来に積極的な展望を持てるかどうかについても、家庭の経済状況との関連が示唆される結果となっています。進学希望については、保護者の学歴との関連が強く、母親の最終学歴が「大学またはそれ以上」の場合、中学生ではいずれの所得区分においても半数以上が大学進学を希望しています。

■保護者の最終学歴と子どもの進学希望（中学生）

単位：%

	母親の最終学歴	n	中学まで	高校まで	短大・高専・ 専門学校まで	大学または それ以上	まだわからない	不明・無回答
所得区分Ⅰ	中学（中学部）まで	19	0.0	26.3	10.5	36.8	26.3	0.0
	高校（高等部）まで	312	0.0	24.7	21.8	30.4	21.5	1.6
	短大・高専・専門学校まで	383	0.0	13.6	15.4	45.2	24.0	1.8
	大学またはそれ以上	270	0.7	8.1	5.6	65.6	17.8	2.2
所得区分Ⅱ	中学（中学部）まで	32	0.0	31.3	18.8	12.5	34.4	3.1
	高校（高等部）まで	327	0.6	29.1	23.2	23.9	19.6	3.7
	短大・高専・専門学校まで	264	0.0	25.8	18.6	27.3	26.9	1.5
	大学またはそれ以上	117	0.9	7.7	17.1	53.0	17.9	3.4
所得区分Ⅲ	中学（中学部）まで	28	3.6	53.6	3.6	14.3	25.0	0.0
	高校（高等部）まで	121	0.0	39.7	19.0	18.2	22.3	0.8
	短大・高専・専門学校まで	53	3.8	26.4	26.4	24.5	13.2	5.7
	大学またはそれ以上	16	0.0	18.8	6.3	56.3	12.5	6.3

◆子どものテレビやゲームの視聴時間等のルールを決めている、本や新聞を読むように勧めている、絵本の読み聞かせをしていた、といった家庭における教育的な働きかけは、所得区分が高いほど「あてはまる」という回答が多くなっているほか、子どもと一緒にする文化的な活動や体験、学校行事等への参加についても、所得区分が高いほどしている世帯が多くなっています。子どもの放課後の過ごし方についても、地域のスポーツクラブやスポーツ少年団、中学生の学校の部活動のいずれも、所得区分が高いほど回答が多くなっており、家庭の経済状況が子どもの体験や経験の幅と強く関連していることがうかがえる結果となっています。

◆家庭における文化的経験については、多くの経験を持つ子どもほど自己肯定感が高い傾向があります。所得区分Ⅰで文化的経験が少ない子どもより、所得区分Ⅲで文化的経験が多い子どもの方が自己肯定感が高い傾向があり、多様な体験をしていることが、家庭の経済状況の不利を補う可能性が示唆されています。同様に、保護者が子どもに対して教育的な働きかけを多くしているほど、子どもの自己肯定感や将来への期待が高い傾向があり、こうした過程における働きかけの重要性がうかがえる結果となっています。一方で、授業の理解度や進学意欲については、文化的な経験や保護者の教育的な働きかけとの関連もみられる一方で、経済状況による関係も少なくないことが示唆されています。

■文化的経験と自己肯定感

※文化的経験の高低については、子ども調査問 11 で「あてはまるものはない」以外で選択した数が8~10 で高、5~7 で中、4 以下で低としている（以下同）。

【自分にはよいところがある】

単位：%

	子どもの 文化的経験	n	そう思う+ど ちらかといえ ばそう思う	そう思わない +どちらかとい えばそう思 わない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	文化的経験高	964	81.6	18.3	0.1
	文化的経験中	701	80.6	19.0	0.4
	文化的経験低	375	73.1	25.6	1.3
区分Ⅱ 所得	文化的経験高	565	81.4	18.2	0.4
	文化的経験中	622	77.5	21.7	0.8
	文化的経験低	399	66.7	32.1	1.3
区分Ⅲ 所得	文化的経験高	96	82.3	17.7	0.0
	文化的経験中	165	67.9	30.3	1.8
	文化的経験低	163	55.8	42.9	1.2

【自分のことが好きだ】

単位：%

	子どもの 文化的経験	n	そう思う+ど ちらかといえ ばそう思う	そう思わない +どちらかとい えばそう思 わない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	文化的経験高	964	67.8	31.7	0.4
	文化的経験中	701	64.1	35.7	0.3
	文化的経験低	375	51.7	46.7	1.6
区分Ⅱ 所得	文化的経験高	565	68.3	30.8	0.9
	文化的経験中	622	60.3	39.1	0.6
	文化的経験低	399	47.1	51.9	1.0
区分Ⅲ 所得	文化的経験高	96	57.3	41.7	1.0
	文化的経験中	165	52.7	45.5	1.8
	文化的経験低	163	43.6	55.8	0.6



## ■家庭教育と自己肯定感

※家庭教育の高低については、保護者調査問9の a~e について、それぞれ「あてはまる」を3点、「どちらかといえばあてはまる」を2点、「どちらかといえばあてはまらない」を1点、「あてはまらない」を0点として、6項目の合計が15~18で高、12~14で中、11以下で低としている（以下同）。

【自分にはよいところがある】

単位：%

	家庭教育	n	そう思う＋どちらかといえばそう思う	そう思わない＋どちらかといえばそう思わない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	家庭教育高	908	82.3	17.1	0.7
	家庭教育中	671	79.0	20.4	0.6
	家庭教育低	402	74.1	25.4	0.5
区分Ⅱ 所得	家庭教育高	575	77.9	20.7	1.4
	家庭教育中	596	78.0	21.6	0.3
	家庭教育低	370	70.3	28.9	0.8
区分Ⅲ 所得	家庭教育高	115	75.7	23.5	0.9
	家庭教育中	138	65.2	33.3	1.4
	家庭教育低	151	60.3	38.4	3.3

【自分のことが好きだ】

単位：%

	家庭教育	n	そう思う＋どちらかといえばそう思う	そう思わない＋どちらかといえばそう思わない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	家庭教育高	908	68.7	30.5	0.8
	家庭教育中	671	61.1	38.2	0.7
	家庭教育低	402	56.5	42.8	0.7
区分Ⅱ 所得	家庭教育高	575	66.4	32.2	1.4
	家庭教育中	596	58.4	41.3	0.3
	家庭教育低	370	52.2	47.0	0.8
区分Ⅲ 所得	家庭教育高	115	62.6	37.4	0.0
	家庭教育中	138	42.8	55.1	2.2
	家庭教育低	151	44.4	54.3	1.3

## ■家庭教育と将来展望

【自分には将来の夢や目標がある】

単位：%

	家庭教育	n	そう思う＋どちらかといえばそう思う	そう思わない＋どちらかといえばそう思わない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	家庭教育高	908	79.7	19.6	0.7
	家庭教育中	671	75.6	24.3	0.1
	家庭教育低	402	72.9	26.6	0.5
区分Ⅱ 所得	家庭教育高	575	80.7	18.3	1.0
	家庭教育中	596	73.7	25.5	0.8
	家庭教育低	370	69.7	29.2	1.1
区分Ⅲ 所得	家庭教育高	115	80.0	20.0	0.0
	家庭教育中	138	68.1	30.4	1.4
	家庭教育低	151	62.9	35.8	1.3

【自分の将来が楽しみだ】

単位：%

	家庭教育	n	そう思う＋どちらかといえばそう思う	そう思わない＋どちらかといえばそう思わない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	家庭教育高	908	77.2	22.1	0.7
	家庭教育中	671	72.7	26.8	0.4
	家庭教育低	402	69.4	29.9	0.7
区分Ⅱ 所得	家庭教育高	575	77.7	20.7	1.6
	家庭教育中	596	68.3	31.5	0.2
	家庭教育低	370	67.8	31.4	0.8
区分Ⅲ 所得	家庭教育高	115	78.3	20.9	0.9
	家庭教育中	138	61.6	36.2	2.2
	家庭教育低	151	53.0	45.7	1.3

## ■文化的経験と授業の理解度

単位：%

	子どもの文化的経験	n	いつもわかる	だいたいわかる	教科によってはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	文化的経験高	964	22.2	48.9	23.3	3.2	0.8	1.6
	文化的経験中	701	17.7	45.1	29.2	5.1	1.1	1.7
	文化的経験低	375	9.6	46.1	32.3	8.3	1.1	2.7
区分Ⅱ 所得	文化的経験高	565	16.6	44.2	29.2	5.3	1.9	2.7
	文化的経験中	622	9.6	48.2	33.1	6.1	1.1	1.8
	文化的経験低	399	7.5	36.8	35.1	12.8	4.0	3.8
区分Ⅲ 所得	文化的経験高	96	11.5	42.7	32.3	7.3	4.2	2.1
	文化的経験中	165	6.1	42.4	38.8	9.7	1.2	1.8
	文化的経験低	163	7.4	34.4	33.7	16.6	6.1	1.8

## ■家庭教育と授業の理解度

単位：%

	家庭教育	n	いつもわかる	だいたいわかる	教科によってはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	家庭教育高	908	25.7	48.7	20.4	3.0	0.7	1.7
	家庭教育中	671	13.4	47.8	29.7	6.1	0.7	2.2
	家庭教育低	402	10.0	42.5	36.8	6.5	1.7	2.5
区分Ⅱ 所得	家庭教育高	575	14.8	46.3	27.5	5.9	2.8	2.8
	家庭教育中	596	10.1	46.0	32.2	6.9	1.7	3.2
	家庭教育低	370	9.7	38.6	37.6	10.3	2.2	1.6
区分Ⅲ 所得	家庭教育高	115	10.4	44.3	29.6	13.0	1.7	0.9
	家庭教育中	138	8.0	39.9	34.8	10.9	3.6	2.9
	家庭教育低	151	4.6	35.8	39.1	12.6	6.0	2.0

■文化的経験と進学希望

単位：%

	子どもの 文化的経験	n	中学まで	高校まで	短大・高専・専 門学校まで	大学またはそれ 以上	まだわからない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	文化的経験高	964	0.2	11.6	13.8	52.1	20.4	1.9
	文化的経験中	701	0.6	16.8	16.3	38.9	25.2	2.1
	文化的経験低	375	1.6	24.0	11.7	29.9	29.9	2.9
区分Ⅱ 所得	文化的経験高	565	0.9	18.9	17.2	36.5	25.1	1.4
	文化的経験中	622	0.6	24.8	20.1	23.3	27.5	3.7
	文化的経験低	399	2.5	32.8	12.8	17.8	29.6	4.5
区分Ⅲ 所得	文化的経験高	96	1.0	17.7	19.8	40.6	18.8	2.1
	文化的経験中	165	1.8	33.9	20.6	17.0	24.2	2.4
	文化的経験低	163	6.1	41.1	12.3	15.3	22.7	2.5

■家庭教育と進学希望

単位：%

	家庭教育	n	中学まで	高校まで	短大・高専・専 門学校まで	大学またはそれ 以上	まだわからない	不明・無回答
区分Ⅰ 所得	家庭教育高	908	0.6	9.7	13.1	50.6	24.3	1.8
	家庭教育中	671	0.4	18.8	15.4	40.4	22.5	2.5
	家庭教育低	402	0.7	22.1	16.4	32.8	25.1	2.7
区分Ⅱ 所得	家庭教育高	575	1.4	18.6	17.4	34.8	25.2	2.6
	家庭教育中	596	1.2	25.7	16.4	24.0	29.4	3.4
	家庭教育低	370	1.1	32.4	17.8	18.1	27.3	3.2
区分Ⅲ 所得	家庭教育高	115	5.2	30.4	17.4	26.1	20.0	0.9
	家庭教育中	138	2.2	36.2	16.7	18.8	23.2	2.9
	家庭教育低	151	2.6	32.5	18.5	18.5	25.2	2.6

<ヤングケアラーの状況について>

- ◆通常は大人が担うとされる家庭におけるケア役割や家事等のため、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間を減らさなければならない経験をしているという回答は、所得区分が低いほど多くなっており、いわゆるヤングケアラー問題と家庭の経済状況との関連が示唆される結果となっています。ヒアリング調査では、ヤングケアラーに該当する子どもは一定数存在すると考えられるものの、本人や保護者にヤングケアラーという意識がない場合や、ヤングケアラーとしての役割自体に居場所を見出している場合もあることが指摘されています。

<保護者の状況について>

- ◆保護者の就労状況と家庭の経済状況との関連を見ると、所得区分が低いほど父親の「正社員・正規職員・会社役員」の割合が低く、非正規就労の割合が高くなっています。母親の就労状況は、所得区分Ⅰで「正社員・正規職員・会社役員」の割合が他の区分に比べて高くなっていますが、所得区分Ⅱより所得区分Ⅲで「正社員・正規職員・会社役員」や「嘱託・契約社員・派遣職員」の割合が高くなっています。
- ◆父親と母親のいずれについても、「平日の日中以外の勤務はない」という回答は所得区分が低いほど少なくなっています。特に母親については、早朝、夜勤、深夜勤務、土曜出勤、日曜・祝日出勤のいずれについても、所得区分Ⅲで最も多くなっており、家庭で子どもとかかわる時間を取りにくい状況にあることがうかがえる結果となっています。また、母親が就労していない割合は所得区分による差はありませんが、就労していない理由については、「子育てを優先したため」は所得区分が高いほど多く、「自分の病気や障害のため」は所得区分の低い世帯で多くなっています。世帯収入が高いほど、子育てに労力をかけやすい状況があることが示されています。

◆子育てに関する相談について、所得区分Ⅲでは、頼れる人が「いない」または「そのことで人に頼らない」という回答が他の区分と比べて多くなっています。また「いる」と回答した人の中でも、「家族・親族」、「友人・知人」、「職場の人」という回答が、所得区分Ⅰ・Ⅱと比べて低い一方、「市役所の窓口、相談・支援機関や福祉の人」という回答が、区分Ⅰ・Ⅱより多くなっています。経済的に困難な世帯では周囲の頼りにできる人間関係を持っておらず、その分公的な支援をあてにする人が多くなっていることが考えられます。「重要な事柄の相談」や「いざという時のお金の相談」についても同様に、頼れる人が「いない」または「そのことで人に頼らない」という回答が所得区分Ⅲで多い傾向があり、社会的に孤立した状況に陥っている可能性が懸念されます。

<ひとり親家庭の状況について>

◆所得区分Ⅲの世帯に占めるひとり親世帯の割合は、小学生保護者で5割台、中学生保護者で6割台となっており、全国的にも課題とされるひとり親世帯の経済的困難の状況は、本市においても同様であることが示されています。世帯類型別に所得区分Ⅲと判定される割合を見ると、母子世帯 59.7%、父子世帯 18.6%、非ひとり親世帯 4.9%（小中合計、判定不能を除く）となっており、母子世帯の経済的な困難が示されています。また、ヒアリング調査では、ひとり親世帯が就労しながら子育てを行う上で、仕事と子育ての両立への難しさが指摘されています。

■ひとり親世帯の所得区分

単位：%

	n	所得区分Ⅰ	所得区分Ⅱ	所得区分Ⅲ
母子世帯	414	6.3	34.1	59.7
父子世帯	70	31.4	50.0	18.6
非ひとり親世帯	3,827	55.8	39.3	4.9

<外国にルーツを持つ世帯の状況について>

◆家庭で日本語以外の言語を使う世帯は、全体では小学生 4.2%、中学生 3.5%ですが、所得区分が低いほど割合が高くなっています。また、日本語以外の言語を使う世帯の中でも、日本語を使うことの方が多い世帯は、所得区分が低いほど少なくなっており、外国にルーツを持つ世帯の不利な状況や、日本語への対応と家庭の経済状況との関連が示唆される結果となっています。

◆日本語以外を使っている家庭の保護者は、相談で頼れる人がいる、と回答することが少ない傾向があり、特に所得区分Ⅲでは差が大きくなっています。日本語理解の困難が社会的孤立につながっている懸念があります。

■使用言語と頼れる人の状況

単位：%

	使用言語	n	相談で頼れる人がいる項目数（子育て、重要な事柄、いざという時のお金）			
			0	1	2	3
Ⅰ 区分得	日本語以外使う	48	2.1	6.3	18.8	68.8
	日本語以外使わない	1,977	1.6	2.0	14.9	79.5
Ⅱ 区分得	日本語以外使う	65	9.2	6.2	15.4	63.1
	日本語以外使わない	1,499	2.1	2.9	14.2	79.0
Ⅲ 区分得	日本語以外使う	35	14.3	14.3	28.6	25.7
	日本語以外使わない	392	6.1	5.9	20.2	64.8

<新型コロナウイルス感染症の影響について>

- ◆新型コロナウイルス感染症流行前後の子どもの生活上の変化として、「増えた」と回答した割合が高かったものでは小・中学生とも「自宅で過ごす時間」「インターネットの利用」が上位となっています。また、「減った」の回答については、小学生では「楽しめない時間」が、中学生では「睡眠時間」がそれぞれ最も高くなっており、生活面や精神面など子どもへの様々な影響がうかがえます。
- ◆新型コロナウイルス感染症の保護者の就労状況への影響については、所得区分が低いほど「収入の減少」「失業」「希望しない労働時間の減少」等の影響を受けている割合が高くなっています。

③支援のニーズについて

- ◆子どもの病気や怪我の治療のために病院や診療所などの医療機関を受診した方がよいと思ったのに、実際には受診しなかったことの原因として、所得区分Ⅲでは小・中学生ともに「医療費の支払いが不安であったから」が2割台となっており、家庭の状況によって子どもが十分な医療的ケアが受けられていない可能性があります。
- ◆子どものいる世帯や生活困窮世帯等を対象とする支援制度のうち、利用が最も多いのは就学援助で、所得区分Ⅲでは、小学生の約5割、中学生の約6割が「現在利用している」と回答しています。一方で、所得区分Ⅲにおいても、小学生の約4割、中学生の約3割は「利用したことはない」と回答しており、その理由として「制度対象外だと思うから」が約4割で最も多くなっています。他の支援制度についても、所得区分Ⅰ・Ⅱと比べて、所得区分Ⅲでは、利用したことがない理由として「特に利用したいと思わなかったから」「今までこの支援制度を知らなかったから」「手続きがわからなかったり、利用しにくいから」という回答が多くなっています。ヒアリング調査においても、生活に困難を抱える家庭の保護者において、利用できる制度や仕組みを理解していないこと、情報の収集・検索する力が不足している傾向があることが指摘されています。
- ◆子どもを対象とした、居場所や夕食の提供、学習・相談の場の提供等の支援については、利用状況（利用したことがあると回答した割合）や利用ニーズ（あれば利用したいと思うと回答した割合）に家庭の経済状況による差はそれほどみられません。一方で、それを利用したことでの変化については、小学生では「栄養のある食事をとれることが増えた」、中学生では「ほっとできる時間が増えた」で所得区分が低いほど回答が多くなっているなど、支援の効果の受け止めは家庭の経済状況によって異なっていることがうかがえる結果となっています。
- ◆子どもや保護者にとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思うかについては、所得区分が低い世帯ほど、「安い家賃で住める住居」「生活や就学のための経済的援助」「読み書き計算などの基本的な学習への支援」「子どものみで無料もしくは安価で食事ができる場所の提供」といった、より基礎的なニーズに関する回答が多くなっています。一方で、「仲間と出会え、一緒に活動できる場所」「自然体験や集団遊びなどの多様な活動機会の提供」「会社等での職場体験などの機会の提供」といった、より子どもの経験の幅を広げる、発展的なニーズについては、所得区分が高いほど回答が多くなっています。家庭において、衣食住をはじめ

めとするより基礎的なニーズの充足に課題を抱える世帯においては、子どもに多様な経験や体験の機会を用意することの必要性にまで保護者が思いを巡らせることが難しい状況があることがうかがえます。また、ヒアリング調査では、保護者が支援対象者だと思っていない、支援の必要性を感じていない、子ども自身も自分が貧困家庭であることに気がついていないことがあり、支援に入ることが難しい状況も指摘されています。

全体として、家庭の経済的貧困や生活困難な状況が、子どもの生活・教育・進路に影響し、貧困の連鎖が避けられない状況が調査結果からうかがえます。また、保護者自身の成育歴における経済的困窮の経験や文化的な背景の影響も、アンケート調査、ヒアリング調査のいずれにおいても示されており、親世代においても貧困の連鎖の結果としての現在があることがうかがえます。こうした視点も踏まえ、本市における今後の子どもの貧困対策について検討を進める必要があります。



---

**四日市市 子どもの生活実態調査  
結果報告書**

発行年月：令和4年3月  
発行：四日市市 こども未来部 こども未来課  
TEL：059-354-8038 FAX：059-354-8061

---